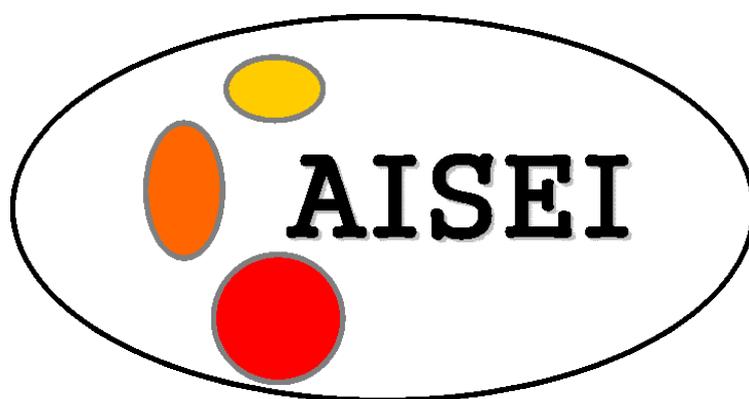


# 平成 29 年度 事業報告書

自 平成 29 年 4 月 1 日  
至 平成 30 年 3 月 31 日



## 社会福祉法人 愛生福祉会

特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	豊 寿 園
ケ ア ハ ウ ス	す く も
グ ル ー プ ホ ー ム	え や ん ば い
グ ル ー プ ホ ー ム	ほ う ば い
デ イ サ ー ビ ス セ ン タ ー	つ ど い の 家
豊 寿 園 ホ ー ム	へ ル パ ー ス テ ー シ ョ ン
豊 寿 園	訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン
宿 毛 市 東 部 居 宅 介 護 支 援 事 業 所	
介 護 老 人 福 祉 施 設	横 浜 よ さ こ い ホ ー ム
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	祝 の 郷
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	札 掛 の 里



# 社会福祉法人 愛生福祉会

## 【 経営理念 】

私達は介護サービスの提供を通じて、

地域に貢献し、地域に愛され、

地域と共に発展する法人を目指します。

## 【 運営方針 】

- ① 地域に対してやさしい法人であること。
- ② 利用者やご家族に対してやさしい法人であること。
- ③ 働く職員に対してやさしい法人であること。

### 目 次

	組織一覧表	.....
	平成29年度 法人基本事業報告	.....
1.	特養・豊寿園 事業報告	.....
2.	ケアハウスすくも 事業報告	.....
3.	グループホームえやんばい 事業報告	.....
4.	グループホームほうばい 事業報告	.....
5.	デイサービスセンターつどいの家 事業報告	.....
6.	豊寿園ホームヘルパーステーション 事業報告	.....
7.	豊寿園訪問看護ステーション 事業報告	.....
8.	宿毛市東部居宅介護支援事業所 事業報告	.....
9.	平成29年度 愛生福祉会（高知本部）年間研修報告	.....
10.	横浜よさこいホーム 事業報告	.....
11.	宇和島・祝の郷 事業報告	.....
12.	大洲・札掛の里 事業報告	.....

# 社会福祉法人 愛生福祉会 組織一覧表



評議員

理事長

理事会

総合施設長  
(常務理事)

法人全体職員数	
2018/5/31	現在
高知本部	179名
横浜事業部	132名
宇和島事業部	68名
大洲事業部	36名
<b>法人合計</b>	<b>415名</b>

高知 計	179名
正職員	111名
臨時	57名
パート	11名

横浜 計	132名
正職員	74名
派遣	6名
パート	41名
嘱託	11名

宇和島計	68名
正職員	48名
臨時	7名
嘱託	1名
パート	12名

大洲 計	36名
正職員	30名
臨時	1名
嘱託	0名
パート	5名

特別養護老人ホーム 豊寿園  
(従来型50床、ユニット型40床、ショートステイ10床)

デイサービスセンター つどいの家  
(35名)

ケアハウス すくも  
(50床)

豊寿園訪問看護ステーション

豊寿園ホームヘルパーステーション

宿毛市東部居宅介護支援事業所

グループホーム えやんばい  
(18床)

グループホーム ほうばい  
(18床)

介護老人福祉施設 横浜よさこいホーム  
(120床、ショートステイ20床)

デイサービスセンター よさこい  
(30名)

よさこいケアプランセンター

特別養護老人ホーム 祝の郷  
(80床、ショートステイ10床)

デイサービスセンター 祝の森  
(30名)

特別養護老人ホーム 札掛の里  
(29床 ショート10床)

デイサービスセンター ふだかけ  
(15名)

# 平成 29 年度 法人概況報告

平成 31 年 4 月より社会福祉法人制度改革により義務付けられる会計監査人の設置について、平成 29 年度より、監査法人による会計監査人に各拠点ごとに訪問による現状把握をしてもらい、内部統制と財務規律の強化、事業運営の透明性を目的とした監査に向けての準備を進めてきました。

地域支援事業では、毎年の夏の恒例行事で 28 回目を向かえたやいとがわ納涼祭は例年通り盛大に開催することができました。また、4 年目を向かえた毎週 1 回の買物支援バスの運行も、年間を通じて継続して実施し、地域の利用者的好评をいただいております。

第 6 期介護保険事業計画の最終年度となった平成 29 年度の当法人の各事業所では、特養事業でユニット型特養 40 床が開設 3 年目となり、ユニット型、従来型 90 床で入居率 98.2% と安定した入居者の確保ができており、ショートステイ事業 10 床でも入居率 92.1% となり、新規利用者の獲得とリピーターも増え年度目標を達成することができました。

デイサービスセンター事業では昨年度同様、地域のサービス事業所が苦戦する中、1 日当たりの利用者が 24.4 人と昨年度とほぼ同様の利用率を確保できました。

ケアハウス事業では特定利用者は若干増えましたが、一般と合わせた合計ではほぼ昨年度と同様の入居率で、グループホームえやんばい、ほうばいでも共に利用者の重度化が進み入院により入居率が伸びず、昨年度と同様の入居率にとどまりました。

居宅介護支援事業では 4 人体制に増やして 1 年が経過しましたが、順調に新規利用者の獲得が進みケアマネ 1 人当たりの担当利用者が 30 名を超えることができました。

訪問系事業のヘルパー、訪問看護は在宅利用者が年々減少していて、29 年度も利用者の獲得に苦戦をし、利用率の低下が止まらない状況となっています。

横浜市拠点事業では、特養事業が入居率 97.6%、ショートステイ事業が約 85.1% ともに入居率が伸び、特に特養事業では看取りケアが充実し、それに伴う入院者の減少で大幅な入居率のアップとなりました。その一方で、デイサービス事業は競合事業者の乱立により新規利用者の獲得に苦戦し、利用率が初めて低下する結果になりました。

宇和島市拠点事業では特養事業は入居率 94.4% で昨年度とほぼ同じ結果でしたが、ショートステイ事業では入居率 95.4% と昨年度より 1.8% を超える大幅な入居率のアップを実現しました。また、デイサービス事業でも順調に利用者が増え、1 日当たりの利用者が 20 名を超えました。しかし、人材確保の面では職員の離職等で職員の不足が継続していて今後の大きな課題となっています。

大洲市拠点事業では特養事業が入居率 97.2%、ショートステイ事業が 83.8% と安定した入居率を確保できるようになりました。デイサービス事業も 1 日当たりの利用者が 9 名となり、今後は算定可能な加算を取得していき安定した経営を目指していきます。

法人全体では、職員の定着・確保に各拠点でそれぞれ創意工夫し努力した 1 年間でしたが、これからますます深刻化してくる人材不足の問題に対応するために、各拠点でサービスの質の向上を図り、利用者にも地域にも職員にも魅力ある法人を目指していきます。また、この 1 年間当法人の運営にご理解をいただいたすべての方々に感謝と御礼を申し上げ、各事業については以下でご報告させていただきます。

## 社会福祉法人 愛生福祉会 平成 29 年度法人目標

1. 社会福祉法人制度改革に対応した財務規律の強化、内部統制の構築、公益性の徹底を図り、健全運営を目指します。
2. 全拠点・全事業でサービスの質の向上に努め、質の高いサービスの提供と安定した経営を目指します。
3. 地域貢献への取り組みと地域のニーズに対応するサービスを提供していき、地域包括ケアの拠点となれる法人を目指します。

# 平成 29 年度 各事業の評価

## 1. 特別養護老人ホーム 豊寿園

### ◆生活相談員

### 平成 29 年度・事業計画

- ① 多床室 50 床・ユニット型個室 40 床(90 床)での取り組み
    - ・ 入所判定委員会にあたっては、他居宅支援事業所・包括支援センター等との協力を行い家庭の事情・経済的理由等も考慮し、申込み者に合わせた順番を上げ、スムーズに入居へ運べるよう取り組んでいく。また、申込みの順番が近くなった申込者についても事前に声掛けを行い、順番が来た際には入居までをスムーズに行えるよう行っていく。今年度は完成したパンフレットの配布も行い、申込み件数も現状維持し、入居したい施設を目指していく。年間稼働率 96%以上を目指す。
    - ・ ショートステイ事業では、居宅介護支援事業所や地域包括支援センター、関係事業所、医療機関等との連携を取り空床情報等の情報提供やパンフレットを各居宅等へ配布行い、年間稼働率 90%以上を目指す。
  - ② 居宅介護支援事業所、関係事業所、医療機関等と連携し、施設入所、短期入所時の利用者情報を介護支援専門員と共同して迅速に現場に提供できるよう努める。
    - ・ 居宅支援事業所や関係事業所からの情報収集と面接により、現場職員に分かりやすく、より正確なフェイスシートの作成に努める。
    - ・ 緊急の短期入所の場合は家族や関係機関等からできるだけ情報収集し、フェイスシート作成に間に合わない場合でも、入所受け入れに支障がないような情報提供ができるよう努める。
  - ③ 利用者やその家族等からの苦情や要望に対し、適切な解決に努めるよう体制の整備を強化する。
    - ・ 苦情処理規定に沿って円滑な苦情解決ができるよう努め、苦情によって施設サービスが向上できるよう利用者やその家族に誠意を持って対応するよう努める。
    - ・ 第三者委員の介護相談訪問日に意見交換等で情報の把握に努める。
  - ④ U ビジョン認証への取り組み
    - ・ 認証取得に向け、「人間の尊厳を保ち安心できる施設」「生活の質を向上できる施設」「コンプライアンスが守られ職員の資質が高い施設」として利用者や家族、地域のニーズに可能限り応えられる施設づくりを目指す。
    - ・ サービスの質を維持・向上できるよう組織体制を整え、5つのカテゴリー「最優秀」を目標にする。
- 1) 利用者と訪れる方に笑顔で挨拶する事を身に着け、温かいおもてなしで接します。
  - 2) 利用者が職員を信頼して心安らかに暮らせるよう資質向上に取り組みます。
  - 3) 「その人らしく、自分の人生を凛として生きること」の支援に努め、利用者の要望を大切に温かく関わっていきます。
  - 4) 日常を大切に気持ち良い快適な生活空間や癒される環境づくりに努めます。
  - 5) 地域や社会の一員として交流を大切にし、地域でサービスを必要としている人に応えられるよう努めます。

### <評価>

- ① 従来型としては年間稼働率 98.9%で前年比+1.8%。平成 29 年度の退居者数は従来型 12 名で、退居から短期間

で新規入居者を抑える事ができ、また、入退居の入れ替わりも少なかった事もあり、前年度よりも稼働率をUP出来た。ユニット型は入院する入居者が多く、従来型へ移動した退居者も含め24名の入れ替わりもあり年間稼働率97.2%と従来型を下回った。従来型・ユニット型90床での年間稼働率は98.18%と目標達成する事が出来た。ショートステイは月によっては70%台の月もあったが、年間稼働率92.05%と目標達成は出来た。30年度もショートステイベットをなるべく空床にしないために、他居宅事業所に積極的に情報発信し、ショートステイ利用につなげていく必要がある。新規利用者の獲得も出来ていた為、今後も定期的に利用したいと思えるような環境や職員の接遇を意識し「おもてなし」の気持ちを持って対応する事で継続した利用に繋げていく必要がある。

② 短期入所に関して新規の方の担当者会には相談員2名が参加し、より細かい情報を掴めるよう取り組んだ。転倒等事故に対しての理解を頂けるようリスクに対しての説明も2名体制にて行った。作成したフェイスシートも重要な点は担当者会に出た2名で確認しあった。また現場にもフェイスシートと照らし合っしながら口頭にて状態の説明を行った(家族の状況も踏まえ)。緊急の受け入れに関しても家族・居宅事業所が参加出来た際にはその場で聞き取りを行い、事業所が参加出来ない際には家族からの聞き取りや居宅事業所のフェイスシートを頂きながら、現場に少しでも理解が出来るよう努めた。

③ 今年度の苦情相談は6件。内3件はショートステイ利用者ご家族からの苦情で、統計としては職員の家族への対応が3件・入居者への対応が3件。職員の対応では、家族への伝え方(言葉の使い方)により不愉快に感じた・事故の連絡を入れた際に電話を受けた家族より「素っ気ない態度であった」と話があった。入居者への対応としては、本人より入浴時に溺れそうになったとショートステイから帰宅後に話した事で家族より「どのような入浴をしているのか」と電話を受けた。担当ケアマネより連絡があり、衣類に関する事でそっけない態度で服を渡され「もうショートは利用しない」と苦情を受けた。その他職員が守秘義務を怠り家族からの苦情が1件。匿名での市役所へ職員の言動に対する通報が1件あった。苦情や要望に対して、苦情処理規程に沿って、苦情相談票の作成や第三者委員の立ち合いの可否の確認等を実施して改善に努めた。入居者への対応に関しての苦情はユニット会や主任・リーダー・ケアマネと共に問題解決に努めた。

第三者委員の訪問日に現場を回り、その後は施設長と共に意見交換を行う事が出来た。

④ 5つのカテゴリー「最優秀」に向け今年度取り組みを開始した。

(ア) 利用者の入退所時については、一部の職員では出来ていたが、その他声が小さかったりショート退居者の出迎え・見送りにも決まった職員のみ参加する事が多かった。全体的には笑顔で元気良く挨拶出来ていた。

(イ) 車椅子の汚れは目立っていた。福祉用具の活用に関しては機能訓練士を主体としてノーリフトに力を入れ用具の使い方から研修を行い利用者・職員相互に負担がかからないよう取り組み、来年度も継続して取り組んでいく。

(ウ) 外出支援では自宅への外泊や、外泊が無理でも自宅周辺のドライブや散歩・買物等に取り組んだ。また、自分で希望が言えない方でも家族より情報収集行う事で環境整備やレクとして取り組みを行った。

(エ) 玄関先・玄関・ユニットには生花を飾り、ユニットによっては季節を感じれる飾り等行った事で利用者や家族からも喜んで頂ける言葉も聞かれ、季節を感じれる居心地良い環境への取り組みが出来た。

(オ) 中学・高校と同市内の生徒が体験学習には定期的に受け入れが行えた。その他専門学生の実習受け入れ(看護・介護)も出来た。入居者の方も運動会への見学参加や、節分には地域のミニデイへ職員派遣も行った。

#### ◆機能訓練指導員

#### 平成29年度・事業計画

① 残存機能の低下を防ぎ、機能維持・向上を図り、自立支援に向けた個別機能訓練を目指す。

- ・ 個々の生活状況を把握してできる能力・出来ない能力を明確にし、その人らしい生活を送れるように、できる能力を最大限に活かした支援を行う。
- ・ 日常生活の中の一つ一つの動作を、生活リハビリととらえ取り組んでいく。

- ・その人の身体機能や生活状況を把握し、快適で安定した姿勢や活動しやすい姿勢を提供する。
- ・楽しみながら身体を動かせるメニューを提供し、心身の活性化を図る。
- ・起こり得る事故の予測を行い、介助方法や環境の見直し・改善、その人に合った福祉用具を活用する事で事故の回避に努める。

②多職種との連携を図り、統一した支援が行える。

- ・それぞれの担当する職種が情報を共有した上で支援の方向性を明確にし、生活に反映できる目標を設定しそこに向けて取り組んでいく。
- ・施設内外の研修・勉強会に参加し、知識・技術の習得をしていく。

③持ち上げない・抱え上げないケアを目標にして、施設全体でノーリフティングケアに取り組み、利用者にも職員にも優しいケアを重視する為の中心的役割を担っていく。

<評価>

- ① アセスメント・モニタリング・三ヵ月毎のリハビリ計画書の評価を元に、できる能力に重点を置き生活動作に視点を向けた目標を設定する事が出来、日常生活動作の中でリハビリを実施する取り組みが定着している。  
 新たな取り組みでノーリフティングケアを始めたが、比較的スムーズに職員には浸透され、介護職員と一緒に個々のアセスメントを行い、その方に合った福祉用具を活用し、抱える事があたりまえではないという意識をもち、ケアされる人・ケアする人にも無理のない優しいケアの取り組みが実施出来始めている。  
 けれど、ポジショニングについては、理解度に差がありなかなか統一されず、写真を参照してケア出来る様にもしているが出来ていない状況で、根拠の理解を進めていく事が今後の課題である。
- ② ノーリフティングケアを行う事によって、介護職員とはお互いの情報を共有する機会が多くもて、入居者一人ひとりに合ったケア方法を検討し対応する事ができた。  
 今年度は基本技術を一から習得し、各ユニット・少人数で技術の研修ができる時間を作り伝達する事が出来た。今後はケア現場で実践されるように、積極的に現場に入り技術を活かしていく。
- ③ H29.9に施設内でノーリフティングケア推進チームを結成し、チーム一丸となりリーダー研修に参加し、H31.9を目標にノーリフティングケアが定着できるように取り組みを始めた。  
 応用の仕方について介護職員と一緒に検討していきながら、推進チームが主になり取り組みを進めており、協力を得ながら中心的役割を担っていき、今後も施設全体で継続して取り組んでいく。  
 アセスメント表を使用し全職員が情報共有できる体系を作り、全入所者のアセスメントの完成に向けて取り組んでいる最中で、それに合わせて必要な福祉用具を検討し最低限度の用具の導入はできた。今後も機器の選定や必要性の検討をしながら整備していく。  
 職員健診の腰痛調査表を看護師と検討して一本化し、腰痛の状況が把握できる体系を作り、腰痛予防・対策として体操の写真を作成し、分かりやすい形で各部署に掲示し就業前の普及を図っている。

◆介護支援専門員

平成29年度・事業計画

- ① 利用者一人ひとりのニーズにあった個別ケアプランの作成を目指す。
- ・利用者のニーズや家族の意向を踏まえ、日常生活の場面から隠された思いやできる能力・職員の気づき等を他職種協働で情報収集・共有しアセスメント(課題分析)を行う。
  - ・家庭を意識した環境整備を行い、入居されている方が過ごしやすい雰囲気の中で、個々の生活状況を把握し趣味や楽しみ等、生きがいにつながる計画を立て居心地よく暮らせる施設作りを目指す。
  - ・ターミナル期にある利用者に対して、家族への説明・意向を確認し「その人らしい」穏やかな最後を迎えられるよう家族とともに看取りケアへの取り組みを行っていく。

- ・ケアプランの意義・目的を明確化する為に、職員にケアプランの必要性を伝え、ケース記録の充実を図りケアとケアプランが一貫性のあるものにしていく。
  - ・サービス担当者会議が効率よく円滑に行えるよう事前の情報収集に努め会議の時間短縮化を図っていく。
- ② 生活相談員・介護職員・看護職員・管理栄養士(栄養士)・機能訓練指導員との連携を図り、事故予防対策・褥瘡予防・栄養・機能訓練・医療面など専門性を活かし総合的な観点から利用者の自立(自律)支援に繋げチームケアの確率を図る。
- ③ 家族との情報交換。
- ・家族の希望・意向を傾聴し情報を共有する事で、信頼関係を築いていく。

#### <評価>

- ① 自立支援や個別ケアを最大の目標として、個々の状態に応じたケアが提供できるよう毎月のモニタリング・短期・長期評価の徹底を行い、3ヶ月ごとに担当者会議を開催し、多職種と情報共有しながらケアプラン作成に取り組むことができた。
- H29年にUビジョン認証を受け、さらに入居者1人ひとりの状態をしっかり把握し、職員全体で利用者のちょっとした言動や行動や思いに気づき、自立だけでなく自律を意識し「その人らしい生活を支えるケア」に向けたケアプラン作成に努めていく。
- ・居室や施設内を季節に応じた環境づくり(緑や飾り・彩り)など、全職員で居心地の良い雰囲気づくりを意識して取り組む事ができた。
  - ・H29年度の施設退所者(本館19名・新館12名)の中で、施設で看取った方は26名と多く施設での看取りケアの必要性を感じている。看取りケアを行うタイミングなど難しく状態の変化と共に医師と連携しながら家族への状態説明や意向確認をした上で、体調管理・清潔・環境整備・家族との時間や職員との関わりを重視し少しでも苦痛和らげ穏やかな表情で最期を迎えられるようケアに努める事ができた。今後も高齢化と共に施設で最期を迎えられる方が増えると予測される為、医師との連携体制を整え施設で自然な形での看取りケアへの取り組みを行っていく。
  - ・新人職員には、ケアプランの必要性や手順(流れ)など勉強会を行う事でプランに対して意識づけもでき実践できている。
  - ・介護職員の担当意識も高まり、徐々にケース記録も増え担当者会議で意見交換する中で内容の充実も図れてきた。しかし、各ユニットの意識格差もあり、ケアの取り組みの議論にて会議が長引くケースもあった。簡素化のみを重要視すると中身の薄い議論になる不安も感じながら、ポイントを付いて効率よく会議を進行できるよう努めていく。
- ② 日ごろから、多職種との報告・連絡・相談等を大切にして情報共有し連携を図る事ができた。緊急入院・通院では、看護職員との連携にて利用者の状況把握に努める事もできた。
- ショートステイについては定期的な担当者会議に参加し会議の内容を書面にして職員への情報提供を行った。また、新規や緊急ショートの受け入れ時も生活相談員と連携し面接などで収集した情報をフェースシートに落とし込み伝達する事でチームケアの確立に努めた。
- ③ 家族の方が来られた時には率先して出迎え挨拶を交わし、ケアプランを通じて希望や意向を確認し情報伝達する事で顔なじみの関係を築くことができた。

①グループごとに目標及び実現方法を定め実行する。目標を意識したケアができるように、グループ会において振り返りを実施する。

**\*ほのぼのグループ**

【目 標】入居者のやりたいことを支援し、一緒になって実現していく。

【実現方法】入居者の思いを介護員が受け止め、担当者会議にて情報共有し他職種連携によって実現していく。

**\*ゆとりグループ**

【目 標】職員一人ひとりが入居者に対し徹底して同じケアを実践する。

【実現方法】職員一人一人が報告・連絡・相談・確認をし合い、声を掛けあえる環境を作る。

**\*ひだまりグループ**

【目 標】入居者個々に合った生活をサポートする。

【実現方法】入居者の希望を聞き、ケアプランに設定することで他職種と連携を図り一人ひとりの思いを実現する。

②「関わり」がもたらす作用や重要性を介護職員が理解することで、尊厳ある安心した生活の支援ができるようになる。

- ・入居者と関わる機会をできるだけ多く持ち、ケース記録に残す。
- ・「適切な関わり」とはどのようなことか、グループ会で討議したり現場での OJT により職員一人ひとりが理解する。

③快適な生活環境を維持し、自由で穏やかな暮らしの支援をする。

- ・入居者個人の居住空間はその人らしいしつらえとし、居心地の良さを感じてもらう。
- ・居室の床や床頭台の上が乱雑にならないよう、全職員がこまめに整理整頓を行う。
- ・リビングや廊下、憩いのスペースを充実させ、思い思いの場所で過ごせるよう整備する。

④家族との信頼関係を構築し、安心を提供できるようにする。

- ・家族との関係構築の重要性を職員に指導していく。
- ・家族の来訪時には職員から近況報告などを行い家族とコミュニケーションを図ることで、家族が気軽に話せる雰囲気を作っていく。

## <評価>

① 各グループ

**\*ほのぼのグループ**

- ・買い物や散歩などを希望する入居者に対しては希望を叶えるための支援をすることができていた。現在は固定の入居者に対しての支援になっているため、今後は他の入居者のやりたいことなども見つけて実現していくようにする。

**\*ゆとりグループ**

- ・議事録や申し送りノートを活用して情報共有することが不十分だったため、統一したケアを実践できない時が多かった。散歩に関しては、チェック表を作成してまんべんなく実施できるように工夫し成果がでていたので継続し、今後は伝達記録シートやチェック表を活用して職員間の統一を図っていく。

**\*ひだまりグループ**

- ・グループ職員全員が入居者の個々に合った生活をサポートするという意識を、ケアプランに反映して入居者の思いや希望を実現することができた。  
今後も楽しみのある生活の支援を継続していく。

### \*全体

- ・毎月のグループ会でグループ目標に対する反省を行ったことで、昨年度より意識しながら日々のケアにつなげる職員が増えた。
- ② 入居者と関わる時間をできるだけ多く持ち、ケース記録も増えてきた。  
グループ会でロールプレイを体験したり、良い関わりをした職員に対して現場で褒めることによって、「適切な関わり」とはどのようなことか理解する職員が増えた。  
不適切な関わりをした職員に対しての現場でのOJTが不十分であるため、入居者の尊厳ある生活の支援に対する課題である。
- ③ リビングは入居者の居心地の良さを重視して、入居者のその時の状況に合わせて環境整備している。廊下にはベンチを設置することで入居者同士が座って話しをしたり、憩いのスペースは気分を変えて過ごしたい時やご家族とゆっくり過ごす時などに活用されており、入居者の生活に広がりが出た。  
個人の居住空間はその人が生活しやすいように家具を配置したり、家族の写真を飾ったりしているが、洗濯物を片づけていなかったり床頭台の上が乱雑になっていることがあり、こまめに整理整頓することを徹底していく。
- ④ 家族との関係構築の重要性を職員が理解してきており、家族の来訪時にはお茶を出し近況報告を行なうことができた。家族から「ここに入居できて良かった。自分たちも入りたい」との言葉を頂いたこともあった。  
家族にどのような報告をしたのか等コミュニケーションの内容を記録に残すことがまだ徹底されていないので、情報共有するため記録に残すことが課題である。また、毎回お茶を提供されることを好まない家族もいることからケースに合わせて対応し、家族にとっても居心地の良い施設を目指したい。

## ■公益財団法人Uビジョン研究所による抜き打ち調査

平成29年11月7日 深夜帯（0時19分～8時30分）に実施された。

### 【調査報告】

- ・全居室プライバシーが守られ、排泄介助も適切であった。
- ・深夜過ぎても寝付けない人に飲み物を出したり、耳で優しい声をかけたりして、寝ることを強制するようなことはなかった。利用者の状況に合わせて温かい見守りで過ごせる場面を確認でき、不適切な状況は全く見受けられなかった。
- ・拘束ゼロ、臭いもなし、コールは適切な場所にきちんと置かれ、疑いのある不適切ケアは一切見る・感じるなどなかった。
- ・コールがある場合、職員は居室に入る時にノックしてからドアを開けるなど徹底してプライバシーを守っていた。排泄介助の場合は、静かにドアを開けて入っていた。いずれも言葉使いは丁寧でやさしさが感じられた。
- ・グループの仕切りは季節感があり、それぞれ工夫が見られ温かい雰囲気が感じられたと同時に利用者にも心地よく過ごしていただきたいと気遣う気持ちが伝わってきた。
- ・職員はきちんと挨拶ができていた。

### 【評価者のコメント】

- ・利用者の居室、ケアの状況、施設全体を夜間から翌朝にかけて観察や聞き取りをした結果、人権が守られ、誠意あるケアができていることを評価者として安心するとともに感動した。
- ・深夜のトイレ誘導や見守りにも、その人のプライドを守った支援ができていた。また、居室での排泄介助の際の会話も優しく、言葉使いも丁寧で利用者も穏やかな声で会話していた。

## ■その他

・平成28年度の8, 9, 10月の3ヶ月間オムツパット類にかかる金額を調査したところ、1ヶ月平均376,000円かかっていた。

各グループの入居者2名ずつ(排尿量が多い人、皮膚が弱い人)計6名をモニター対象者として選び、尿側を実施した。また、パットのどの部分に排尿があるのか、一気に排尿するのか少しずつ排尿するのかなど入居者の排泄パターンを分析し、アドバイザーと一緒にそれぞれの入居者に合ったオムツとパットを選び使用するアイテムを決定した。

さらに、パットの当て方や陰部洗浄の仕方などを学ぶ勉強会を開催したり、現場で実際入居者の排泄ケアをアドバイザーに指導してもらったりして、介護員の排泄ケアに対する意識・技術の向上を図った。

入居者に合ったパットの使用を徹底したことと、介護員の排泄ケアへの意識・技術が向上したことにより、平成29年度以降1ヶ月平均196,000円程となり、1ヶ月約180,000円の経費削減を継続できている。

### ◆介護部門(ユニット型)

### 平成29年度・事業計画

1. ユニット毎に目標及び実現方法を定め個別ケアに努める。

#### ○さくらの里

【目 標】 ①家族とのコミュニケーションを積極的に図り、信頼関係を深める。  
②入居者一人ひとりの興味がある事を引き出し、少しでもやりがいを持って過ごせるよう援助していく。

【実現方法】 ①家族が来られた時には、日々の状態報告を行い家族とのコミュニケーションを十分に図り、家族が気軽に来られるような話しやすい関係を築いていく。  
②上記①に続き、以前の生活の中で何に興味を持ち、どんなことにやりがいを感じていたかを聞きだし、現在の生活の中で活せるよう支援していく。

#### ○貝ヶ森

【目 標】 入居者一人ひとりに合った生活をサポートする。

【実現方法】 入居者の情報を共有するツールを使い、各職員が一定の情報を元にケアにあたる。毎月のユニット会議で、ケアの内容やツール自体の評価、改善を定期的に行っていく。

#### ○やいとがわ

【目 標】 一人ひとりの要望に応えられる支援を目指す。

【実現方法】 笑顔で接する。  
・入居者や家族と関わりを持ち、信頼関係をつくる。  
・得た情報を皆で共有する。

#### ○蚩湖

【目 標】 居心地の良い空間作り。

【実現方法】 ①環境整備  
・植物の手入れを行う  
・テーブルや床への食べこぼし等があった際には気付いたその時に掃除をする  
②整理整頓  
・居室内、フロア内、キッチン、デスク等の整理整頓を行い、誰が見ても綺麗と思う環境にする。

2. 個別ケア、楽しみごとへの支援。

- ・毎月、行事委員が中心となりユニットレクや個別レクを企画し実行する。
- ・本人の馴染みのある場所や行きたい場所への外出支援（一人一回以上は外出出来るよう計画する）。
- ・毎月のユニット会で排泄ケアの方法やパットの見直しを行う。
- ・情報の共有を図り統一したケアを行う為、本人や家族から得た情報は見やすように書き出しいつでも確認できるようユニット毎に整理する。

### 3. コストダウンに努める。

- ・施設の備品は無駄遣いせず大切に使用するよう職員に伝えていく。
- ・冷暖房の適正温度を意識し調整する。

### 4. サービスの質の向上、維持に努める。

- ・主任はユニット会に順次参加し入居者の状態や環境面、衛生面など気づいたことを伝えユニット職員に提案や助言を行う。
- ・Uビジョン認証取得後も定期的にユニットをラウンドしチェックを行う。
- ・日頃から家族とのコミュニケーションを密にし、家族にとっても居心地の良い場所となるよう配慮する。

## <評価>

### 1. ユニット毎に目標及び実現方法を定め個別ケアに努める。

#### ○さくらの里

- ・職員配置の関係から、家族に対しあいさつ程度の声掛けでコミュニケーションが図りにくい事があったが、時間がある時や職員がいる時には、日常的な話や入居者の近況などを職員から積極的にコミュニケーションが図れるよう努力していた。その為、入居者の好きだった事や過去の生活歴などの話題から信頼関係を深めることに繋がったと考えられる。
- ・入居者の方の普段の生活の中で昔行ってきたことや習慣になっている事は引き続き行えるように援助し、毎月行っているユニットレクや施設行事にも積極的に参加してもらえるように支援できた。

#### ○貝ヶ森

- ・毎日の利用者の状況を職員間で共有する事で、何を楽しみにしているか、何をしたいか等その都度ユニット会などで話し合い、生活をサポートしてきたが、申し送りが徹底して出来ていない事があった。ツールの使用についてはチェック表を使用するなどして、確認出来ていた。

#### ○やいとがわ

- ・業務に追われ心にゆとりが持てず、入居者が何を望んでいるのか等汲み取ることができなかった。また、職員も意識して関わっていたが、要望を汲み取る難しさもあり、入居者の希望する事、要望に沿うケアが十分にできなかった。
- ・気持ちに余裕がない事で笑顔を忘れていた事があった。
- ・ご家族との関わりについては、挨拶や入居者の日々の生活、体調等について、積極的に話をすることで信頼関係に繋がる様務めた。
- ・情報の共有については、入居者の入退居や体調の変化による食事・服薬・対応の変更が多くあったが、その都度申し送りノートに細目に記入し、更には口頭で再確認を行うことで情報の把握とケアの統一ができる様に意識付いてできていた。

#### ○菑湖

- ・環境整備については職員一人一人が居心地の良い空間が作れるように意識はできていた。しかし、日中など職員一人での対応も多くあり、細かいところまでは行き届いていなかった。また、植物の管理がなかなか出来ず、枯れたままになっていることも多くあった。

季節に沿った飾り付け等は、職員が気にかけて出来ており室内についても四季を感じとってもらえる事が出来ていたように思われる。

## 2. 個別ケア、楽しみ事への支援

- ・毎月、行事委員が中心となって、ユニットレクも定着してきている。担当職員が企画書の作成・実行ができ、おやつ作りなど入居者の方にも好評であった。また、施設行事にも積極的な参加が見られた。外出支援は、できる限り個別の散歩や誕生日には個人の行きたい場所や自宅など職員と一緒に掛ける支援ができていた。
- ・毎月のユニット会では個別にパットの見直しなどを行い、排泄方法の仕方など確認し合う事が出来ていた。
- ・各フロア・ユニットごとのPC記録・申し送りノートや情報伝達シートにより、情報の共有を図り、職員一人一人が同じ方向性で入居者に関わるよう努めていたが、伝え方受け止め方の違いから、統一したケアに繋がっていると言いはし難い。今後は情報共有のツールを効果的に継続活用し、報告・連絡・相談・確認など職員間で声を掛け合える環境を作っていく必要がある。

## 3. コスト削減に努める

- ・時間外削減についてはできる限り残務にならないように意識できていたが、入居者の状況や職員の配置の関係上どうしても時間内に業務が終われない場合、必要な業務の時間外は出てしまう。現状での職員配置では業務の見直しをしても改善が難しい。
- ・施設の備品や節電については職員間で声を掛け合って意識付けを継続していく必要がある。

## 4. サービスの質の向上、維持に努める

- ・長期育休により主任が不在の中でリーダーが中心となって、入居者一人一人の状態把握に努め、ユニット職員に提案や助言などしながら、新人教育にも力を発揮していた。まだ、ユニット型での職員教育チェックリストが作成・定着できておらず、個別のスキルに合わせてOJTの中で教育している状況なので、今後は内容を検討し、作成する必要がある。
- ・Uビジョン認証取得後も環境整備を継続し、夜間抜き打ち審査でも良い結果を得られることができたが、今後もユニットごと定期的にラウンドし、必要であれば夜間抜き打ち検査も実施していく。
- ・日頃から家族との関わりを大切にしよう意識して、家族来訪時には入居者の生活状況など近況報告に努めることができていた。家族からの要望によっては必要に応じて、説明と改善を行ってきた。今後も家族の思いを真摯に受け止め、細かい配慮をしながら職員全員が積極的に声を掛ける習慣を継続できるようにする。

### ◆看護部門

### 平成29年度・事業計画

- ① 日頃から他職種が情報共有できる関係性を築き、介護職員が入居者の少しい異変に気づき、そこから多職種で連携を図り対応し、重篤な状態に陥ることがなく、施設での生活を過ごせるように対応することができる。
- ② ターミナルケアとなった場合、多職種でその人らしく最期の時を過ごしてもらえるように、本人・家族の意向を確認し、カンファレンスで情報共有し合いながら対応することができる。配置医との連携にて、施設でできる範囲の医療的ケア対応にて身体面での苦痛の緩和に努める。訪室時には、本人への優しい声掛けやタッチング、家族の不安な気持ちを聞きだし、精神面での苦痛の緩和にも努める。
- ③ 看護師不在時に介護職員が対応困難とならないように、医療的物品の管理をする。夜間はオンコール対応にて、夜勤介護職員の不安な気持ちを汲み取り、オンコール担当看護師は的確な判断をして介護職員に対応してもらい、入居者が安心・安全に過ごせるように対応する。

- ④ 褥瘡のハイリスク者に対しては、サービス担当者会議にて多職種で話しあい、褥瘡予防計画を立案し、普段からのケア対応で注意すべきことは助言し対応することで褥瘡予防に努める。
- ⑤ 感染予防対策として、年に2回の勉強会の開催や、流行時期にはマニュアルの再確認にて感染予防に向けた施設での取り組みを職員全体で周知徹底し感染予防に努める。発症した場合は、入居者が重篤な状態に陥ることがないように配置医との連携にて素早い行動で対応する。

#### <評価>

- ① 多職種で連携できる様、体制の見直しを行った。看護師の人数が減り、完全移行は出来ていないが少しずつ変化している段階である。利用者に変化・異変があれば、介護職員と情報を共有し、協力態勢が取れる様心掛けている。家族への報告が後回しになることが多くあった事より、今後は本人、家族の意向を重視して関わっていく事が必要となってくる。看護師間での情報共有については、申送りノートの活用や休憩時間を利用してお互いの情報を伝え合っているが、人数が減ってきた事で、共有できる時間が減ってきている事が現状である為、今以上に意識して情報共有する場を、持つ事が必要となっている。
- ② 自然な看取が出来るよう、医師や家族、介護職員への働きかけを行った事で、モニターや点滴などを装着せずに最期を迎える事が出来た方も増えてきた。ターミナルの開始時期については、進行具合などに個人差もあり、判断が困難で今後も課題としては残っている。ターミナル開始後は本人や家族、また介護職員への声掛けを行ない、現状の説明や不安の解消に努めてきた。今後も自然な看取が行なえる様、多職種で情報を共有しながら支援できるよう努めていく必要がある。
- ③ 日中の発熱者などには、夜間の指示などを前もって伝えることで、夜間のオンコールの件数が減ってきた。夜間帯での状態変化者は、その都度、状態の聞き取りを行ない、その時点で考えられる最良での返答を出来るよう心掛けてきた。オンコール時の介護職への言葉掛けにも注意をし、不安が募らない様に働きかけた。黒の携帯電話の活用法を見直し、看護師や病院との連絡を取りやすく出来るよう工夫した。電話での状態聴き取り、指示となる為、しっかりと伝わっているかどうかなどの確認も今後も続けて行っていく必要がある。
- ④ 褥瘡改善計画経過表の見直しを行ない、評価・記入をし易い内容にした。早期の褥瘡で介護職より声がかかることが増え、早めの処置が行なえたことで、褥瘡が悪化する事はなかった。年1回の学習により、発赤が出来た時の原因や経過などの報告も行う事が出来るなど、介護職の観察力や考察力も向上した。ハイリスク者に対しては、予防計画を立て、褥瘡予防に取り組み、悪化して見つかる褥瘡はなかったが、ハイリスク者には該当しておらず、急激な移動能力の低下者に褥瘡が出来たこともあり、スケールだけに頼らず、個々の状態変化からリスクの見極めが出来る様、観察・考察点を深めていけるよう学習していく必要がある。
- ⑤ 予防的に感染症と同様の対応をした方はいたが、同症状が広がるような事はなく、重篤化する事は見られなかった。疑わしい症状が出た時には、早めに医師に相談し治療・処置を行なってきた。流行時期に、マニュアルの再確認を行ない、入居者への対応だけでなく、本人や家族が発症した際にも情報を集め、感染症を持ち込まない様、対応していった。ガウンテクニックや手洗いの学習では、以前に学習していても自信がなかったり、あやふやな箇所があったりすることもあり、今後も年1回の学習で見直したいとの意見も聞かれた。定期学習会を利用し、自信を持って行なえる様、支援していく必要がある。

**◆食事・栄養部門****平成 29 年度・事業計画**

- ① 利用者に対する愛情と食の責任を職員一人一人が意識し、見た目も美しく・食べやすい食事作りを心がける。
- ② 季節感のある食事内容や積極的に旬の食材を使用し、バリエーションのある献立作りで利用者に喜ばれるよう努める。
- ③ 食中毒予防に考慮した衛生管理のポイントを職員全体で理解し浸透を深めると共に、適切で具体的なマニュアルに順じて、安全な調理を行う。
- ④ 年間を通して安定した予算の使用を目指すにあたり、納品業者の適正価格等の内容を細かく把握し、適切な経費削減ができるよう努める。
- ⑤ 食事摂取量低下、咀嚼・嚥下困難な利用者に低栄養のリスクを軽減するために個人に合った食事提供の仕方や内容を工夫し、他職種との連携を図りながら嚥下調整食の改善に向けて取り組む。(ソフト食等、あらゆる食事形態への取り組み。)

**<評価>**

- ① 個々の食事形態が適切であるか各ユニットを回り、介護職員からも情報収集を行うことで利用者の食事状況の把握や改善をすることができた。ユニットを回った際には利用者と会話をすることを心がけた。今後もコミュニケーションが図れるよう、積極的に関わりを増やしていく。
- ② 旬の食材を積極的に取り入れ季節感のある献立になるよう努めた。行事食では通常の献立とは異なった食事形式で提供し、入居者にも喜んでいただけた。
- ③ 衛生管理マニュアルに準じ、衛生的な食品の取り扱い・調理作業を心がけた。調理作業の中で誤配膳・スプーン等の食器具の入れ忘れが目立った。安全に食事提供がなされるよう厨房職員への注意喚起と指導を継続して行っていく。
- ④ 物価の値上がりが続く中、納品業者の価格等の内容を細かく把握することで、経費削減に努めることができた。
- ⑤ 食事量が低下した入居者には、嗜好に応じた食事に変更したり、栄養補助食品の種類を増やすことで栄養量確保へと繋げることができた。  
嚥下調整食の取り組みとしてはペースト粥からゼリー粥へ変更し、入居者の食事時の負担軽減や調理現場での作業定着化が図れた。  
今後も低栄養のリスクを軽減するために、多職種と情報共有しながら入居者の日々の状態を把握し、適切な食事の提供に努めていく。

**◆管理栄養士部門****平成 29 年度・事業計画**

- ① 低栄養状態の予防・改善を図る為に利用者ごとに栄養ケア計画書を作成し、定期的に評価・見直しを行い、栄養量確保に努める。
  - ・食事摂取量、水分摂取量、体重減少率、栄養補給法、褥瘡等を把握する。
  - ・多職種との連携を図り、食事状況(形態・嗜好・器具・姿勢・動作・介助・咀嚼や嚥下・環境等)を把握し、随時利用者に添える対応をする。
- ② 疾患のある利用者には、その病態に応じた療養食を提供し悪化予防をしていく。
- ③ 摂取量が低下している低栄養状態のリスクの高い利用者には栄養補助食品を取り入れる等柔軟に対応する。
- ④ 残存機能の維持に努めながら、尊厳を保ち、その人らしい食事ができる事を目指す。
- ⑤ 終末期を迎えた食事可能な利用者には負担をかけず食を楽しんでもらえるよう努める。

**<評価>**

- ① 食事量の少ない方や体重減少がみられる方には主食量を増やしたり、栄養補助食品の提供を行い栄養確保に努めるようにしている。食意欲の低い方や飲み込み能力が低下している方はいろいろな工夫をしても難しく考えさせられる事

もあった。食事・水分・体重の変動は定期的に把握し、褥瘡の発生状況は現場スタッフに聞く事やケース記録から把握し、褥瘡治癒が早期にできるように栄養補助食品の提供を速やかにできるようにしていたが、発生し数日たってから知る事もあり全てを速やかに対応できなかった。多職種と連携しながら食事状況を把握できるよう努めているが状況の変化にすぐに気が付き対応ができる事が課題となっている。

- ② 疾患のある入居者の方には療養食を提供し病態の悪化の予防をしている。家族の希望や状況に合わせながら療養食の中止も臨機応変にできた。
- ③ 食べられなくなってきた方には栄養補助食品を利用し負担かけずに少量高カロリーで栄養確保できるように対応できた。
- ④ 自分で食べられる方には声かけや少しのサポートで、できるだけ自分で食べる事が維持できるように関わっている。食形態の変更も多職種で相談しながら、飲み込みや嚥む能力、崩しすぎない見た目の良さなどに配慮して変更している。
- ⑤ 終末期の方の食事についてはハーフ食や負担のかからない程度での栄養補助食品を提供している。食べられる状況ではない方でも湿らす程度に甘味のあるものなど、好みの物をわずかな量でも味わってもらえるように努めている。好みの物を元気うちに調査しておくことも課題の一つとなっている。

#### ◆事務部門

#### 平成 29 年度・事業計画

- ① 法人規模が大きくなり本部事務量が增大していく中、各事業部との協力、連携を、より一層強化し経営主体として適正で健全な財務状態を維持するよう努める。  
また各種制度等の情報に注視して、コスト管理や収入管理に配慮し事務作業を正確かつ適切に、効率よく行うよう努める。
- ② 今年度も引き続きストレスチェック制度を外部業者と協力し実施し、職員のメンタルヘルスへの対応をする。他職種との連携を図り、職員がやりがいや働き甲斐を持って仕事ができるよう魅力ある施設環境づくりに努める。また福利厚生においても、職員同士の交流の場を作り各部署間と気軽にコミュニケーションの図れるよう福利厚生を充実させる。
- ③ 明るく笑顔で身だしなみを整え、相手の目線に合わせた的確で迅速な対応を心掛け、サービスマナー向上に努める。
- ④ 社会福祉法人として地域福祉に貢献できるよう、常に地域の皆様の声を大切にし、そのニーズに応えることができるよう努め、地域の福祉の拠点施設を目指す。  
ホームページについては、できるだけ更新処理を多くし、他機関との協力体制、法人の活動状況等が閲覧できるよう、福祉サービスの提供および情報の提供に努める。

#### <評価>

- ① 社会福祉法や介護報酬改正等に伴い各種事務処理が、ますます煩雑化してきた。  
各事業所、横浜、宇和島、大洲と連携をとって効率よく、ミスを少なくするよう事務処理に努めている。今後も日常業務における職員同士の助言・確認の実施を強化し、健全適正な事業運営に努めたい。コスト管理意識についても各部署職員にも節約意識が見られるようになってきていると思われるが、まだ時間外業務が多いので検討の余地がある。効率的に業務できるよう、引き続き、各部署にも協力してもらいながら、時間外労働の削減、またできる範囲での各種の経費削減をしてもらうよう呼びかけていきたい。
- ② ストレスチェック制度導入から2年目に入り、部署ごとの集団分析結果が出た。職員がメンタルヘルス不調になることを未然に防止していくのが事業所としての役割なので今後、この結果を活かせるよう気にかけて注意したい。  
また、働きやすく、永く勤められる環境（離職防止）を目指し、永年勤続表彰制度を導入した。また子育て世代

の職員が多数いるなかで昨年より設置した託児所が大変好評である。その他、魅力ある職場づくりとして何か案はないか考え福利厚生を今後も充実させていきたい。

- ③ サービスマナーにおいては常日頃、事業所全体でも気にかけている。今後も今以上に基本的な接遇態度に気を付けて、状況（場面）に応じ適切に接するように心掛ける。
- ④ 地域福祉、社会貢献事業の取り組みは社会福祉法人としての使命と思う。

法人本部で実施している、買物バス事業や、各種団体へのケアハウス地域交流ホールの貸し出しなど、非常に評価され好評であるので今後も地域の皆様の意見等を聞きながら、地域に愛され信頼される施設づくりをめざしていきたい。

#### ◆ショートステイ

その人のニーズに合った個別ケアの提供や環境作りをし、「ぜひ次回も利用したい」と言って貰えるような生活の場を提供する。

- ・職員一人一人がその人の立場や思いを理解し、日々の生活の活性化を図る。
- ・毎月その月の担当職員を決め、入居者の方が四季を感じて頂けるように、また安心して
- ・生活ができる様な環境作りをしていく。（職員間で協力し合い、案を出し合っていく。）
- ・家族の方からの情報収集や多職種との連携により得た事を、職員間で報告・連絡・相談・確認をしながら、現場の対応に活かしていく。

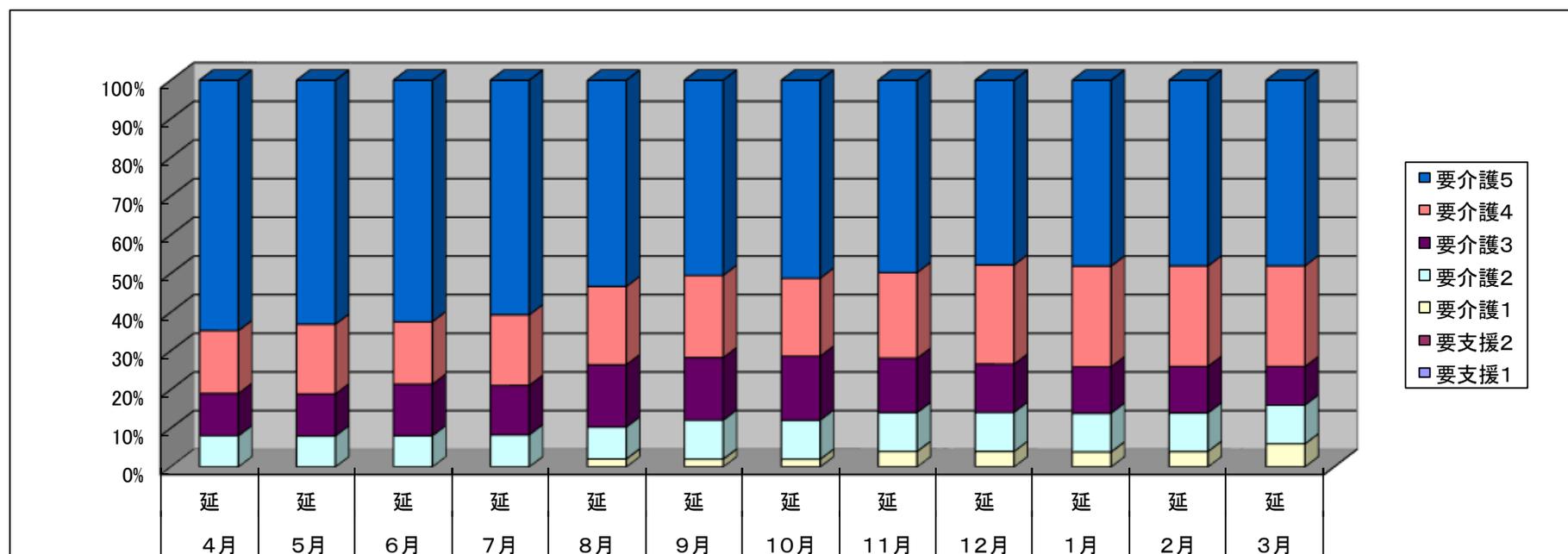
#### <評価>

- ① 家族や入居者の方に対して職員の伝え方や対応の仕方で指摘があったことも含め、今後は言葉遣いや伝え方など意識し気をつけ、職員間でも声を掛けあうようにしていく。職員が1人で余裕がない状況の時は対応が遅れたり、家族の方にお茶などのおもてなしが出来なかったことがあった。時間を作り、利用者に関わることを意識しつつも思うようにいかない状況があった。今後は職員それぞれが気持ちにゆとりを持ったケアを心掛けていくように意識する。
- ② 服薬チェックを看護師に連絡して、再確認する連携を図ることができない日があった。今後は入所した時点で必ず連絡し、確認に来てもらうように徹底する。状況によっては直ぐに確認できない場合があるので、時間を置いてでも必ず来てもらうように声を掛け、介護職だけの判断はせず、薬の内容チェックをしてもらい、連携を図っていくようにする。
- ③ 以前に比べると、比較的荷物や薬の忘れ物が少なくなってきたはいるが、まだ改善が必要である。退所時には再確認を怠らず、所持品チェック表の内容もダブルチェックできるように改善し、継続して職員間で声を掛け合っていく。

1-1. 特別養護老人ホーム豊寿園(従来型) 実績表(平成29年度)

単位:人

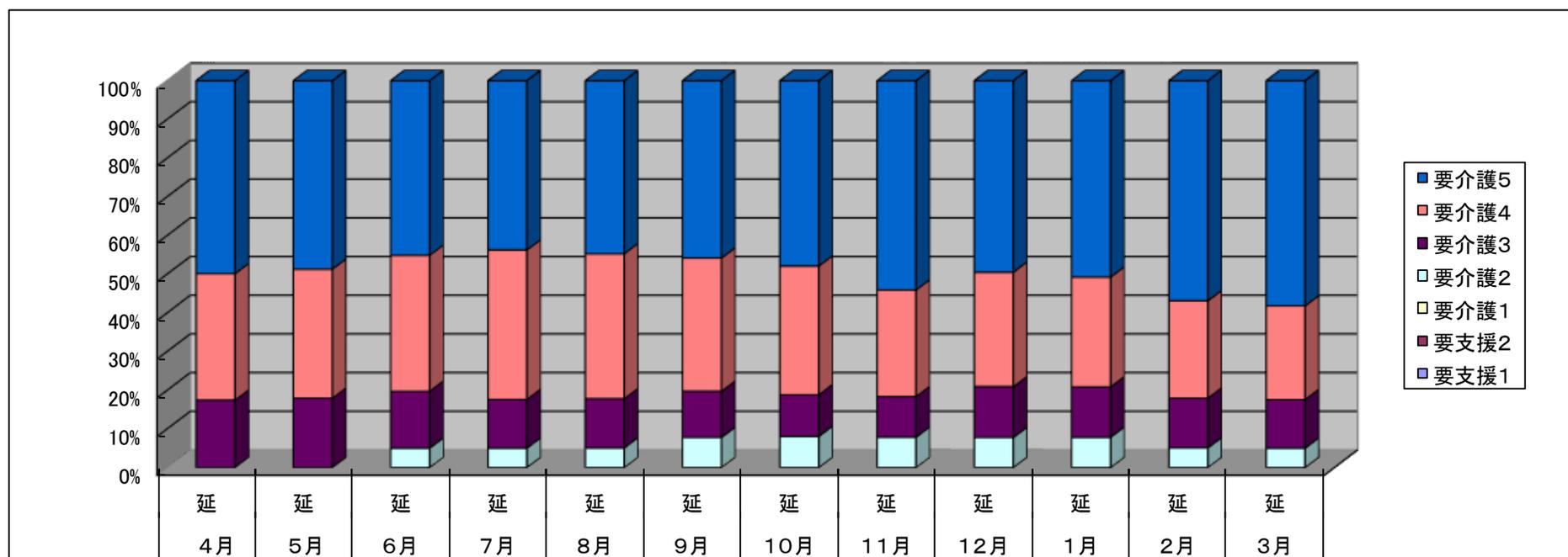
50床	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	31	1	30	1	31	1	60	2	62	2	60	2	56	2	93	3	423	14	
要介護2	120	4	124	4	120	4	124	4	124	4	150	5	155	5	150	5	155	5	155	5	140	5	155	5	1672	55	
要介護3	162	6	168	6	198	7	190	8	242	9	240	8	254	9	210	7	192	7	186	6	168	6	155	5	2365	84	
要介護4	241	9	279	9	240	8	272	9	304	10	316	11	310	10	330	11	394	13	403	13	364	13	403	13	3856	129	
要介護5	960	32	976	32	928	31	903	30	801	27	750	26	787	26	742	25	734	24	744	24	672	24	744	24	9741	325	
計	1483	51	1547	51	1486	50	1489	51	1502	51	1486	51	1537	51	1492	50	1537	51	1548	50	1400	50	1550	50	18057	607	
入所率	98.9		99.8		99.1		96.1		96.9		99.1		99.2		99.5		99.2		99.9		100		100		98.90%		
28年度	1459	97	1485	96	1464	98	1510	97	1501	97	1394	93	1526	99	1468	98	1515	98	1530	99	1379	99	1494	96	17725	97	



1-2. ユニット型特別養護老人ホーム豊寿園(40床) 実績表(平成29年度)

単位:人

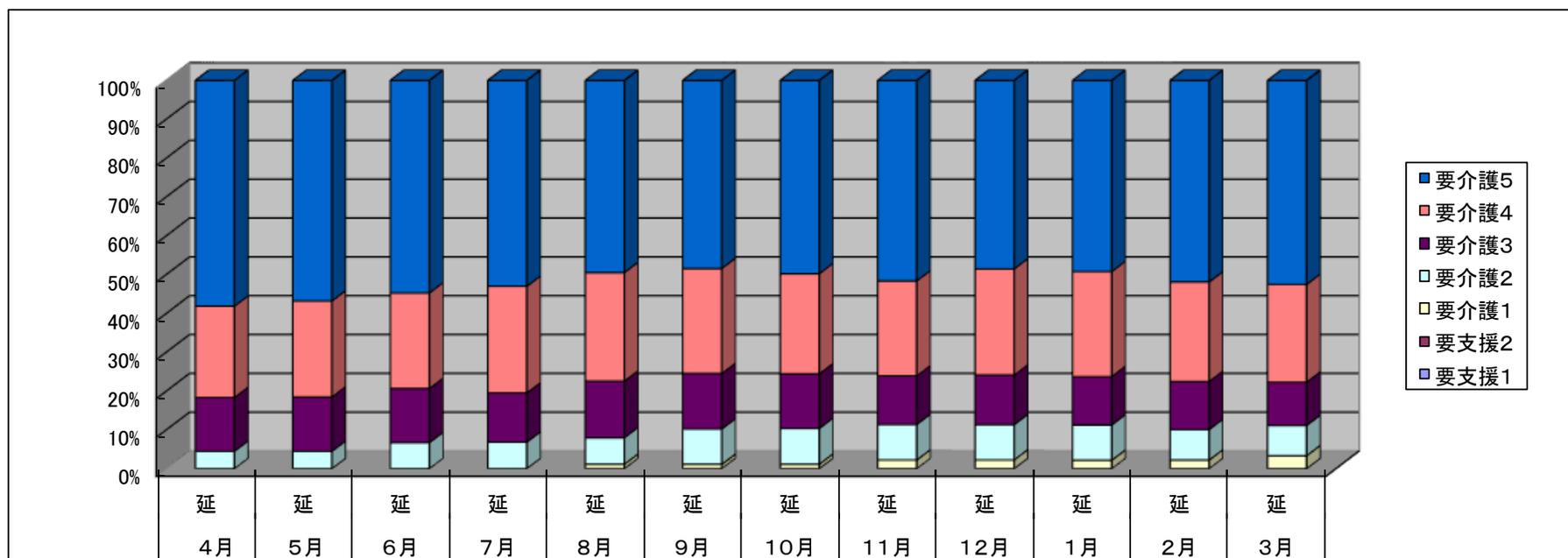
40床	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	60	2	62	2	62	2	90	3	93	3	90	3	93	3	93	3	56	2	62	2	761	25	
要介護3	207	7	217	7	176	6	155	5	155	5	138	5	124	4	120	4	157	6	155	5	140	5	155	5	1899	64	
要介護4	387	13	403	13	420	14	475	17	456	15	397	14	383	14	315	12	353	13	337	11	275	11	299	10	4500	157	
要介護5	591	20	589	20	540	18	538	18	545	18	529	18	552	20	619	23	591	23	603	22	621	23	718	24	7036	247	
計	1185	40	1209	40	1196	40	1230	42	1218	40	1154	40	1152	41	1144	42	1194	45	1188	41	1092	41	1234	41	14196	493	
入所率	98.8		97.5		99.7		99.2		98.2		96.2		92.9		95.3		96.3		95.8		97.5		99.5		97.20%		
28年度	1116	93	1137	92	1142	95	1228	99	1223	99	1200	100	1229	99	1155	96	1191	96	1212	98	1083	97	1198	97	14114	97	



1-3. 特別養護老人ホーム豊寿園・合計表(90床) 実績表(平成29年度)

単位:人

90床	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	31	1	30	1	31	1	60	2	62	2	60	2	56	2	93	3	423	14	
要介護2	120	4	124	4	180	6	186	6	186	6	240	8	248	8	240	8	248	8	248	8	196	7	217	7	2433	80	
要介護3	369	13	385	13	374	13	345	13	397	14	378	13	378	13	330	11	349	13	341	11	308	11	310	10	4264	148	
要介護4	628	22	682	22	660	22	747	26	760	25	713	25	693	24	645	23	747	26	740	24	639	24	702	23	8356	286	
要介護5	1551	52	1565	52	1468	49	1441	48	1346	45	1279	44	1339	46	1361	48	1325	47	1347	46	1293	47	1462	48	16777	572	
計	2668	91	2756	91	2682	90	2719	93	2720	91	2640	91	2689	92	2636	92	2731	96	2736	91	2492	91	2784	91	32253	1100	
入所率	98.8		98.8		99.3		97.5		97.5		97.8		96.4		97.6		97.9		98.1		98.9		99.8		98.18%		
28年度	2575	95	2622	94	2606	97	2738	98	2724	98	2594	96	2755	99	2623	97	2706	97	2742	98	2462	98	2692	97	31839	97	

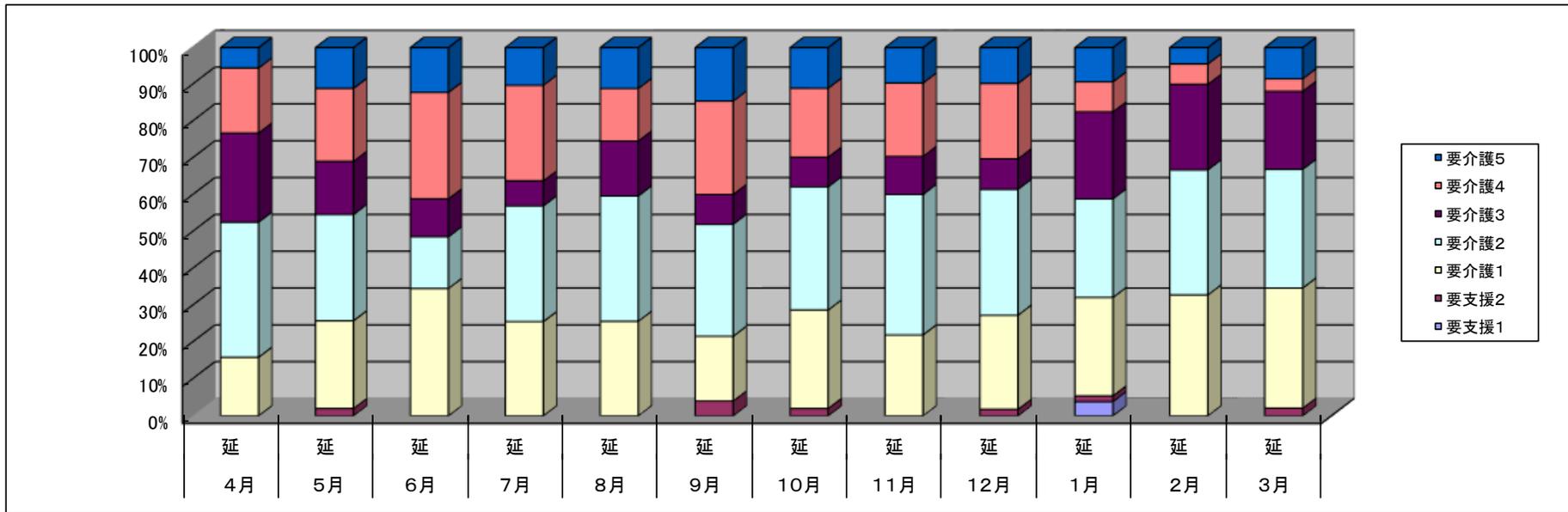


1-4. ショートステイ事業実績表(平成29年度)

特別養護老人ホーム 豊寿園

単位:人

10 床	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	3	0	0	0	0	10	3
要支援2	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	12	1	6	1	0	0	5	1	4	1	0	0	5	1	38	6
要介護1	46	6	71	7	91	7	75	9	74	8	52	6	80	9	64	7	71	7	69	6	89	7	77	6	859	85
要介護2	106	7	86	7	37	4	92	8	98	7	90	6	100	8	111	8	95	7	69	5	92	6	76	8	1052	81
要介護3	70	7	43	5	27	4	20	2	43	4	24	3	24	4	30	6	23	4	61	7	63	7	50	3	478	56
要介護4	51	4	59	4	76	5	76	5	41	4	75	6	56	5	58	7	57	6	21	2	15	1	8	2	593	51
要介護5	16	1	33	3	32	2	30	2	32	2	43	3	33	3	28	2	27	2	24	2	12	2	20	2	330	26
計	289	25	298	27	263	22	293	26	288	25	296	25	299	30	291	30	278	27	258	26	271	23	236	22	3360	308
送迎	37	96%	39	96%	41	88%	40	95%	37	93%	39	99%	41	97%	39	97%	32	90%	18	83%	22	97%	24	76%	409	92.05%
28年度	257	86	206	67	137	46	156	50	244	79	193	64	177	57	291	97	306	97	276	89	257	92	224	72	2724	74.63%



# 1-5. 平成29年度 行事報告

月	日	行 事 名	実 施 状 況
4	1	花 見(ショートステイ)	梅ノ木公園桜の広場(参加者9名)
	3	花 見(本館)	梅ノ木公園桜の広場(参加者45名)
	11	散髪の日(本館)	2F 散髪室
	12	花 見(新館2F)	黒川土手(参加者3名)
	18	花 見(新館3F)	梅ノ木公園桜の広場(参加者17名)
	19	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
	20	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	25	四万十市長選挙不在者投票日	会議室(投票者2名)
	25	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
	26~27	東中学校福祉体験学習	3年生(10名)
5	9	散髪の日(本館)	2F 散髪室
	12	居酒屋へない	新館職員休憩室
	16	施設内害虫駆除	住ケン高知
	16	散髪の日(本館・新館)	2F 散髪室・各ユニットリビング
	17	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	23	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
	24	早稲田大学中国人留学生視察	留学生(22名)、引率者(3名)
6	2	施設周辺清掃活動	草刈り・ゴミ拾い
	13	散髪の日(本館)	2F 散髪室
	18	ハクラーナイト・アンパル演奏会	ゲハウスすくも地域交流ホール(参加者25名)
	20	散髪の日(本館・新館)	2F 散髪室・各ユニットリビング
	21	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	23	防災訓練(地震)	昼間大地震発生想定
	27	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
7	7	居酒屋へない	新館職員休憩室
	11	散髪の日(本館)	2F 散髪室
	18	散髪の日(本館・新館)	2F 散髪室・各ユニットリビング
	19	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	22	やいとがわ納涼祭	打ち上げ花火3000発(参加者53名) 宿毛市長 中平 富宏 様 宿毛市消防団ラッパ隊、西土佐みのり太鼓 民謡を楽しむ仲間、太鼓おどり、職員・地域住民による踊り 模擬店(生ビール、ジュース、焼鳥、やきそば、ところ天 アイスクリーム、わたがし、たこ焼き、たいこまん、金魚すくい おもちゃ他) 参加者約3,000名
	25	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
	26~27	片島中学校福祉体験学習	3年生(8名)
	31	大掃除	

月	日	行 事 名	実 施 状 況
8	8	散髪の日(本館)	2F 散髪室
	12	延光寺住職訪問	盆供養(参加者12名)
	14	熊井氏ピアノ演奏会	ケアハウスすくも地域交流ホール(参加者20名)
	19	岡本ピアノ教室演奏会	ケアハウスすくも地域交流ホール(参加者7名)
	22	散髪の日(本館・新館)	2F 散髪室・各ユニットリビング
	23	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	29	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
9	4	施設周辺清掃活動	草刈り・ゴミ拾い
	8	居酒屋へない	新館職員休憩室
	12	散髪の日(本館)	2F 散髪室
	15	施設内害虫駆除	住ケン高知
	18	敬老会	宿毛市市民合唱団 3B体操クラブ 上原京子氏(カラオケ) 職員による演芸(3)(参加者41名) 皿鉢料理(昼食)
	19	散髪の日(本館・新館)	2F 散髪室・各ユニットリビング
	20	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	26	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
10	1	鵜来島祭り	神輿担ぎ(職員5名)
	2	防災訓練(火災・地震)	昼間火災・大地震発生想定(宿毛消防署員2名)
	4	防災設備点検	勝瀬防災
	10	散髪の日(本館)	2F 散髪室
	11	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	13	運動会(本館)	ケアハウスすくも地域交流ホール(参加者19名)
	17	散髪の日(本館)	2F 散髪室
	18	介護相談員訪問日	第三者委員(2名)
	19	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
	24	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
31	施設周辺清掃活動	草刈り・ゴミ拾い	
11	1~2	宿毛中学校福祉体験学習	2年生(12名)
	2	早稲田大学中国人留学生視察	留学生(20名)、引率者(3名)
	6	衣料品等訪問販売	ファッションライズ(ケアハウスすくも地域交流ホール)
	7	吉田光秋氏コンサート	ケアハウスすくも地域交流ホール(参加者10名)
	14	散髪の日(本館)	2F 散髪室
	15	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	21	散髪の日(本館・新館)	2F 散髪室・各ユニットリビング
	28	散髪の日(新館)	各ユニットリビング

月	日	行 事 名	実 施 状 況
1 2	1 2	散髪の日(本館)	2 F 散髪室
	1 3	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	1 4	大掃除	
	1 6	宿毛レオクラブ訪問	演奏会・クリスマスケーキ寄付
	1 9	クリスマス会・忘年会合同会	宿毛幼稚園訪問(参加者54名)
	2 1	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
	2 2	散髪の日(本館)	2 F 散髪室
	2 6	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
	2 8	餅つき	ケアハウスすくも駐車場(参加者13名)
	2 9	Y. N様百才のお祝い	本館ほのぼのユニットリビング
1	9	散髪の日(本館)	2 F 散髪室
	1 0	新春職員記念撮影	ケアハウスすくも地域交流ホール
	1 2	居酒屋へない	新館職員休憩室
	1 6	散髪の日(本館・新館)	2 F 散髪室・各ユニットリビング
	1 9	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	19~25	四万十看護学院施設実習	2年生(5名)
2 3	散髪の日(新館)	各ユニットリビング	
2	3	「節分」豆まき	各ユニットリビング(参加者57名)
	9~16	四万十看護学院施設実習	2年生(5名)
	1 3	散髪の日(本館)	2 F 散髪室
	19~23	美作大学学生ボランティア実習	生活科学部食物学科1年生(1名)
	2 0	散髪の日(本館・新館)	2 F 散髪室・各ユニットリビング
	2 1	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	2 7	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
	2 7	防災訓練(火災・地震)	夜間発生想定
3	9	居酒屋へない	新館職員休憩室
	1 3	散髪の日(本館)	2 F 散髪室
	2 0	散髪の日(本館・新館)	2 F 散髪室・各ユニットリビング
	2 3	口腔ケア訪問指導	二神歯科
	2 7	散髪の日(新館)	各ユニットリビング
	2 6	花 見(新館3F)	やいとがわ浴い(参加者9名)
	2 8	花 見(新館3F)	やいとがわ浴い(参加者8名)
	2 9	花 見(本館)	梅ノ木公園桜の広場(参加者24名)
	3 0	花 見(新館2F)	梅ノ木公園桜の広場(参加者9名)
	3 1	花 見(新館3F)	やいとがわ浴い(参加者3名)

1-6. 入居者の状況（本館従来型）（男性2名、女性10名・・・計12名）

年 月 日	入居者	性 別	年 齢	入居前居所	保険者
29. 4. 19	Y. T	男	93	自 宅	宿毛市
29. 5. 19	M. N	女	90	介護老人福祉施設	宿毛市
29. 7. 3	Y. N	女	99	介護老人福祉施設	宿毛市
29. 7. 28	Y. S	女	85	認知症対応型共同生活介護	宿毛市
29. 8. 3	A. K	女	80	介護老人福祉施設	宿毛市
29. 8. 7	M. O	女	98	介護老人保健施設	宿毛市
29. 8. 25	K. K	女	96	自 宅	宿毛市
29. 9. 15	S. K	女	92	自 宅	宿毛市
29. 10. 26	T. I	女	90	自 宅	宿毛市
29. 12 . 4	A. M	女	91	有料老人ホーム	宿毛市
29. 12. 7	M. K	女	85	介護老人福祉施設	宿毛市
29. 12. 11	I. K	男	96	介護老人福祉施設	大月町

## 1-7. 入居者の状況 (新館ユニット型)

(男性5名、女性19名・・・計24名)

年 月 日	入居者	性 別	年 齢	入居前居所	保険者
29. 4. 4	T. K	女	92	有料老人ホーム(特定施設)	宿毛市
29. 4. 4	K. K	女	93	介護老人福祉施設	宿毛市
29. 6. 5	Y. N	女	99	介護老人保健施設	宿毛市
29. 7. 4	C. M	女	82	病院(地域包括ケア病棟)	宿毛市
29. 7. 6	M. O	女	69	介護老人保健施設	宿毛市
29. 7.20	N. I	女	88	介護老人保健施設	宿毛市
29. 9.24	S. T	女	91	介護老人保健施設	宿毛市
29.10.13	Y. M	男	87	介護老人保健施設	宿毛市
29.10.23	C. N	女	97	病院(回復期リハビリテーション)	宿毛市
29.11. 2	I. K	男	96	介護老人福祉施設	大月町
29.11. 9	M. T	男	88	ケアハウス(特定施設)	宿毛市
29.11.13	T. M	女	83	自 宅	宿毛市
29.12. 1	T. S	女	89	認知症対応型共同生活介護	宿毛市
29.12.11	Y. H	女	96	病院(一般病棟)	宿毛市
29.12.12	S. N	女	83	自 宅	宿毛市
29.12.19	H. S	男	94	有料老人ホーム(特定施設)	宿毛市
29.12.23	Y. M	女	84	自 宅	宿毛市
29.12.28	M. Y	女	56	病院(認知症病棟)	宿毛市
30. 1. 5	T. T	女	94	認知症対応型共同生活介護	宿毛市
30. 1.29	H. S	女	84	自 宅	四万十市
30. 2. 5	F. Y	女	95	介護老人保健施設	四万十市
30. 2. 6	T. T	女	92	介護老人保健施設	宿毛市
30. 2.28	K. S	男	73	高齢者住宅	宿毛市
30. 3.27	M. Y	女	56	病院(認知症病棟)	宿毛市

1－8. 退所者の状況(本館従来型) (男性2名、女性10名・・・計12名)

年 月 日	退居者	性 別	年 齢	退居事由	保険者
29. 4. 17	M. T	男	95	長期入院(地域包括ケア病棟)	宿毛市
29. 5. 15	M. O	女	102	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 6. 28	Y. S	女	87	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 7. 21	T. H	女	94	死 亡(当施設)	四万十市
29. 7. 26	H. I	女	84	死 亡(当施設)	四万十市
29. 7. 30	T. K	女	85	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 8. 18	K. C	女	77	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 9. 9	C. Y	女	89	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 10. 12	F. G	女	77	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 11. 25	A. K	女	80	死 亡(一般病棟)	宿毛市
29. 11. 30	U. O	女	96	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 12. 6	T. M	男	90	死 亡(当施設)	宿毛市

1-9. 退所者の状況(新館ユニット型) (男性7名、女性15名・・・計22名)

年 月 日	退居者	性 別	年 齢	退居事由	保険者
29. 5. 31	C. M	女	8 2	長期入院(地域包括ケア病棟)	宿毛市
29. 6. 30	M. Y	女	9 3	長期入院(一般病棟)	宿毛市
29. 7. 3	Y. N	女	9 9	介護老人福祉施設入居	宿毛市
29. 7. 14	T. H	男	9 1	死 亡(当施設)	四万十市
29. 9. 18	K. T	男	9 6	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 10. 10	T. T	女	9 0	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 10. 17	N. I	女	8 8	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 10. 27	K. K	女	9 3	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 11. 5	M. O	女	6 9	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 11. 6	S. T	男	9 0	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 11. 24	S. H	女	8 6	長期入院(地域包括ケア病棟)	宿毛市
29. 12. 1	H. T	女	9 4	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 12. 7	M. K	女	8 5	介護老人福祉施設入居	宿毛市
29. 12. 11	I. K	男	9 6	介護老人福祉施設入居	大月町
29. 12. 17	M. T	男	8 9	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 12. 22	K. I	男	7 8	死 亡(当施設)	宿毛市
29. 12. 28	Z. M	男	9 0	死 亡(当施設)	宿毛市
30. 1. 22	M. Y	女	5 6	長期入院(認知症病棟)	宿毛市
30. 1. 29	M. Y	女	9 0	死 亡(一般病棟)	宿毛市
30. 1. 31	E. A	女	9 7	死 亡(当施設)	宿毛市
30. 2. 22	S. N	女	9 6	死 亡(当施設)	宿毛市
30. 3. 24	S. M	女	9 4	死 亡(当施設)	宿毛市

## 1-10. 地域支援事業

### ■買い物支援バスの実績

実施月	回数(回)	利用人数(人)
平成29年 4月	4	49
5月	5	56
6月	4	40
7月	4	52
8月	5	62
9月	4	52
10月	4	49
11月	5	65
12月	4	51
平成30年 1月	5	42
2月	4	30
3月	4	32
合計	52回	580人

## 2. ケアハウスすくも

### ◆生活相談員

### 平成 29 年度・事業計画

- ① 研修委員として各種委員会がスムーズに機能していけるようサポートする。
  - ・各種委員会との連携を密にし、よりよい施設内研修にして行けるよう企画、提案助言を行う。
  - ・研修内容を充実させ、職員一人一人の技術向上を目指す。
- ② 地域に貢献できる活動を増やしていく。
  - ・地域のニーズを把握し、当施設で取り組める内容を検討し実施していく。
  - ・現在行っている地域との交流を継続し、行事等へ参加出来るように声かけをし地域住民と共に考え、良い関係性を築く。必要に応じて協力を依頼する。
- ③ 入居者やご家族からの苦情・要望に対し、適切な解決が出来るよう努める。
  - ・苦情処理規定に沿って、円滑な苦情解決が出来るよう努める。
  - ・日頃より入居者・ご家族との交流を図り、信頼関係を構築する事で、苦情に繋がるケースの減少に努める。
  - ・第三者委員会との定期的な意見交換の機会を確保し、入居者やご家族にとって安心出来る生活の実現を目指す。
  - ・ケアハウス懇談会を開催し、入居者から直接意見を聞く機会を作る。
- ④ 平成 30 年 4 月の介護報酬改定、制度改正に向けての準備、内容把握を行う。
  - ・制度改正に向けて、方向性が分かった時点で内容を把握し準備する。
  - ・利用料金表、契約書等必要書類の作成や利用者、家族への周知を行う。

### <評価>

- ① 研修委員として職員とコミュニケーションを図り、機能していけるようサポートできた。各種委員会との連携を密にし、より良い施設内研修にしていけるよう、企画・提案助言も行った。
- ② 現在行っている地域との交流はできている。また、居酒屋開催時にいきいきクラブ会員の方に依頼し参加して頂き、入居者の皆さんとのコミュニケーションを図れるよう取り組んだ。
- ③ 入居者やご家族からの苦情・要望に対し、円滑かつスムーズに解決できるよう、情報収集や信頼関係を構築するよう努めた。また、他職種と報告、連絡、相談しながら連携を密にし、入居者やご家族にとって安心できる生活の実現を目指した。
- ④ 制度改正について情報収集を行い、取り組みを行った。

### ◆介護支援専門員

### 平成 29 年度・事業計画

- ① 各居室訪問を行いコミュニケーションが図れ、意見や要望の聞き取りが出来るよう信頼関係を構築していく。
- ② 職員と利用者についての情報を共有し、継続したサービスが提供できるようにしていく。
- ③ 利用者の安全と安心の確保の為、身体拘束廃止委員会や事故対策委員会に参加する。

### <評価>

- ① 居室訪問を月 1～2 回を心掛けるようにし、利用者ともコミュニケーションを取ることはできたが、話の途中で終わってしまうこともあった。今後はゆっくり時間が取れるようにしていきたい。
- ② 職員と利用者の情報共有を行い、サービス変更など適所で行うことができた。

- ③ 各委員会に参加し、今後も利用者の安全と安心の確保に努めていく。

**◆機能訓練指導員**

**平成 29 年度・事業計画**

- ① 個々の身体状況を把握し、必要な機能訓練計画書に基づき実施する。
- ② 他職種と連携しながら介護方法を見直したり、離床時間が延長できるようレクリエーションや体操などへの参加を進める。

**<評価>**

- ① 他職種と情報交換・連携を図りながらご入居者と良好なコミュニケーションを図り、ご入居者個々の身体状況把握や必要に応じて介護方法・機能訓練内容を見直すことで、ADL の向上を図ることや筋力低下を防ぐことは困難であっても、活動意欲低下についてはまずまず防ぎながら実施できたと思う
- ② レクリエーションや行事参加を好まれないご入居者については、毎回不参加となっている状態の為、無理強いせず、気分転換を図れるような声掛けを行ったりコミュニケーションを図る中で興味があることを引き出し、それを実施できるように努めることでできるだけ離床の延長が図れるよう支援していく必要がある。

※来年度も上記①②の反省・評価を基に目標を立て実行する事とする。

**◆看護職員**

**平成 29 年度・事業計画**

- ① 他の職種との情報交換や連携を密にする事で、いつもとの違いに気づき早めに協力病院、又は他院受診する事で、重篤な状態に陥ることを未然に防ぐ。
- ② 病院受診後はご家族に報告し、状態によっては本人・ご家族の意向に基づいて入院もしくは施設内での治療を支援する。
- ③ 全職員が感染症の研修会や勉強会へ出席することで、感染症の予防や対策について熟知するよう努力する。施設内で感染症が発生した場合は、拡大しないよう早期に対応する。

**<評価>**

- ① 月 1 回の職員会や毎日の申し送りにおいて情報交換を行い、検温時の観察や日々の介護支援の中での報告で異常を早期発見し早めに協力病院や他院を受診したことで重篤な状態に陥ることはなかった。
- ② 病院受診後は、ご家族に報告し治療内容を了承して頂いた。  
入院が必要な場合は、ご家族の意向を確認の上協力病院の医師と連携し対応出来た。  
施設での看取り希望の 100 歳を迎えられる方のターミナルにおいて、遠方におられるご家族と綿密なコミュニケーションを図り本人の気持ちに寄り添いながら安らかな最期を迎えられた。  
また、100 歳のお誕生日にはご家族が帰省され、居室でお祝いが出来た事を感謝して頂けた。
- ③ 昨年度、インフルエンザの感染が施設内で拡大してしまったため、予防や対策を再認識し、発熱や疑わしい症状を認めた場合は居室配膳や他入居者様との接触を避けるなど早期の対応を行い、感染者は数名おられものの拡大感染には至らなかった。

**◆介護職員**

**平成 29 年度・事業計画**

- ① 入居者一人一人に寄り添い、気づきによって知り得た情報を、職員会や連絡ノートの活用により、周知し統一したケアを提供していく。

② 研修に参加し専門職としてのスキルアップに努める。

知り得た情報を他職種と共有し、相談しながら入居者の皆様が笑顔で生活が送れるよう支援して行く。  
受け持ち担当としての意識付けをし、プランに沿った援助を行い入居者の皆様の生活の質の向上に繋げる。

③ 残存機能を活かした支援を行い、レクリエーション等強制でなく楽しみながら参加できるように努める。  
一人一人目的を持ち、より多くの方の参加実現に向けて情報の収集を行っていく。

#### <評価>

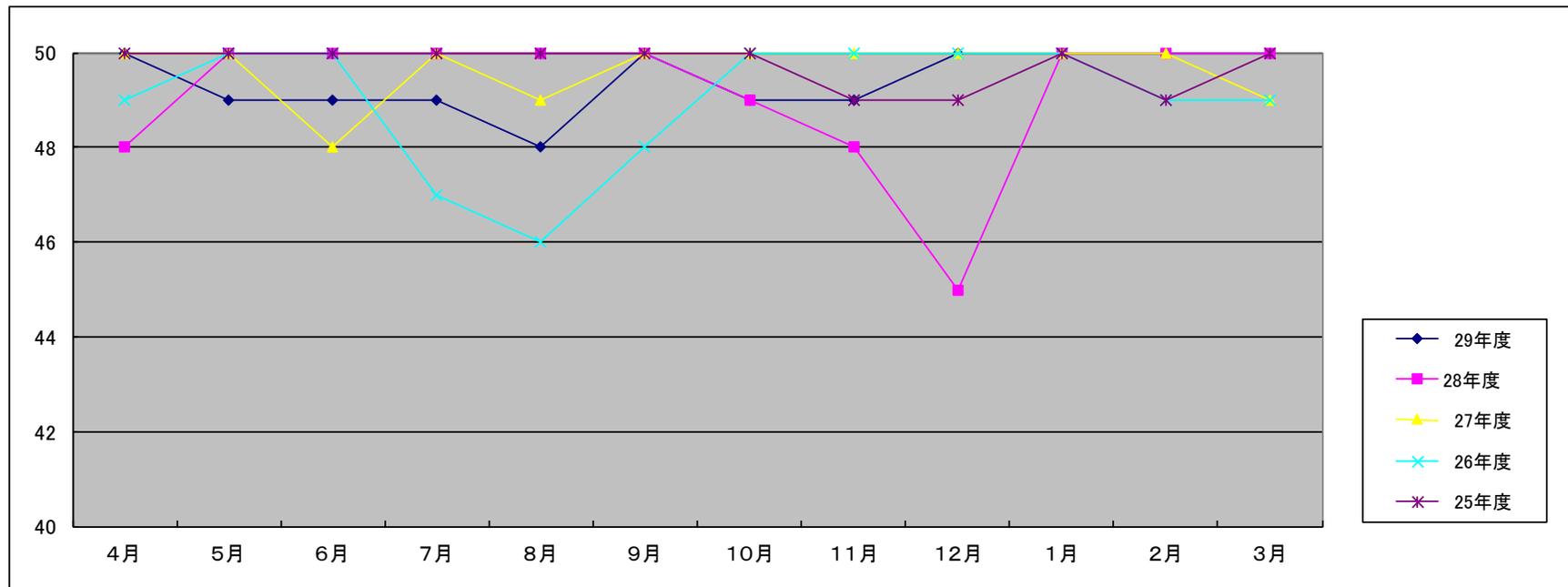
- ① 知り得た情報を職員会や連絡ノートを活用することで、他職種と共有でき、ご入居者に反映できている反面、日々の業務に流され、ゆとりのあるケアが十分に提供できず、雑になり言葉遣いが荒くなることがあった。今後もご入居者に寄り添い、気持ちを尊重し、安心して楽しい生活が送れるよう支援していきたい。  
季刊誌発行に合わせご家族に近況報告を行った。ご家族との更なる信頼関係が築けるよう継続していきたい。
- ② 研修や委員会への出席率は向上している。参加することにより情報の共有や連携はできてきたが、受け持ち担当としての意識付けや、個々にあった支援の提供は職員全体には広まっておらず、ケアの質の向上、統一したケアの提供が求められる。
- ③ レク委員を中心にカラオケ機DAMUを使つての体操やボール遊び、散歩、ドライブ、居酒屋、生け花サークル等、レクリエーションや行事を計画し提供できた。ご入居者からも喜びの声が聴かれ自主的に参加し体を動かす人も増え、今後もコミュニケーションをとりながら計画実行していきたい。

## 2-1. ケアハウス利用実績表(平成29年度)

(毎月1日の実績)

単位: 人

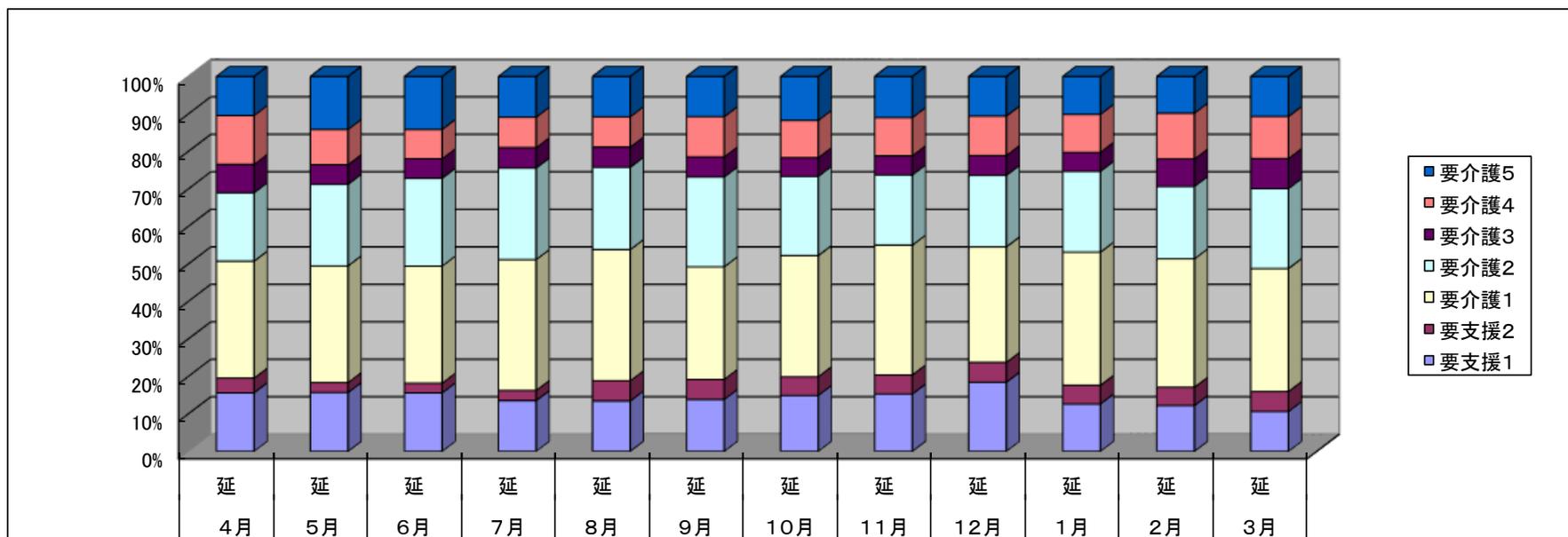
50床	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
29年度	50	49	49	49	48	50	49	49	50	50	50	50	593
28年度	48	50	50	50	50	50	49	48	45	50	50	50	590
27年度	50	50	48	50	49	50	50	50	50	50	50	49	596
26年度	49	50	50	47	46	48	50	50	50	50	49	49	588
25年度	50	50	50	50	50	50	50	49	49	50	49	50	597



## 2-2. ケアハウス特定介護事業実績表(平成29年度)

単位:人

50床	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実
要支援1	180	6	186	6	180	6	155	5	155	5	155	6	186	6	180	6	217	7	155	5	140	5	124	4	2013	67
要支援2	45	2	31	1	30	1	31	1	62	2	60	2	62	2	60	2	62	2	61	2	56	2	62	2	622	21
要介護1	359	12	368	12	360	12	399	13	403	13	336	12	403	13	407	14	362	12	435	15	392	14	382	14	4606	156
要介護2	210	8	257	9	270	9	279	9	253	9	268	9	263	9	220	9	224	9	264	9	221	8	248	8	2977	105
要介護3	87	3	62	3	60	3	62	3	62	3	60	3	62	2	60	2	62	2	62	2	84	3	93	3	816	32
要介護4	150	5	111	4	90	3	93	3	93	3	120	4	124	4	120	4	124	4	124	4	140	5	131	5	1420	48
要介護5	120	5	167	5	163	6	124	6	124	5	120	5	146	6	129	5	124	4	124	4	112	4	124	4	1577	60
計	1151	41	1182	40	1153	40	1143	40	1152	40	1119	41	1246	42	1176	42	1175	40	1225	41	1145	41	1164	40	14031	489
全体	1420	95	1461	94.3	1423	95	1416	91	1405	91	1389	93	1477	95	1414	94	1420	92	1465	95	1397	99.8	1472	95	17159	94.02%
28年度	1177	40	1237	40	1188	40	1205	40	1148	40	1079	40	1080	38	966	37	1097	39	1195	39	1148	41	1267	41	13787	475



## 2-3. 入退所状況

ケアハウスすくも  
平成30年3月31日

	月	入所			退所			月末在籍者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成 29 年	4月			0		1	1	11	38	49
	5月			0			0	11	38	49
	6月			0			0	11	38	49
	7月			0		1	1	11	37	48
	8月	1	1	2			0	12	38	50
	9月			0		1	1	12	37	49
	10月	1		1			0	13	36	49
	11月		1	1	1	1	2	12	36	48
	12月	1	1	2			0	13	37	50
30 年	1月	1		1		1	1	14	36	50
	2月			0			0	14	36	50
	3月			0			0	14	36	50
	合計	4	3	7	1	5	6	148	443	591

2-4. 利用者の在籍状況及び理由別入退所者数入退所状況

	毎月初日 現在在籍 者数	入 所					計	退 所					計	毎月月末 現在在籍 者数	
		在宅	医療機関	社会福祉 施設	介護老人 保健施設	その他		死亡	長期入院	社会福祉 施設	介護老人 保健施設	在宅			その他
4月	50						0		女1					1	49
5月	49						0							0	49
6月	49						0							0	49
7月	49						0	女1						1	48
8月	50	男1				女1	2							0	50
9月	50						0	女1						1	49
10月	49	男1					1			女1				1	49
11月	48					女1	1			男1			女1	2	48
12月	45	男1・女1					2							0	50
1月	50					男1	0	女1						1	50
2月	50						1							0	50
3月	50						0							0	50
計	589						7							7	591

## 2-5. ケアハウスすくも行事報告

月	日	行事名	実施状況	参加人数
H29	4	2 花見	三原方面	19名
		3 一般買い物	フジグラン四万十	5名
		9 ヨガ教室	地域交流スペース	19名
		12 散歩		20名
		16 風船バレー(レク)	地域交流スペース	18名
		17 居酒屋	日常動作室	19名
		18 四万十市議会議員補人送不在者投票	日常動作室	3名
		23 特定買い物	宿毛フジ	7名
		26 生け花サークル	日常動作室	13名
		27 特別食	食堂	3名
		30 花まるカフェ	食堂	19名
		5		2 一般買い物
7 散歩				15名
10 集団体操、脳トレ	地域交流スペース			26名
12 岡添稲子さん100歳祝い	居室			
14 ヨガ教室	地域交流スペース			17名
21 特定買い物	宿毛フジ			8名
24 生け花サークル	日常動作室			11名
28 ドライブ	威陽島			21名
30 特別食	食堂			2名
31 花まるカフェ	食堂			17名
6				4 ヨガ教室
		5 一般買い物	フジグラン四万十	6名
		7 花まるカフェ	食堂	15名
		18 中村交響楽団コンサート	地域交流スペース	33名
		21 カラオケ大会	食堂	29名
		22 特別食	食堂	3名
		23 居酒屋	日常動作室	18名
		25 特定買い物	宿毛フジ	4名
		28 生け花サークル	日常動作室	10名
		29 ファッションライフスワン訪問販売	地域交流スペース	21名
7		2 ヨガ教室	地域交流スペース	13名
		3 一般買い物	フジグラン四万十	8名
		9 風船バレー(レク)	地域交流スペース	22名
		12 集団体操、脳トレ	地域交流スペース	24名
		16 特定買い物	宿毛フジ	7名
		22 やいと川納涼祭	花火・出店等	全入居者・職員対象
		26 生け花サークル	日常動作室	11名
		27 特別食	食堂	3名
		28 片島中学3年生福祉体験学習(26, 27日)		5名
		30 花まるカフェ	食堂	18名
8		2 一般買い物	フジグラン四万十	6名
		3 ボーリング・輪投げ(レク)	地域交流スペース	14名
		6 ダーツ・玉ころがし(レク)	地域交流スペース	20名
		13 風船バレー(レク)	地域交流スペース	17名
		14 熊井善之氏ピアノ演奏会	地域交流スペース	31名
		19 岡本享子氏ピアノ演奏会	地域交流スペース	29名
		20 特定買い物	宿毛フジ	5名
		23 生け花サークル	日常動作室	11名
		24 居酒屋	日常動作室	26名
		26 懇談会	地域交流スペース	31名
		27 花まるカフェ	食堂	20名
31 特別食	食堂	3名		
9		1 一般買い物	フジグラン四万十	5名
		3 ヨガ教室	地域交流スペース	22名
		10 風船バレー(レク)	地域交流スペース	22名
		13 集団体操、脳トレ	地域交流スペース	20名
		18 敬老会	地域交流スペース	40名
		20 花まるカフェ	食堂	18名
		24 特定買い物	宿毛フジ	9名
27 生け花サークル	日常動作室	10名		

月	日	行事名	実施状況	参加人数
10	1	ヨガ教室	地域交流スペース	21名
	3	一般買い物	フジグラン四万十	6名
	15	運動会	地域交流スペース	37名
	18	花まるカフェ	食堂	17名
	24	特別食	食堂	2名
	25	生け花サークル	日常動作室	9名
	29	特定買い物	台風のため中止	
30	居酒屋	日常動作室	15名	
11	3	一般買い物	フジ宿毛	6名
	5	バスハイク(コスモス)	大月	23名
	7	吉田光秋氏、歌のボランティア	地域交流スペース	32名
	12	ヨガ教室	地域交流スペース	16名
	15	生け花サークル	日常動作室	10名
	19	特定買い物	フジ宿毛	5名
	22	集団体操、脳トレ	地域交流スペース	14名
23	特別食	食堂	7名	
25	若葉会 踊り	地域交流スペース	31名	
12	3	ヨガ教室	地域交流スペース	22名
	5	一般買い物	フジグラン四万十	6名
	10	花まるカフェ	食堂	15名
	17	特定買い物	フジ宿毛	6名
	19	クリスマス会、宿毛幼稚園訪問	地域交流スペース	35名
	20	生け花サークル	日常動作室	10名
	24	カラオケ	食堂	17名
27	体操	食堂	17名	
28	もちつき	地域交流スペース	16名	
H30	3	初詣	延光寺	20名
	4	一般買い物	フジ宿毛	5名
	6	大原 シズエさん 100歳のお祝い		
	17	体操	食堂	14名
	21	特定買い物	フジ宿毛	5名
	22	特別食	食堂	8名
	28	花まるカフェ	食堂	23名
31	体操	食堂	20名	
2	2	一般買い物	フジ宿毛	5名
	4	節分、豆まき	地域交流スペース	12名
	7	体操	食堂	20名
	11	風船バレー(レク)	地域交流スペース	21名
	14	体操	食堂	15名
	18	特定買い物	フジ宿毛	5名
	21	生け花サークル	日常動作室	11名
22	特別食	食堂	5名	
25	居酒屋	日常動作室	18名	
25	花まるカフェ	食堂	16名	
3	2	一般買い物	フジ宿毛	4名
	4	ドライブ	梅ノ木公園	19名
	11	体操	食堂	14名
	14	集団体操、脳トレ	地域交流スペース	30名
	18	特定買い物	フジ宿毛	4名
	21	生け花サークル	日常動作室	11名
	25	お花見	三原	32名
28	散歩		19名	
29	特別食	食堂	5名	

## 2-6. 入居前の住所地区分

ケアハウスすくも  
平成30年3月31日現在

		男	女	計	比率 (%)
県内	宿毛市	10人	26人	36人	72%
	四万十市	2人	3人	5人	10%
	大月町	0人	1人	1人	2%
	土佐清水市	0人	1人	1人	2%
	三原村	1人	3人	4人	8%
計		13人	34人	47人	94%
県外	愛媛県	0人	1人	1人	2%
	神奈川県	1人	1人	2人	4%
計		1人	2人	3人	6%
合計		14人	36人	50人	100%

## 2-7. 入居前の状況区分

平成30年3月31日

自宅	アパート(借家)	親類・知人宅	施設	病院	計
21人	2人	2人	20人	5人	50人

## 2-8. 月別階層区分表

平成29年度 (1日付)

ケアハウスすくも

事務費認定変更月 (さかのぼらない)

	年収区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率 (%)
1	1,500,000円 以下	一般	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	25	4.2%
		特定	33	32	32	32	31	32	33	33	31	31	31	31	31	382
2	1,500,001円～ 1,600,000円	一般	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	2	16	2.6%
		特定	1	1	1				1	1	1	1	1		8	2.5%
3	1,600,001円～ 1,700,000円	一般														
		特定	7	7	7	8	8	8	8	7	9	9	9	9	96	16.1%
4	1,700,001円～ 1,800,000円	一般								1	1	1	1	1	5	0.8%
5	1,800,001円～ 1,900,000円	一般	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	4.0%
6	1,900,001円～ 2,000,000円	一般	1	1	1										3	0.5%
7	2,000,001円～ 2,100,000円	一般														
8	2,100,001円～ 2,200,000円	一般														
9	2,200,001円～ 2,300,000円	一般	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	2.0%
10	2,300,001円～ 2,400,000円	一般														
11	2,400,001円 以上	一般	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	22	4.7%
		合計	50	49	49	49	48	50	50	49	49	50	50	50	593	100%

## 2-9. 地域交流スペース等利用状況

ケアハウスすくも

	地域交流スペース			大浴場	ゲストルーム	
	月	回数	利用人員		実人員	延べ人員
平成 29 年	4月	10	104	0	0	0
	5月	11	118	0	6	6
	6月	9	180	0	0	0
	7月	10	159	0	3	3
	8月	12	192	0	5	5
	9月	9	154	0	0	0
	10月	12	188	0	0	0
	11月	12	183	0	0	0
	12月	13	203	0	0	0
平成 30 年	1月	9	84	0	5	5
	2月	8	88	0	1	1
	3月	9	93	0	0	0
計		124	1,746	0	20	20

## 3. グループホーム えやんばい

### ◆運営方針

### 平成29年度・事業計画

ご家族様、地域の皆様との交流を大切にし、趣味や嗜好、生活の歴史を活かし個性あふれる日常の暮らしのお手伝いをし、四季折々の行事を楽しみ、旬の食材に舌つづみをうつ季節感あふれる暮らし作り、医療との連携により安心して生活して頂ける環境の整備に努めます。

1. 地域の方との交流の場を作る。
  - ・ 故郷・馴染みの場所訪問が出来るよう計画し支援する。
  - ・ 納涼祭、地域の学校や幼稚園の訪問、実習生の受け入れを通して、地域の方との交流を図る。
2. 意思の尊重
  - ・ 利用者様の意向を聞き、それぞれの方に合わせた支援が出来るよう柔軟に対応してゆく。
  - ・ 職員側の都合に合わせてたり、職員側の理論でご利用者様に接する事がないようにする。
  - ・ 一人一人の残存機能、生活歴を理解し、その方に合った趣味や家事仕事等、出来る事をしてもらえるよう計画を立て支援してゆく。
3. ご家族様との連携
  - ・ 家族会や面会時、電話連絡、季刊誌を通して生活状況等の情報を共有し何でも気軽に言ってもらえるような雰囲気を作ってゆく。
  - ・ 運営推進委員会での会議録の掲示やサービス評価の結果等を送付する事で現在のグループホームの状況をお知らせする。
4. 健康管理
  - ・ バイタル測定等、日々の健康管理を行い、医師、訪問看護師、病院看護師と連携し体調不良時や緊急時の対応をする。
  - ・ 重度化への対応や看取り介護を実施し、ご利用者様、ご家族様が安心して生活して頂けるよう支援する。
5. 災害への備え  
災害時、迅速に対応出来るよう、近隣施設、地域の方と連携を図りながらマニュアルを基に定期的に訓練の実施をする。防災自主点検シートにより毎月点検を行う。
6. 季節を感じてもらえる食事の提供  
四季折々の行事食や旬の食材を使った料理の提供を行う。

### <評価>

1. 故郷訪問の実施があまり出来なかった。毎月入居者さんのご家族の方が演奏会をしてくれ、地域の方を沢山連れて来てくれ交流の場となり良かった。
2. 利用者様の意向を聞きそれぞれの方に合わせた支援に努めたが、言葉がけが敬語ではない時があった。
3. 家族会や面会時、季刊誌等で情報を伝える事は出来たが、ご家族の方よりの要望や苦情を聞く努力が足りなかった。
4. 健康管理面では、体調不良により入院するケースが多かったり、ターミナルの方が亡くなられたりと医療との連携や緊急時の対応が出来た。
5. 災害対策では、台風により浸水したが迅速な対応が出来た。マニュアルの改定も行ない訓練も定期的に行った。
6. 季節感のある食事の提供や行事食も工夫を凝らして提供でき利用者さんも喜ばれていた。



### 3-2. 入退居状況

グループホームえやんばい

(平成29年度)

	月	入居			退居			月末在籍者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成29年	4月	0	0	0	0	0	0	2	16	18
	5月	0	0	0	0	0	0	2	16	18
	6月	0	0	0	0	0	0	2	16	18
	7月	0	1	1	0	1	1	2	16	18
	8月	0	0	0	0	0	0	2	16	18
	9月	0	0	0	0	1	1	2	15	17
	10月	1	1	2	0	1	1	3	15	18
	11月	0	1	1	0	1	1	3	15	18
	12月	0	0	0	0	0	0	3	15	18
平成30年	1月	0	1	1	0	1	1	3	15	18
	2月	0	0	0	0	0	0	3	15	18
	3月	0	0	0	1	0	1	2	15	17
	合計	1	4	5	1	5	6	29	185	214

### 3-3. 退居者数の状況

年月	退居者	性別	退居理由	保険者
平成29年7月	T・T	女性	長期入院の為	宿毛市
平成29年9月	A・K	女性	死亡	宿毛市
平成29年10月	T・M	女性	入院の為 回復の見込みなし	宿毛市
平成29年11月	K・Y	女性	ケアハウス入居	宿毛市
平成30年1月	T・T	女性	豊寿園入居	宿毛市
平成30年3月	T・S	男性	死亡	宿毛市

### 3-4. 月別要介護度

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
平成29年	4月	3	2	4	6	3
	5月	3	2	4	5	4
	6月	3	2	4	5	4
	7月	3	2	4	5	4
	8月	3	2	4	5	4
	9月	3	2	3	5	4
	10月	3	5	2	7	3
	11月	3	5	1	7	3
	12月	2	5	1	6	4
平成30年	1月	2	4	2	6	5
	2月	2	4	2	5	5
	3月	2	3	3	5	5

### 3-5. グループホームえやんばい行事報告

(平成29年度)

月	日	行 事	実 施 状 況
4	5	演奏会	ご家族の方とのお仲間
	25	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ
5	5	演奏会	ご家族の方とのお仲間
	8	訪問散髪	
	9	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ
	13	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ
	19	幡多看護専門学校実習生受け入れ	
	11	家族会	
6	16	幡多看護専門学校実習生受け入れ	
	17	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ
	23	防災訓練	日中大地震想定
	22	やいとがわ納涼祭	
	25	演奏会	ご家族の方とのお仲間
	26~27	片島中学校福祉体験学習	
8	14	熊井善之氏ピアノ演奏会	ケアハウス
	22	演奏会	ご家族の方とのお仲間
	25	幡多看護専門学校実習生受け入れ	
	26	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ
	30	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ
9	5	訪問散髪	
	15	演奏会	ご家族の方とのお仲間
	18	敬老会	地域の有志の方により
	20	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ
10	2	火災・地震避難訓練	日中想定
	6	宿毛市実地調査	
	18	演奏会	ご家族の方とのお仲間
	18~20	宿毛高校職場体験	
	20	幡多看護専門学校実習生受け入れ	
	27	外部評価(第三者評価)	
11	1~2	宿毛中学校福祉体験受け入れ	
	2	訪問散髪	
	7	吉田光秋さんコンサート	ケアハウス
12	13	演奏会	ご家族の方とのお仲間
	14	演奏会	ご家族の方とのお仲間
	15	忘年会	えやんばい
	19	宿毛幼稚園訪問	ケアハウス
	20	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ
	21	訪問散髪	
	22	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ
	28	餅つき	ケアハウス

月	日	行 事	実 施 状 況	
平成30年				
1	15	四万十看護学院実習生受け入れ		
	16	四万十看護学院実習生受け入れ		
	17	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ	
	18	四万十看護学院実習生受け入れ		
	19	四万十看護学院実習生受け入れ		
	22	四万十看護学院実習生受け入れ		
	23	四万十看護学院実習生受け入れ		
	25	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ	
	2	3	節分(豆まき)	
		4	カラオケ	
5		四万十看護学院実習生受け入れ		
8		四万十看護学院実習生受け入れ		
9		四万十看護学院実習生受け入れ		
15		四万十看護学院実習生受け入れ		
27		火災、地震避難訓練		
3		3	訪問散髪	
		ひな祭り		
	9	演奏会	ご家族の方とのお仲間	
	21	誕生日会	昼食ご馳走とケーキ	
	28	花見		

※各自の誕生日当日にお祝いする。

※週1回、レクリエーションの日を決めており、おやつ作り、散歩、手芸、ゲーム等を楽しんでいる。

※一人一人の希望を聞き、随時、買い物や散歩等行っている。

※故郷、馴染みの場所訪問を実施しており、自宅や懐かしい場所に行けるよう支援している。

※毎月グループホーム内研修、認知症の勉強会を行っている。

## 4. グループホーム ほうばい

### ◆運営方針

### 平成29年度・事業計画

地域の皆様に、地域密着型サービス事業所「ほうばい」を知っていただくために、施設を開放し、気軽に立ち寄っていただけるよう努め、利用者の方々が、なじみの人・なじみの場所を近くに感じながら、ゆったりと安心して満足できる一日が過ごせるよう努める。

また、医療との連携を密にし、個々の健康管理に努め 利用者・ご家族の思いに添えるよう支援する。

### (サービス目標)

- ① 入居者、ご家族、職員のコミュニケーションを密に取り、信頼関係を深める。  
担当職員の毎月の利用状況報告にて要望把握に努める。
- ② 地域の催し・行事に全員参加できるよう努め、地域や人々との関わりを継続する。  
医療との連携を密にし体調管理し外出機会を増やす。
- ③ 年間を通したレクリエーションを計画し、生きがいのある生活支援をする。  
機能回復に向けたレクリエーションの計画に努める。
- ④ 災害時に迅速な対応が出来るよう、定期的に訓練を実施する。
- ⑤ 新規利用、予約の為に地域との密なつながりを持つ。
- ⑥ 施設内外の会議・研修会に参加し、スキルアップに努める。

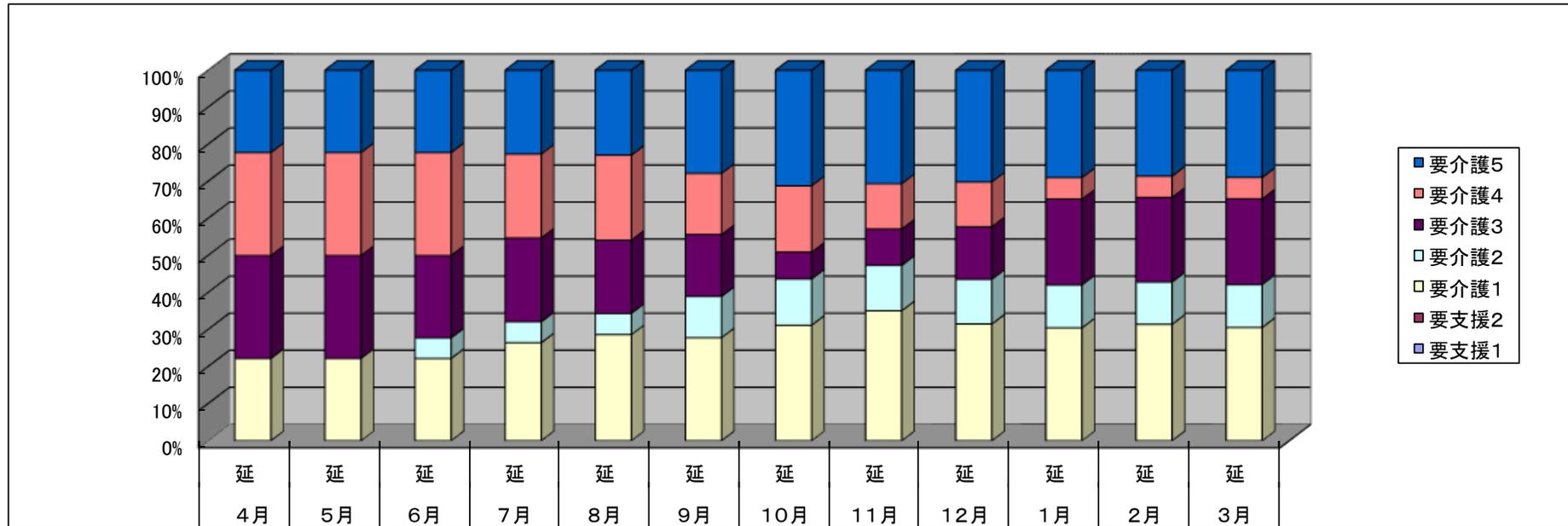
### <評価>

- ① 毎月、担当者が手紙・写真で利用者様の状況を報告できている。  
家族様に文章だけでなく、写真で表情も知る事ができ安心できると好評価を受ける。
- ② 地域の行事には、多く参加する事ができた。利用者の体調ににより時間の調節を行った。  
外出により、感染症を引き起こした為、厳重な対策が必要と考える。
- ③ レクリエーションの計画（家庭菜園等）が、環境が整わず（工事あり）出来なかった。  
四季を通じた村の行事に参加し、季節感を体感できた。
- ④ 地域の消防と協力し、訓練を実施できた。
- ⑤ 開設より10年が経ち、徐々に地域に浸透し、新規利用者・予約者が増えている。
- ⑥ 意欲的に外部研修に参加することが出来なかった。職員数の充実を図りたい。

#### 4-1. GHほうばい実績表(平成29年度)

単位:人

18床	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実		
要支援1																										0	0	
要支援2																											0	0
要介護1	120	4	124	4	120	4	145	5	155	5	150	5	155	5	172	6	162	5	163	5	154	6	164	6	1784	60		
要介護2	0	0	0	0	30	1	31	1	31	1	60	2	62	2	60	2	62	2	62	2	56	2	62	2	516	17		
要介護3	150	5	155	5	120	4	124	4	107	4	90	3	36	1	48	2	73	3	124	4	112	4	124	4	1263	43		
要介護4	150	5	155	5	150	5	124	4	124	4	89	3	89	2	60	2	62	2	31	1	28	1	31	1	1093	35		
要介護5	120	4	124	4	120	4	124	4	124	4	150	5	155	5	150	5	155	5	155	5	140	5	155	5	1672	55		
計	540	18	558	18	540	18	548	18	541	18	539	18	497	15	490	17	514	17	535	17	490	18	536	18	6328	210		
入所率	100		100		100		98.2		97		99.8		89.1		90.1		92.1		95.9		97.2		96.1		96.32%			
28年度	510	94	527	94	510	94	558	100	550	99	499	92	533	96	521	97	527	94	526	94	462	92	532	95	6255	95		



4-2. 入退居状況（平成29年度） グループホームほうばい

	月	入 居			退 居			月末在籍者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成 29 年	4月	0	0	0	0	0	0	3	15	18
	5月	0	0	0	0	0	0	3	15	18
	6月	0	0	0	0	1	1	3	15	18
	7月	0	1	1	0	0	0	3	15	18
	8月	0	0	0	0	0	0	3	15	18
	9月	0	0	0	0	0	0	3	15	18
	10月	0	0	0	1	1	2	3	15	18
	11月	0	2	2	0	0	0	2	16	18
	12月	0	0	0	0	1	1	2	16	18
平 30 年	1月	1	0	1	0	0	0	3	15	18
	2月	0	0	0	0	0	0	3	15	18
	3月	0	0	0	0	0	0	3	15	18
合計		1	3	4	1	3	4	34	182	216

4-3. 退居者の状況

年月	退居者	性 別	退居理由	保険者
29. 6. 30	N・K	女	その他の医療機関	三原村
29. 10. 27	O・M	女	協力病院入院	三原村
29. 10. 27	T・Y	男	協力病院入院	三原村
29. 12. 22	E・S	女	協力病院入院	三原村

4-4. 月別要介護度

		要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
平成 29 年	4月	0	4	0	5	5	4	18
	5月	0	4	0	5	5	4	18
	6月	0	4	1	4	5	4	18
	7月	0	5	1	4	4	4	18
	8月	0	5	1	4	4	4	18
	9月	0	5	2	3	3	5	18
	10月	0	5	2	2	4	5	18
	11月	0	6	2	3	2	5	18
	12月	0	6	2	3	2	5	18
平 30 年	1月	0	6	2	3	2	5	18
	2月	0	6	2	4	1	5	18
	3月	0	6	2	4	1	5	18
合計		0	62	17	44	38	55	216

4-5. 平成29年度グループホームほうばい行事報告

月	日	行 事	実 施 状 況
4	6 7 9 10 13 17 20 21 22 24 28 30	マッサージ レク(塗り絵) 散歩 村内ドライブ 花見<花見弁当> ふるさと訪問(自宅) マッサージ レク(外気浴・ウッドデッキ) 外出(自宅・散髪) 訪問散髪 通院介助 外出 ふるさと訪問(自宅)	ほうばい裏庭       13名
5	4 10 11 13 14 16 17 19 24 25 26 27 28	マッサージ DVD観賞(美空ひばり) マッサージ レク(新聞折) 母の日(どぶろく饅頭・抹茶オレ) 外出 レク(基ならべ) 誕生会 レク(調理) レク(体操) マッサージ レク(ゲーム) 体操 外出(散髪)	○様.99歳            村内
6	1 4 8 16 17 18 19 21 22 23 24 28 29 30	マッサージ・ドライブ のど自慢観賞 ユニット合同食事会 外泊(自宅) 外出(散髪) 散歩(五社神社) 父の日(ノンアルビール) レク(七夕短冊書き) 外出(美容院) マッサージ 訪問散髪 地震避難訓練 七夕・壁面飾り(紫陽花) レク(体操) 外出(自宅・法要) マッサージ スワソ衣料販売 レク(体操)	平田          13名 全員  7名
7	2 3 6 7 9 13 16 17 20 22 25 27 29	(施設見学) 七夕飾り付け マッサージ 七夕(歌・水羊羹) 歌番組鑑賞 マッサージ 外出(自宅・法要) テレビスポーツ観戦 レク(体操) ドライブ・買い物 やいとがわ納涼祭 7月誕生会 マッサージ レク(体操) 外出(散髪)	21時         村内 3名 N様・89歳

月	日	行 事	実 施 状 況	
8	4	ふるさと訪問	自宅	
	7	レク (体操・ゲーム)		
	8	テレビ高校野球観戦		
	10	マッサージ		
	11	よさこいテレビ観賞		
	12	レク (体操)		
	14	外出 (自宅・法要)		
	15	みはら祭り		10名 宮ノ川
	16	外出(美容院)		
	17	8月誕生会 マッサージ		
	20	歌番組鑑賞		
	22	外出 (美容院)		
	24	マッサージ レク (体操)		
	29	レク (ペーパーフラワー)		
	30	誕生会 レク (体操)	H様 89歳	
9	3	歌番組鑑賞	宿毛	
	4	外出 (自宅)		
	6	レク (体操) 外出		
	7	〃		
	9	外出 (散髪)		
	10	老人芸能大会		三原村農講センター
	11	訪問散髪		14名
	12	レク(体操・草津節)		
	13	大相撲テレビ観戦		
	14	マッサージ		
	15	外出		
	16	敬老会 (歌・舞踊) 大正琴披露		全員参加+ご家族
	18・19	外出		宿毛
	21	マッサージ		
	24	レク(体操)		
	25	白寿祝い(O様)	三原村	
	29	ふるさと訪問(墓参り)		
10	1	歌番組鑑賞 衣替え	全員+地域の人 じまんや	
	5	マッサージ		
	6	防災訓練		
	11	買い物		
	12・13	レク(体操)		
	17	三原中学生福祉体験・レク (体操)		
	19	マッサージ		
	21	買い物		四万十市
	23・25	レク (体操・歌)		
	26	マッサージ		
	28	レク(かるた取り)		
	29	テレビ観賞 (競馬)		
11	2	マッサージ	5名	
	3	どぶろく祭り		
	4・5	レク (合同体操)		
	6	〃 スワン衣料販売		
	9	マッサージ		
	11	外出 (自宅) レク (合同体操)		
	13	〃 (空き家対策)		
	15・16	〃		
	17	誕生会 買い物		
	18	レク (歌)		
	19	レク (クリスマスツリー飾り付け)		両ユニット
	20	インフルエンザ予防接種		
	28	DVD観賞(美空ひばり・五木ひろし)		
	29	レク (体操)		
	30	マッサージ		

月	日	行 事	実 施 状 況
12	2	レク（花植え） 散歩（生姜貯蔵庫）	14名  全員16+家族13+職員10
	3	レク（干し柿作り）	
	4	誕生会	
	6	訪問散髪	
	7	マッサージ	
13・14		三原村長選挙・期日前投票	
	14	マッサージ	
	15	誕生会	
	16	三原村長選挙・期日前投票 外出（自宅）	
	17	家族会・忘年会	
	20	外出（美容院）	
	23	レク（体操）	
	25	クリスマス会	
	26	門松づくり	
	28	マッサージ	
1	1	施設長年始挨拶 初詣（五社神社）	5名
	2・3	外出	
	4	マッサージ	
	6	年賀状の返事を書く	
	7	七草粥 外出	
	8	レク（体操・炭鉱節）	
	9	ドライブ（郵便局）	
	11	鏡開き	
	14	レク（体操・炭鉱節） 総社祭り・餅拾い	
	16	外出	
	29	1月誕生会	
	30	レク（体操・歌）	
2	1	マッサージ	N様95歳・O様92歳 M様 S様 K様 M様88歳・S様90歳
	3	節分・豆まき	
	8	レク（雛人形飾りつけ）	
	15	マッサージ	
	16	2月誕生会（月ユニット）	
	17	オリンピック観戦	
	18	ふるさと訪問（自宅泊）	
	22	マッサージ	
	23	ふるさと訪問（自宅泊）	
	24	ふるさと訪問（自宅泊）	
	25	レク（体操）	
	26	防災訓練（夜間想定）	
		2月誕生会（花ユニット）	
	28	幡多保険事務所・訪問調査	
3	2	訪問散髪	15名 0様 92歳  梅ノ木公園・五社神社・裏庭 皆尾 五社神社
	3	ひなまつり 誕生会	
	7	レク（体操）	
	10	外泊（自宅）	
	11	歌番組鑑賞	
	12	ふるさと訪問（自宅）	
	13	レク（体操・歌）	
	15	マッサージ	
	23	マッサージ	
	25	ふるさと訪問（自宅）	
	26	ドライブ・花見	
	27	ドライブ・花見	
	28	散歩・花見	
	29	マッサージ	
	31	歯科往診	

※ 利用者の誕生日に合わせて誕生会

※ 散歩・ラジオ体操・その他レクリエーション  
（その日の入居者の状態、天候に合わせて行っている。）

## 5. デイサービスセンター つどいの家

### ◆運営方針

### 平成 29 年度・事業計画

利用者の外出と社会的交流により、孤独感の解消に努め、機能訓練・日常生活動作による心身機能の維持向上を図ります。

### <サービス目標及び実現方法>

- ① 利用者の外出と社会交流により、在宅生活を充実できるような、楽しみなデイ利用にしていき、孤独感の解消に努める。
- ② 楽しく触れ合える場所として、明るく何でも言いやすい雰囲気作りに努め、利用者がくつろげる居場所が確保できるよう、細やかなケアを心掛ける。
- ③ 家族介護者の身体的精神的介護負担の軽減を図る。
- ④ 利用者の情報・状態を全スタッフが共有し、ニーズに応じたサービスを提供する。
- ⑤ 苦情には、必要に応じて関係各機関と連携を図り、迅速で誠意ある対応に努める。
- ⑥ 施設内外の研修に積極的に参加し、介護技術の向上、介護保険制度の熟知に努める。

### ◆経営目標

- ① 月平均利用者数 650 人を目指し、実人員 85 人を確保する。
- ② 新規利用者年間 30 名以上の確保を目指す。
- ③ 1 週間の利用者 150 人を確保する。1 日平均 25.2 人

### <実現方法>

- ・内外のケアマネージャーに、新規利用者の紹介をして頂けるように情報・状況を提供し、新規利用者の獲得を柔軟に受け入れるような施設状況にしていく。
- ・デイ利用者が以前同様に、ショートステイと併用しながらの利用者が増えることで、状況の変化また戸惑いのある利用者が増えることを見越し、ショート職員との連携を密にし、利用者の不安の解消に努めていく。
- ・レクリエーション委員会を月 1 回開催し、利用者のニーズに応じたレクを提供すると共に余暇活動も充実させる。
- ・月一回第一火曜日に職員会を開き、業務改善点など細かく職員間で十分に話し合いを持ち、同じレベルの介護が提供できるようにする。
- ・新規利用者・状態変化、介護者本人の要望等あればカンファレンスを開き、周知徹底する。
- ・パンフレットを作成し広報活動を行う事で、地域のニーズを知ると共に、デイサービスを知って頂き利用者の確保に繋げる。

### <評価>

#### ■サービス目標

- ・落ち着いたあるデイサービスでの利用となり、皆さんが、各々で楽しめる明るい場所となった。
- ・利用者情報は、業務検討会議にて周知徹底し、今まで以上に現場で活かすよう努めて来た。細やかな個別ケアが日常的に出来るよう更に検討していく必要がある。
- ・利用者や家族の相談や訴えは、職員間で早急に話し合い迅速な誠意ある対応ができた。
- ・在宅生活を維持して頂く為に本人はもとより、ご家族のニーズに応じて、相談や助言することで、利用者・また家

族介護者の負担軽減に繋げることができた。

- ・特に施設内の研修に参加させて頂き自己研鑽に努め情報を共有することができた。

## ■経営目標

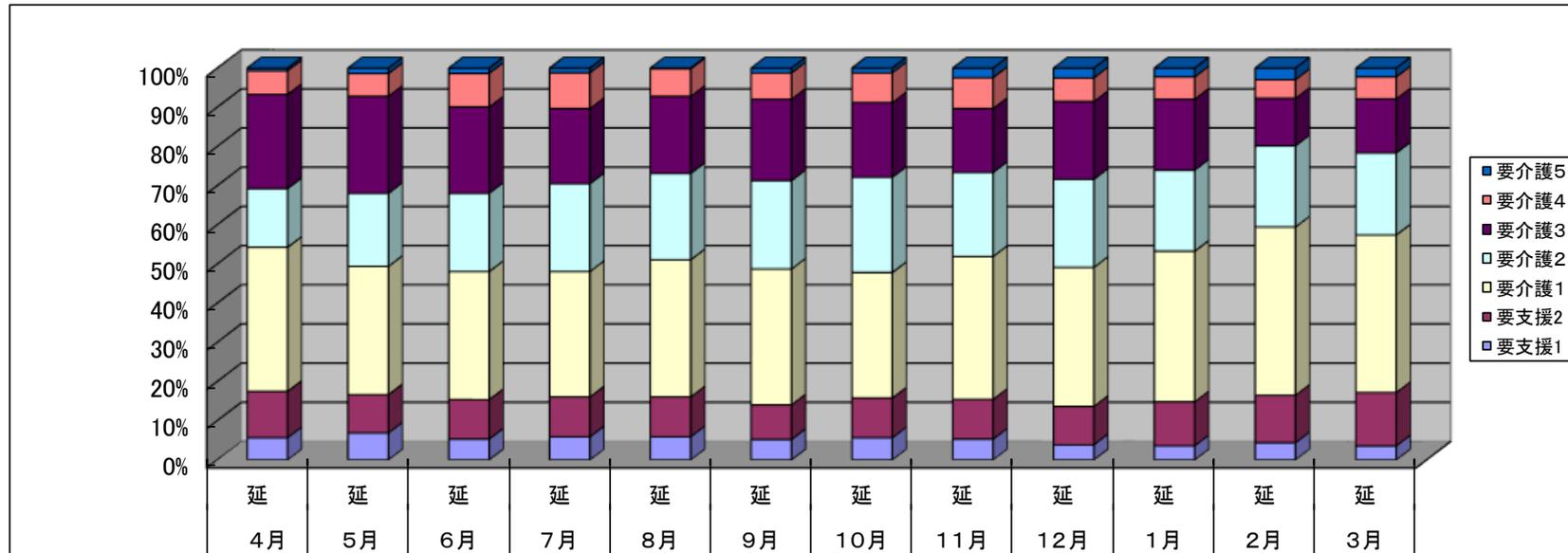
- ・ 29年度 月平均利用人数 629 名  
実績 一日平均利用人数 24.4名  
実人数 月 83.6名

- ・ 実人数は昨年より増加し、新規の利用者も増えていた。
- ・ 月平均の利用者は昨年より少し下がりましたが、ほぼ昨年同様の利用者数であった。
- ・ 年度初めは、一日利用 23 名でしたが、6 月以降 26 名になり、11 月以降の利用者数が昨年より減少したが一年をトータルして平均利用者数は横ばいであった。
- ・ 送迎車両 7 台での運行及び柔軟な受け入れ態勢をとることで幅広い利用地区の利用者を獲得に繋げた。又利用者及び家族の要望に応えた利用設定を行いことで目標実績に近づけることができた。
- ・ 新規利用者の獲得に、内・外のケアマネージャーとの連携を密にして、紹介して下さる利用者は特に優先して、昨年以上の新規利用者を、増加獲得に繋げることができた。
- ・ レクリエーション委員を選出し、日々の 2 種類のレクリエーション計画を、作成し行ってきたが、バリエーションが少なく似たような形のレクになっていたように思われる。
- ・ 職員会で、業務改善点や介護者の対応を全職員が共通し個々に応じた対応が少しずつではあるが出来ている。
- ・ 地域のミニデイに参加したが、広報活動不足で新規の利用者は直接の方の利用はなかったが、課題でもあったパンフレットを作成し、より効果的な利用者の獲得に繋げていきたい。

### 5-1. デイサービス実績表(平成29年度)

単位:人

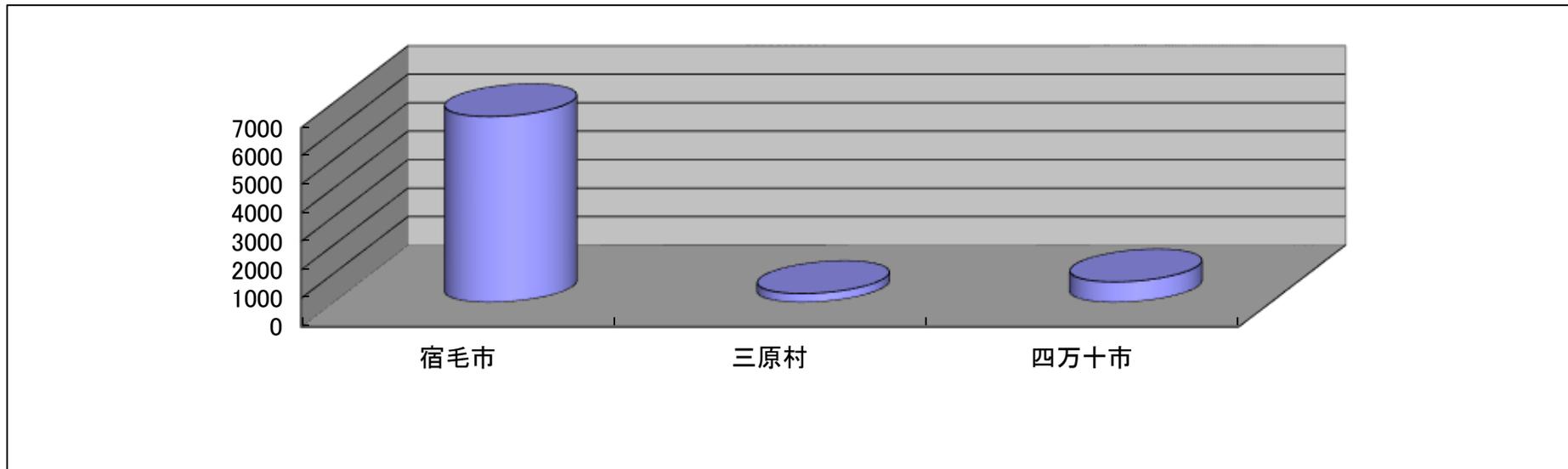
定員30名	4月 (25)		5月 (27)		6月 (26)		7月 (26)		8月 (26)		9月 (26)		10月 (26)		11月 (26)		12月 (26)		1月 (24)		2月 (24)		3月 (27)		合計(309日)	
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実
要支援1	33	9	45	10	36	9	40	10	38	9	35	9	38	9	33	8	25	6	21	6	24	6	21	5	389	96
要支援2	69	10	64	8	68	8	69	10	65	9	59	9	68	9	63	9	63	8	65	9	66	10	80	11	799	110
要介護1	214	30	214	30	221	32	217	30	224	31	232	29	215	29	226	34	229	33	223	33	234	33	236	28	2685	372
要介護2	87	15	122	17	135	18	152	20	141	20	151	19	163	20	133	17	145	18	120	14	113	15	123	18	1585	211
要介護3	140	13	162	14	149	13	130	11	126	12	139	12	128	12	101	11	128	12	105	11	66	9	81	8	1455	138
要介護4	35	6	38	6	58	5	62	6	45	6	45	6	51	6	49	8	39	6	33	5	26	5	33	6	514	71
要介護5	4	1	9	1	9	1	8	1	1	1	8	1	8	1	15	2	16	2	13	2	16	2	13	2	120	17
計	582	84	654	86	676	86	678	88	640	88	669	85	671	86	620	89	645	85	580	80	545	80	587	78	7547	1015
平均/内若数	23.3	12	24.2	14	26	13	26.1	13	24.6	12	25.7	13	25.8	13	23.8	13	24.8	13	24.2	11	22.7	2	21.7	15	24.4	144
28年度	584	75	641	79	616	75	633	83	690	84	623	82	683	84	699	88	673	84	567	84	529	80	628	83	7566	981
28年平均	22.5	13	24.7	13	24.6	13	24.3	13	25.6	14	24.9	13	26.3	13	26.9	13	24.9	13	23.6	12	22	12	23.3	14	24.5	115



## 5-2. デイ利用者市町村別実績表(29年度)

デイサービスセンター つどいの家 単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宿毛市	493	545	579	597	547	578	579	534	569	509	479	515	6524
三原村	19	22	22	20	30	28	30	30	27	26	23	29	306
四万十市	70	87	75	61	63	63	62	56	49	45	43	43	717
計	582	654	676	678	640	669	671	620	645	580	545	587	7547



## 6. 豊寿園ホームヘルパーステーション

### ◆運営方針

選ばれる事業所となるように、ご利用者・ご家族に満足して頂けるサービスを提供する。

### <サービス目標>

- ①同じレベルのサービスが提供できるように、協働を大切に情報の共有、的確な報告・連絡・相談を行う。
- ②施設内外の研修に積極的に参加し、必要な知識・技術を習得し、スキルアップを目指す。
- ③総合事業への移行がスムーズに行えるように、関係機関との連携を図り、チームケアを心がける。

### ◆経営目標

- ・介護保険 平均延 19 人/日
- ・介護予防 平均延 7.5 人/日

### <評価>

ご利用者が在宅困難で施設入所された方や、介護度の重い複数回利用の方が減り、利用者数が大幅減少となった。

- ・各担当グループで隔月、勉強会を行い知識・意識を高めた。今年度も継続していく。
- ・ご利用者の情報の共有・報告・連絡を心掛け、在宅生活を継続していけるようにサービス支援に努めた。
- ・包括、居宅、関連機関との連携を密にとるよう努めた。

介護保険 平均 13.4 人/日  
総合予防 平均 5.4 人/日

## 6-1. 訪問介護事業型別実績表(H29年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
身体介護型	回数	175	206	194	227	226	168	134	164	112	105	83	91	1885
	時間	131 時間 0 分	150 時間 0 分	139 時間 0 分	156 時間 30 分	157 時間 30 分	105 時間 0 分	79 時間 0 分	93 時間 0 分	65 時間 30 分	62 時間 0 分	49 時間 30 分	60 時間 30 分	1248 時間 30 分
	前年時間	172 時間 30 分	178 時間 0 分	151 時間 0 分	171 時間 0 分	183 時間 30 分	151 時間 30 分	136 時間 30 分	138 時間 30 分	130 時間 0 分	123 時間 30 分	84 時間 30 分	129 時間 0 分	1749 時間 30 分
生活援助型	回数	168	173	173	164	166	161	197	187	156	150	129	102	1926
	時間	125 時間 0 分	131 時間 0 分	131 時間 0 分	123 時間 0 分	131 時間 0 分	127 時間 30 分	161 時間 30 分	154 時間 30 分	133 時間 0 分	125 時間 0 分	103 時間 30 分	88 時間 30 分	1534 時間 30 分
	前年時間	161 時間 0 分	97 時間 30 分	160 時間 0 分	152 時間 30 分	145 時間 0 分	144 時間 30 分	141 時間 30 分	145 時間 0 分	154 時間 30 分	142 時間 30 分	126 時間 30 分	145 時間 30 分	1716 時間 0 分
身体生活型	回数	121	124	118	123	116	131	105	102	68	43	41	23	1115
	時間	120 時間 0 分	122 時間 30 分	116 時間 30 分	121 時間 30 分	115 時間 0 分	130 時間 0 分	103 時間 30 分	100 時間 30 分	68 時間 0 分	44 時間 0 分	45 時間 0 分	27 時間 0 分	1113 時間 30 分
	前年時間	97 時間 0 分	138 時間 0 分	104 時間 0 分	114 時間 0 分	108 時間 0 分	111 時間 0 分	119 時間 30 分	135 時間 30 分	125 時間 30 分	123 時間 0 分	112 時間 0 分	125 時間 30 分	1413 時間 0 分
週1回型	回数	30	24	34	38	32	34	30	28	25	16	15	14	320
	時間	29 時間 30 分	22 時間 0 分	32 時間 30 分	36 時間 0 分	32 時間 0 分	33 時間 0 分	29 時間 0 分	27 時間 0 分	24 時間 0 分	15 時間 0 分	14 時間 0 分	13 時間 0 分	307 時間 0 分
	前年時間	38 時間 30 分	27 時間 30 分	35 時間 0 分	34 時間 0 分	32 時間 30 分	29 時間 30 分	28 時間 0 分	25 時間 0 分	21 時間 0 分	19 時間 0 分	28 時間 0 分	31 時間 0 分	349 時間 0 分
週2回型	回数	139	153	148	150	156	137	130	129	138	105	124	145	1654
	時間	137 時間 0 分	153 時間 0 分	146 時間 0 分	150 時間 0 分	152 時間 30 分	135 時間 30 分	128 時間 0 分	127 時間 0 分	137 時間 0 分	103 時間 30 分	123 時間 30 分	144 時間 30 分	1637 時間 30 分
	前年時間	170 時間 30 分	181 時間 0 分	167 時間 0 分	166 時間 0 分	157 時間 30 分	138 時間 0 分	141 時間 0 分	152 時間 30 分	162 時間 30 分	167 時間 30 分	119 時間 0 分	153 時間 0 分	1875 時間 30 分
実績合計	回	633	680	667	702	696	631	596	610	499	419	392	375	6900
	時	542 時間 30 分	578 時間 30 分	565 時間 0 分	587 時間 0 分	588 時間 0 分	531 時間 0 分	501 時間 0 分	502 時間 0 分	427 時間 30 分	349 時間 30 分	335 時間 30 分	333 時間 30 分	5841 時間 0 分
	前年	639 時間 30 分	622 時間 0 分	617 時間 0 分	637 時間 30 分	626 時間 30 分	574 時間 30 分	566 時間 30 分	596 時間 30 分	593 時間 30 分	575 時間 30 分	470 時間 0 分	584 時間 0 分	7103 時間 0 分

## 6-2. 訪問介護事業利用者内訳表(平成29年度)

豊寿園ホームヘルパーステーション

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
(総)支1	人数	71	76	84	88	81	78	72	74	68	62	68	68	890
	単位	21,016	21,016	21,016	21,016	22,384	19,849	17,514	21,249	19,849	18,681	19,848	17,513	240,951
	前年	4,670	7,005	9,341	11,676	14,011	15,178	16,553	22,183	22,183	24,518	21,016	21,016	189,350
(総)支2	人数	98	101	98	100	107	93	88	83	95	54	71	91	1,079
	単位	29,030	27,863	30,398	31,566	30,198	29,030	27,862	22,958	22,092	17,046	22,021	26,489	316,553
	前年	6,039	10,911	16,950	16,950	16,950	16,950	15,479	23,391	22,990	23,978	25,326	29,230	225,144
要支援1	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年	5,839	5,839	4,671	4,671	3,503	3,503	3,503	1,168	2,335	0	0	0	35,032
要支援2	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単位	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年	42,839	36,799	26,090	22,587	21,420	13,046	10,710	7,006	5,838	3,133	0	0	189,468
要介護1	人数	115	95	76	82	108	92	68	66	78	87	86	78	1,031
	単位	29,413	26,444	21,263	22,962	29,789	24,661	18,493	17,796	20,005	21,500	21,019	21,788	275,133
	前年	48,059	51,918	34,892	48,447	46,880	47,492	43,240	49,036	48,543	47,700	27,721	36,836	530,764
要介護2	人数	104	142	153	150	131	98	121	96	88	85	77	71	1,316
	単位	31,500	40,111	41,551	41,125	37,104	24,859	27,518	22,032	19,977	19,408	17,385	16,804	339,374
	前年	60,940	51,197	65,824	67,516	63,646	31,862	31,061	34,012	30,535	26,968	26,071	41,196	530,828
要介護3	人数	189	206	197	204	197	190	168	170	65	58	38	43	1,725
	単位	49,249	53,553	51,080	53,001	51,094	49,494	42,346	42,604	24,753	14,336	9,310	10,535	451,355
	前年	23,593	24,637	23,658	26,087	26,332	53,739	56,076	52,805	54,899	50,967	49,387	52,756	494,936
要介護4	人数	54	57	56	56	51	59	61	73	48	68	52	24	659
	単位	15,240	16,042	15,730	15,797	14,438	16,598	17,222	19,895	20,105	18,536	14,616	6,818	191,037
	前年	6,677	8,536	10,864	1,522	7,760	776	0	490	0	0	0	0	36,625
要介護5	人数	2	3	3	22	21	21	18	48	0	0	0	0	138
	単位	490	735	735	5,590	5,145	5,145	4,410	11,760	0	0	0	0	34,010
	前年	980	735	980	1,225	980	980	1,225	735	0	490	980	980	10,290
計	人数	633	680	667	702	696	631	596	610	442	414	392	375	6,838
	単位	175,938	185,764	181,773	191,057	190,152	169,636	155,365	158,294	126,781	109,507	104,199	99,947	1,848,413
	前年	199,636	197,577	193,270	200,681	201,482	183,526	177,847	190,826	187,323	177,754	150,501	182,014	2,242,437

## 7. 豊寿園訪問看護ステーション

### ◆運営方針

1. 安心して利用でき、信頼していただける訪問看護サービスを提供する。
2. 心身の特徴を踏まえて日常生活の維持回復を図り、在宅での療養ができるようサービスの提供をする。
3. 終末期ケア、24時間対応体制を充実させ、安心して自分らしく穏やかな在宅での治療ができるようサービスの提供をする。

### <サービス目標>

- ・利用者・家族の権利を尊重し利用者、家族が主体の看護を提供する。  
(説明と同意に基づく看護の提供)  
(利用者が自らの意思で選択する権利の尊重)
- ・安心・信頼していただける看護サービスを提供する。  
(緊急時、24時間対応体制、必要時緊急訪問の実施)
- ・医療・福祉サービス事業所等との連携を密に図り在宅生活継続支援に努める。

### ◆経営目標

月平均 180件とする。

### <評価>

#### ■サービス目標

利用者の身体 精神状態を把握し 家族の話を傾聴しインフォームドコンセントを心掛け利用者主体の看護を提供するよう努めていった。

安心して在宅生活を送れる様 緊急連絡時は必要時以外の希望時に対応していった。

#### ■経営目標

平成29年度 月平均 128件  
述べ訪問件数 1537件

- ・目標件数に達成できなかった。

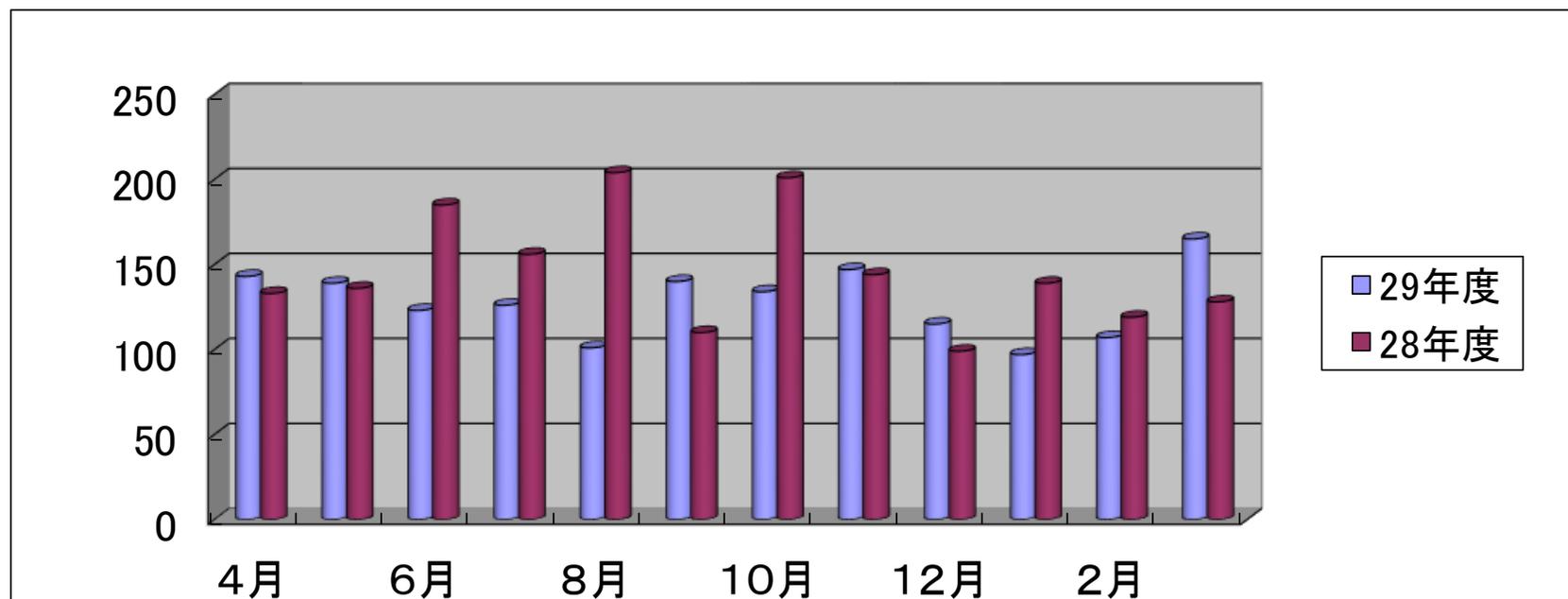
医療保険での特定疾患の利用者の病状が進行し在宅生活が困難となり定期の利用者数が減少、特別指示で訪問は多い月と少ない月の差が激しく対応に困難な事もあった。

介護保険利用者は新規開始してもターミナル期に近づいた状態が多く家族の事情でショートステイ利用や施設入所になるケースが多くなってきていると考えられる。

## 7-1. 訪問看護事業実績表(平成29年度)

豊寿園訪問看護ステーション

件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
29年度	143	139	123	126	101	140	134	147	115	97	107	165	1,537
28年度	133	136	185	156	204	110	201	144	99	139	119	128	1,754



7-2. 医療保険事業分実績表(平成29年度)

豊寿園訪問看護ステーション

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計		
		延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	
老人	正看	39	2	25	2	19	1	24	2	17	2	23	2	33	2	32	2	26	2	13	2	23	2	50	2	324	23	
	准看	25	1	27	1	18	1	15	1	17	1	12	1	19	1	21	1	9	1	4	1	10	1	12	1	189	12	
老障	正看	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	10	3	
	准看	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	9	2	
老特	正看	1	1	2	2	4	1	5	1	6	2	6	2	6	2	18	2	12	2	15	2	13	2	17	2	105	21	
	准看	6	1	5	1	4	1	3	1	3	1	3	1	3	1	10	1	8	1	13	1	11	1	13	1	82	12	
身障	正看	2	2	7	1	8	1	16	2	1	1	11	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45	9
	准看	5	1	13	1	13	1	7	1	2	1	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	6
一般	正看	6	2	2	1	1	1	2	1	5	2	16	2	10	2	4	2	1	1	1	1	2	2	2	2	52	19	
	准看	4	1	1	1	2	1	1	1	1	1	5	1	6	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	22	9	
計	正看	51	8	36	6	32	4	47	6	29	7	56	8	49	6	54	6	39	5	29	5	38	6	76	8	536	75	
	准看	42	5	46	4	37	4	26	4	23	4	27	4	28	3	32	3	17	2	18	3	21	2	32	3	349	41	
	計	93	13	82	10	69	8	73	10	52	11	83	12	77	9	86	9	56	7	47	8	59	8	108	11	885	116	

## 8. 宿毛市東部居宅介護支援事業所

### ◆運営方針

利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、多様な事業主体から利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるように配慮する。

事業の運営に当たっては、市町村、地域包括支援センター、指定介護保険事業所、介護保険施設との連携に努めていく。

### <サービス目標>

①個々のニーズに合ったケアプランを作成し選ばれる事業所を目指す。

(具体策)

- ・身体状態や生活環境等のアセスメントを行い、自立支援に向け本人や家族の意向にそったプランを作成する。
- ・他職種との情報共有が図れるよう、報告・連絡・相談・調整等を行う。
- ・新規利用者の依頼時に、迅速な対応ができるようにする。

②特定事業者としての資質向上を目指す。

(具体策)

- ・法定研修における実習受け入れをする。
- ・毎週・毎月の勉強会を行い、意見交換等を行う。
- ・研修等に参加しスキルアップしていく。

### ◆経営目標

毎月の件数を、120件とする。

### <評価>

#### ■サービス目標

- ・医療との連携については、医療側の体制が変わった事や研修等での関わりが増え、今まで以上に情報の共有ができた。
- ・定期的な勉強会の実施により職員間の意見交換が行なえた。

#### ■経営目標

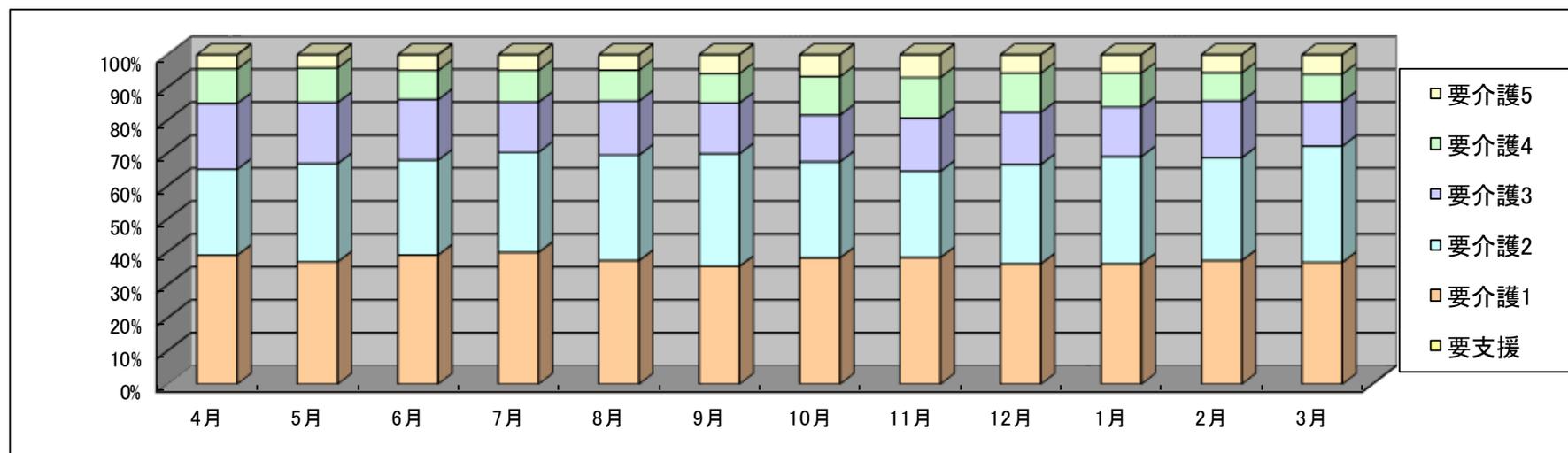
- ・目標件数に達しない月もあったが、医療機関や包括支援センターからの紹介もあり、平均では達成できた。

## 8-1. 要介護度別一覽表(平成29年度)

宿毛市東部居宅介護支援事業所(4名体制) 単位: 人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要介護1	45	46	49	50	48	44	46	50	46	46	48	44	562	38%
要介護2	30	37	36	38	41	42	35	34	38	41	40	42	454	30%
要介護3	23	23	23	19	21	19	17	21	20	19	22	16	243	16%
要介護4	12	13	11	12	12	11	14	16	15	13	11	10	150	10%
要介護5	5	5	6	6	6	7	8	9	7	7	7	7	80	5%
計	115	124	125	125	128	123	120	130	126	126	128	119	1489	100%

63



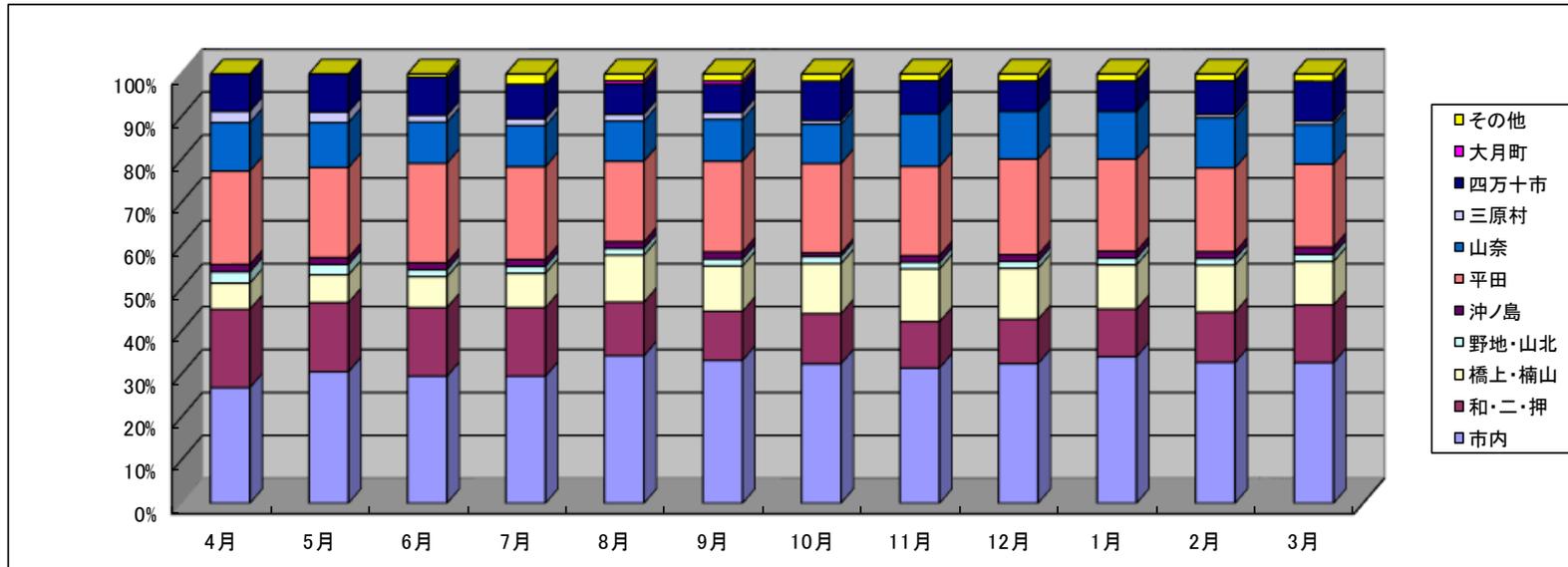
## 8-2. 地区別顧客状況表（平成29年度）

宿毛市東部居宅介護支援事業所

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
市内	31	38	37	37	44	41	39	41	41	43	42	39	473	32%
和・二・押	21	20	20	20	16	14	14	14	13	14	15	16	197	13%
橋上・楠山	7	8	9	10	14	13	14	16	15	13	14	12	145	10%
野地・山北	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26	2%
沖ノ島	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	23	2%
平田	25	26	29	27	24	26	25	27	28	27	25	23	312	21%
山奈	13	13	12	12	12	12	11	16	14	14	15	11	155	10%
三原村	3	3	2	2	2	2	1	0	0	0	1	1	17	1%
四万十市	10	11	11	10	9	8	11	10	9	9	10	11	119	8%
大月町	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0%
その他	0	0	1	3	2	2	2	2	2	2	2	2	20	1%
計	115	124	125	125	128	123	120	130	126	126	128	119	1489	100%

64



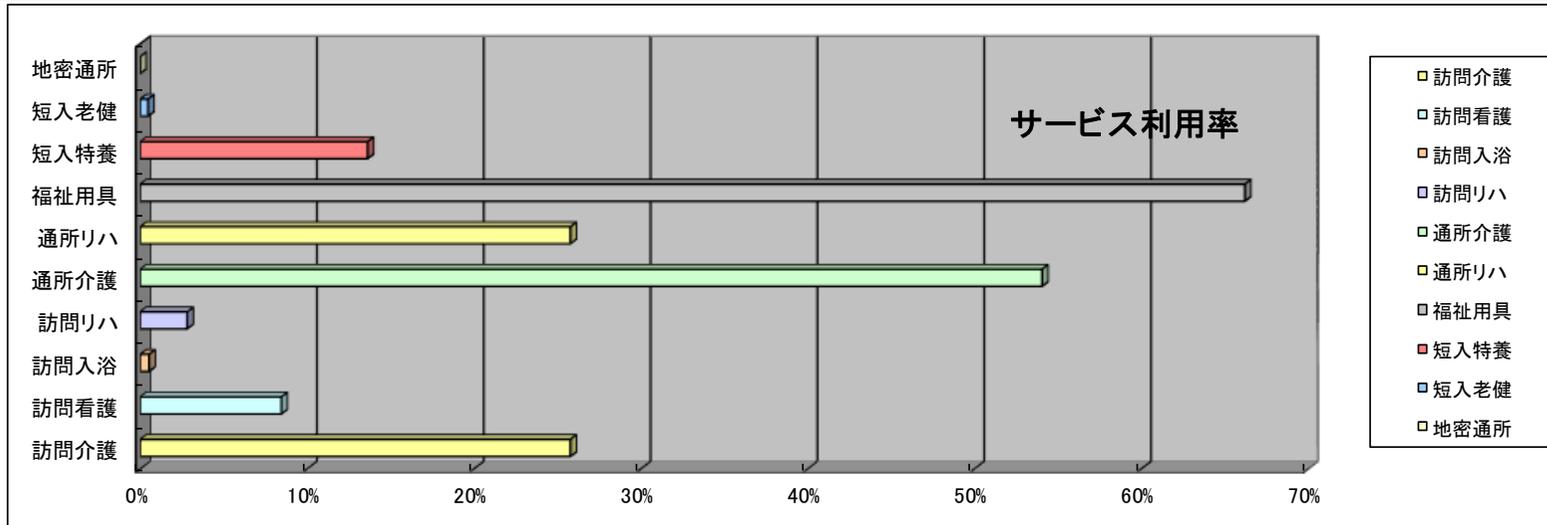
### 8-3. サービス別利用状況表(平成29年度)

宿毛市東部居宅介護支援事業所

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率
訪問介護	30	32	33	31	33	32	34	36	34	33	29	27	384	26%
訪問看護	10	10	12	11	9	10	10	10	11	11	11	11	126	8%
訪問入浴	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	8	1%
訪問リハ	5	5	4	3	2	3	3	4	4	4	3	2	42	3%
通所介護	59	64	67	66	67	64	63	71	71	71	70	72	805	54%
通所リハ	28	32	36	35	33	37	36	33	30	29	26	29	384	26%
福祉用具	72	77	81	78	85	87	83	88	83	84	84	84	986	66%
短入特養	17	18	12	15	17	16	15	20	17	18	21	17	203	14%
短入老健	0	0	0	0	1	1	1	1	2	1	0	0	7	0%
地密通所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
顧客人数	115	124	125	125	128	123	120	130	126	126	128	119	1489	100%

65



## 9. 平成29年度 愛生福祉会(高知本部)年間内部研修実績

### ◎新任職員研修会 (参加者2名)

日時 平成29年4月1日 15:00～17:00  
 場所 特別養護老人ホーム豊寿園 介護職員室・医務室  
 内容 「業務管理体制整備規程(法令遵守規程)について」  
 「キャリアパスについて」  
 「重要事項説明書について」  
 「事故対策について」  
 「身体拘束廃止・高齢者虐待防止法について」  
 「感染症・食中毒対策について」  
 「苦情対応について」  
 講師 特別養護老人ホーム豊寿園 (本館介護主任)(看護主任)

### ◎新任職員研修会 (参加者1名)

日時 平成28年4月3日(15:00～17:00)  
 場所 グループホームほうばい 職員室  
 内容 「業務管理体制整備規程(法令遵守規程)について」  
 「キャリアパスについて」  
 「重要事項説明書について」  
 「事故対策について」  
 「身体拘束廃止・高齢者虐待防止法について」  
 「感染症・食中毒対策について」  
 「苦情対応について」  
 講師 グループホームほうばい (管理者)

### ◎Uビジョン新人職員研修会 (参加者20名)

日時 平成29年4月4日(9:00～17:00)5日(9:00～17:00)6日(9:00～14:15)  
 場所 ケアハウスすくも 地域交流ホール  
 内容 「法の遵守とは：憲法・社会福祉法・老人福祉法・介護保険法」  
 「介護職員に求められるリスクマネジメントとは」  
 「記録の書き方について」  
 「介護職員に求められるマナー：あいさつ・笑顔・身だしなみ・言動」  
 「高齢者虐待防止法と身体拘束について」  
 「高齢者の心理と特徴・疾病について～コミュニケーション～」  
 「感染症と食中毒対策について～理論と実践～」  
 「ターミナルケアについて」  
 「認知症ケアの原則～現状と課題～」  
 「ユニットケアとは」  
 「生活の質(QOL)を高め、その人らしい生活を支える」  
 講師 Uビジョン研究所 (理事長)

<b>◎法人内新人職員研修会（参加者12名）</b>	
日時	平成29年4月18日 13:30～17:30
場所	ケアハウスすくも 地域交流ホール
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛生福祉会の基本理念、概要……………（総合施設長）</li> <li>・各事業所の概要</li> <li>・グループホーム ほうばい……………（GHほうばい管理者）</li> <li>・グループホーム えやんばい……………（GHえやんばい管理者）</li> <li>・豊寿園訪問看護ステーション……………（訪問看護管理者）</li> <li>・デイサービスセンターつどいの家……………（つどいの家主任）</li> <li>・宿毛市東部居宅介護支援事業所……………（東部居宅介護支援管理者）</li> <li>・豊寿園ホームヘルパーステーション……………（ヘルパー管理者）</li> <li>・ケアハウス すくも……………（ケアハウスすくも主任）</li> <li>・特別養護老人ホーム 豊寿園……………（豊寿園介護部長・生活相談員）</li> <li>・介護職員の医療的ケアについて……………（豊寿園看護主任）</li> <li>・感染症対策について……………（豊寿園看護主任）</li> <li>・身体拘束廃止・高齢者虐待防止について……………（豊寿園生活相談員）</li> <li>・事故対策について……………（豊寿園生活相談員）</li> <li>・褥瘡対策について……………（豊寿園看護職員）</li> <li>・法令遵守について……………（施設長）</li> <li>・キャリアパスシステムについて……………（施設長）</li> </ul>
<b>◎身体拘束廃止研修会（参加者14名）</b>	
日時	平成29年4月19日・21日 19:00～19:30
場所	グループホームえやんばい 1F・2Fリビング
内容	「身体拘束廃止に関する指針について」
講師	グループホームえやんばい（管理者）
<b>◎認知症ケア研修会（参加者14名）</b>	
日時	平成29年4月19日・21日 19:30～20:00
場所	グループホームえやんばい 1F・2Fリビング
内容	「事例検討」
講師	グループホームえやんばい（管理者）
<b>◎プライバシー保護に関する研修会（参加者14名）</b>	
日時	平成29年5月17日・19日 19:00～19:30
場所	グループホームえやんばい 1F・2Fリビング
内容	「プライバシーの保護に関するマニュアルについて」
講師	グループホームえやんばい（管理者）
<b>◎認知症ケア研修会（参加者17名）</b>	
日時	平成29年5月17日・19日 19:30～20:00
場所	グループホームえやんばい 1F・2Fリビング
内容	「帰宅願望がある人のケア～未経験で一人でもできる13通りのケア～」
講師	グループホームえやんばい（管理者）

<b>◎事故対策研修会（参加者 59名）</b>	
日時	平成 29 年 5 月 30 日 19:00～20:00
場所	ケアハウスすくも 地域交流ホール
内容	『成 28 年度事故統計・分析・対策報告』 「ユニット型特養豊寿園 3 F（さくらの里・貝ヶ森ユニット）」 「ユニット型特養豊寿園 2 F（やいとがわ・蛍湖ユニット）」 「特養豊寿園（ほのぼのユニット）」 「特養豊寿園（ゆとりユニット）」 「特養豊寿園（ひだまりユニット）」 「豊寿園ショートステイ（ル・コパンユニット）」 「デイサービスセンターつどいの家」 「グループホームえやんばい」 「グループホームほうばい」 「ケアハウスすくも」
講師	事故対策委員会・研修委員会（各委員）
<b>◎新任職員研修会（参加者 2名）</b>	
日時	平成 29 年 6 月 1 日 15:00～17:00
場所	特別養護老人ホーム豊寿園 職員室
内容	「業務管理体制整備規程(法令遵守規程)について」 「キャリアパスについて」 「重要事項説明書について」 「事故対策について」 「身体拘束廃止・高齢者虐待防止法について」 「感染症・食中毒対策について」 「苦情対応について」
講師	特別養護老人ホーム豊寿園（本館介護主任）
<b>◎新任職員研修会（参加者 1名）</b>	
日時	平成 29 年 6 月 2 日 15:00～17:00
場所	特養豊寿園 1F 職員室 厨房事務室
内容	「業務管理体制整備規程(法令遵守規程)について」 「キャリアパスについて」 「重要事項説明書について」 「事故対策について」 「身体拘束廃止・高齢者虐待防止法について」 「感染症・食中毒対策について」 「苦情対応について」
講師	特別養護老人ホーム豊寿園（新館介護主任）
<b>◎Uビジョン第1回職員教育研修会（10名）</b>	
日時	平成 29 年 6 月 14 日(16:15～18:30)15 日(10:00～17:30)16 日(9:30～14:30)
場所	特別養護老人ホーム豊寿園 会議室他
内容	「トップマネジメントセミナー打合せ」 「特養豊寿園のパワーポイント作成について」

<p>「特養豊寿園のビフォア・アフターの作成」</p> <p>「施設観察」</p> <p>「主任の役割と組織について」</p> <p>「ショートステイのケアプランの確認」</p> <p>「施設サービス計画書の確認」</p> <p>「現場支援の体制の整え方」</p> <p>「今後のあり方・トップマネジメントセミナーに向けて」</p> <p>「薬に関する国の方針・ターミナルケア」</p> <p>「特例入所の指針について・パンフレットと公表の方法について」</p> <p>「特養豊寿園のパワーポイント作成②」</p> <p>「特養豊寿園のビフォア・アフターの作成②」</p> <p>講師 Uビジョン研究所 (理事長)</p>
<p><b>◎身体拘束廃止研修会 (参加者 15名)</b></p> <p>日時 平成 29 年 6 月 16 日・21 日 19:00～19:30</p> <p>場所 グループホームえやんばい 1F・2F リビング</p> <p>内容 「身体拘束廃止に関する指針について」</p> <p>講師 グループホームえやんばい (管理者)</p>
<p><b>◎認知症ケア研修会 (参加者 15名)</b></p> <p>日時 平成 29 年 6 月 16 日・21 日 19:30～20:00</p> <p>場所 グループホームえやんばい 1F・2F リビング</p> <p>内容 「認知症の方との付き合い方・接し方の上手なコツ」</p> <p>講師 グループホームえやんばい (管理者)</p>
<p><b>◎非常災害時研修会 (参加者 67名)</b></p> <p>日時 平成 29 年 6 月 23 日 15:30～16:30</p> <p>場所 特別養護老人ホーム豊寿園 ケアハウスすくも・ケアハウスセンターつどいの家・GHえやんばい・GHほうばい</p> <p>内容 「日中の大地震を想定した避難訓練」</p> <p>「非常用備品の確認、稼働、操作訓練」</p> <p>「非常用備蓄食の確認」</p> <p>講師 愛生福祉会 (総括防災管理者)</p>
<p><b>◎ユニットケア基本研修会 (参加者 25名)</b></p> <p>日時 平成 29 年 7 月 14 日 19:00～20:00</p> <p>場所 ケアハウスすくも 地域交流ホール</p> <p>内容 「ユニットケアとは～ユニットケアの3つの要素～」</p> <p>「グループワーク」</p> <p>講師 特別養護老人ホーム豊寿園 (介護部長)</p>
<p><b>◎非常災害時研修会 (参加者 15名)</b></p> <p>日時 平成 29 年 7 月 19 日・21 日 19:00～19:30</p> <p>場所 グループホームえやんばい 1F・2F リビング</p> <p>内容 「水害対策マニュアルについて」</p> <p>講師 グループホームえやんばい (管理者)</p>

<p><b>◎認知症ケア研修会（参加者15名）</b></p> <p>日時 平成29年7月19日・21日 19:30～20:00</p> <p>場所 グループホームえやんばい 1F・2Fリビング</p> <p>内容 「認知症と抑うつ」</p> <p>講師 グループホームえやんばい（管理者）</p>
<p><b>◎感染症・食中毒対策研修会（参加者2名）</b></p> <p>日時 平成29年7月27日 13:00～14:30</p> <p>場所 特別養護老人ホーム豊寿園 会議室他</p> <p>内容 「完全オゾン装置設置浴槽視察、説明 「完全オゾン説明」</p> <p>講師 NPO完全オゾン協議会（事務局）</p>
<p><b>◎感染症・食中毒対策研修会（参加者48名）</b></p> <p>日時 平成29年7月28日 19:00～20:00</p> <p>場所 ケアハウスすくも 地域交流ホール</p> <p>内容 「夏場に感染しやすい感染症・食中毒」 「HACCPを基本にした自主衛生管理」 「手洗いの実技」</p> <p>講師 感染症・食中毒対策委員会（委員）</p>
<p><b>◎非常災害時研修会（参加者15名）</b></p> <p>日時 平成29年8月16日・18日 19:00～19:30</p> <p>場所 グループホームえやんばい 1F・2Fリビング</p> <p>内容 「地震対策マニュアルについて」</p> <p>講師 グループホームえやんばい（管理者）</p>
<p><b>◎認知症ケア研修会（参加者15名）</b></p> <p>日時 平成29年8月16日・18日 19:30～20:00</p> <p>場所 グループホームえやんばい 1F・2Fリビング</p> <p>内容 「入浴拒否について」</p> <p>講師 グループホームえやんばい（管理者）</p>
<p><b>◎法人役員研修会（参加者4名）</b></p> <p>日時 平成29年9月7日 13:30～17:00</p> <p>場所 横浜よさこいホーム</p> <p>内容 「施設見学」 「施設概要説明」 「施設運営状況説明」</p> <p>講師 横浜よさこいホーム（施設長）</p>
<p><b>◎Uビジョン第2回職員教育研修会（参加者12名）</b></p> <p>日時 平成29年9月11日(16:15～18:30)12日(10:00～17:30)13日(9:30～14:30)</p> <p>場所 特別養護老人ホーム豊寿園 会議室他</p> <p>内容 「最終トップマネジメントセミナー打合せ」 「特養豊寿園PRパワーポイント作成について」 「主任の役割と組織について」</p>

<p>「トップマネジメントセミナーの食事について」</p> <p>「ショートステイケアプラン等の確認」</p> <p>「施設サービス計画書の確認」</p> <p>「トップマネジメントセミナーの体制とマナー」</p> <p>「現場支援の体制の整え方」</p> <p>「薬に関する国の方針、ターミナルケア」</p> <p>「特例入所の指針について、パンフレット、公表の方法」</p> <p>講師 Uビジョン研究所 (理事長)</p>
<p><b>◎非常時対応研修会 (参加者 16名)</b></p>
<p>日時 平成 29 年 9 月 15 日・20 日 19:00～19:30</p> <p>場所 グループホームえやんばい 1F・2F リビング</p> <p>内容 「急変時の対応：マニュアル確認」</p> <p>講師 グループホームえやんばい (管理者)</p>
<p><b>◎認知症ケア研修会 (参加者 16名)</b></p>
<p>日時 平成 29 年 9 月 15 日・20 日 19:30～20:00</p> <p>場所 グループホームえやんばい 1F・2F リビング</p> <p>内容 「記憶障害について」</p> <p>講師 グループホームえやんばい (管理者)</p>
<p><b>◎ノーリフティングケア研修会 (参加者 6名)</b></p>
<p>日時 平成 29 年 9 月 29 日 13:30～15:30</p> <p>場所 特別養護老人ホーム大野見荘</p> <p>内容 「ノーリフティングケア推進施設視察」</p> <p>「特別養護老人ホーム大野見荘の取り組みについて」</p> <p>講師 特別養護老人ホーム大野見荘 ノーリフティング推進委員会 (委員)</p>
<p><b>◎非常災害時研修会 (参加者 60名)</b></p>
<p>日時 平成 29 年 10 月 2 日 15:00～16:30</p> <p>場所 特別養護老人ホーム豊寿園・ケアハウスくも・デｲサービスセンターつどいの家・GHえやんばい</p> <p>内容 『防災訓練(火災・地震想定)』</p> <p>「火災・地震日中発生想定避難訓練」</p> <p>「非常通報訓練」</p> <p>「各種防災設備取扱訓練」</p> <p>「初期消火訓練」</p> <p>「各種防災設備点検」</p> <p>講師 宿毛消防署員 (予防係 2名)</p>
<p><b>◎非常災害時研修会(参加者 5名)</b></p>
<p>日時 平成 29 年 10 月 6 日 10:00～11:00</p> <p>場所 グループホームほうばい</p> <p>内容 『防災訓練(火災・地震想定)』 「各種防災設備取扱訓練」</p> <p>「火災・地震日中発生想定避難訓練」 「初期消火訓練」</p> <p>「非常通報訓練」 「各種防災設備点検」</p> <p>講師 三原消防署員 (予防係 2名) 地域住民 (1名)</p>

<b>◎ノーリフティングケア研修会（参加者 6 1名）</b>	
日時	平成 29 年 10 月 10 日・13 日 19:00～20:00
場所	特別養護老人ホーム豊寿園 会議室
内容	「ノーリフティングケアへの理解」
講師	特別養護老人ホーム豊寿園 ノーリフティングケア推進委員会（委員）
<b>◎非常災害時研修会（参加者 1 6名）</b>	
日時	平成 29 年 10 月 18 日・20 日 19:00～19:30
場所	グループホームえやんばい 1 F・2F リビング
内容	「火災対策マニュアル確認」
講師	グループホームえやんばい（管理者）
<b>◎認知症ケア研修会（参加者 1 6名）</b>	
日時	平成 29 年 10 月 18 日・20 日 19:30～20:00
場所	グループホームえやんばい 1 F・2F リビング
内容	「事例検討会」
講師	グループホームえやんばい（管理者）
<b>◎新任職員研修会（参加者 1 名）</b>	
日時	平成 29 年 10 月 24 日 18:00～19:00
場所	特別養護老人ホーム豊寿園 職員室
内容	「業務管理体制整備規程(法令遵守規程)について」 「キャリアパスについて」 「重要事項説明書について」 「事故対策について」 「身体拘束廃止・高齢者虐待防止法について」 「感染症・食中毒対策について」 「苦情対応について」
講師	特別養護老人ホーム豊寿園（介護部長）
<b>◎互生会・愛生福祉会関東合同研修会（参加者 7 名）</b>	
日時	平成 29 年 10 月 27 日 14:30～20:00
場所	埼玉県越谷市ベルヴィギャザホール
内容	「魅力ある施設づくりのために～離職防止について取り組んでいること、取り組みたいこと～」 「9 施設発表」
講師	介護老人保健施設とまりや（研修担当職員）
<b>◎新任職員研修会（参加者 1 名）</b>	
日時	平成 29 年 11 月 15 日 15:00～17:00
場所	特別養護老人ホーム豊寿園 職員室
内容	「業務管理体制整備規程(法令遵守規程)について」 「キャリアパスについて」 「重要事項説明書について」 「事故対策について」 「身体拘束廃止・高齢者虐待防止法について」 「感染症・食中毒対策について」 「苦情対応について」
講師	特別養護老人ホーム豊寿園（介護部長）

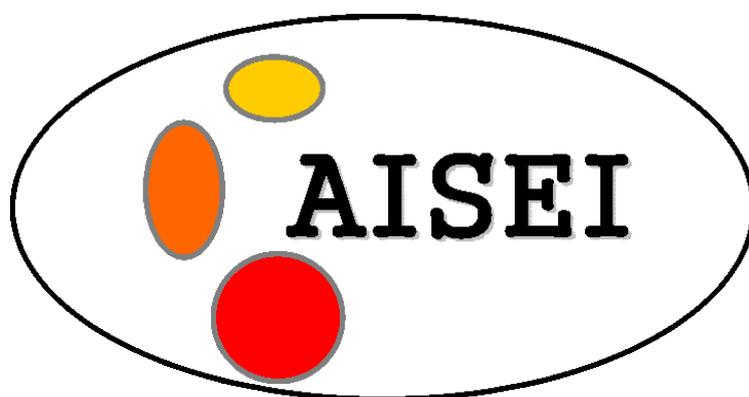
<b>◎感染症・食中毒対策研修会（参加者15名）</b>
日時 平成29年11月15日・22日 19:00～19:30 場所 グループホームえやんばい 1F・2Fリビング 内容 「ノロウイルス対策マニュアルについて」 講師 グループホームえやんばい（管理者）
<b>◎認知症ケア研修会（参加者15名）</b>
日時 平成29年11月15日・22日 19:30～20:00 場所 グループホームえやんばい 1F・2Fリビング 内容 「事例検討会」 講師 グループホームえやんばい（管理者）
<b>◎感染症・食中毒対策委員会（参加者24名）</b>
日時 平成29年12月1日 19:00～19:30 場所 特別養護老人ホーム豊寿園 2Fリビング 内容 「ノロウイルス感染疑い時の嘔吐物の処理、対応」 講師 特別養護老人ホーム豊寿園 感染症・食中毒対策委員会（委員）
<b>◎非常時対応研修会（参加者15名）</b>
日時 平成29年12月20日・27日 19:00～19:30 場所 グループホームえやんばい 1F・2Fリビング 内容 「急変時の対応（誤嚥）：マニュアル確認」 講師 グループホームえやんばい（管理者）
<b>◎認知症ケア研修会（参加者15名）</b>
日時 平成29年12月20日・27日 19:30～20:00 場所 グループホームえやんばい 1F・2Fリビング 内容 「事例検討会」 講師 グループホームえやんばい（管理者）
<b>◎褥瘡対策研修会（参加者61名）</b>
日時 平成30年1月16日・19日 19:00～20:00 場所 デイサービスセンターつどいの家 ホール 内容 「褥瘡の定義と発症のメカニズム、好発部位」 「車椅子の選び方とシーティング」 「身体の緊張を取る安楽なポジショニング」 「日常生活動作で圧迫力とずれ力を排除する」 「移乗・ポジショニングの考え方」 「褥瘡をつくらないポジショニング」 講師 特別養護老人ホーム豊寿園 褥瘡対策委員会（委員）機能訓練指導員（2名）
<b>◎非常災害時研修会（参加者16名）</b>
日時 平成30年1月17日・24日 19:00～19:30 場所 グループホームえやんばい 1F・2Fリビング 内容 「地震対策マニュアルの確認」 講師 グループホームえやんばい（管理者）

<p><b>◎認知症ケア研修会（参加者16名）</b></p> <p>日時 平成30年1月17日・24日 19:30～20:00</p> <p>場所 グループホームえやんばい 1F・2Fリビング</p> <p>内容 「事例検討会」</p> <p>講師 グループホームえやんばい（管理者）</p>
<p><b>◎新任職員研修会（参加者1名）</b></p> <p>日時 平成30年2月13日 10:00～12:00</p> <p>場所 特別養護老人ホーム豊寿園 職員室</p> <p>内容 「業務管理体制整備規程（法令遵守規程）について」</p> <p>「キャリアパスについて」</p> <p>「重要事項説明書について」</p> <p>「事故対策について」</p> <p>「身体拘束廃止・高齢者虐待防止法について」</p> <p>「感染症・食中毒対策について」</p> <p>「苦情対応について」</p> <p>講師 特別養護老人ホーム豊寿園（介護部長）</p>
<p><b>◎事故対策研修会（参加者54名）</b></p> <p>日時 平成30年2月14日 19:00～20:00</p> <p>場所 ケアハウスすくも 地域交流ホール</p> <p>内容 「新しい誤薬事故防止対策～絶対なくそう取り違い誤薬～」</p> <p>「グループワーク：各事業所でのマニュアルの見直し」</p> <p>講師 事故対策委員会（委員長）</p>
<p><b>◎身体拘束廃止・高齢者虐待防止研修会（参加者54名）</b></p> <p>日時 平成30年2月14日 20:00～20:30</p> <p>場所 ケアハウスすくも 地域交流ホール</p> <p>内容 「身体拘束廃止に関する指針の要点」</p> <p>「平成30年度介護報酬改定等による身体拘束等の適正化について」</p> <p>「どうして虐待はなくなるのか？原因と対処方法を考える！」</p> <p>講師 特別養護老人ホーム豊寿園（施設長）</p>
<p><b>◎Uビジョン第3回職員教育研修会（参加者11名）</b></p> <p>日時 平成30年2月21日（16:15～18:30）22日（9:30～18:00）23日（9:30～14:30）</p> <p>場所 特別養護老人ホーム豊寿園 会議室他</p> <p>内容 「人材不足の中でのサービスの質を保持するための評価方法の見直し」</p> <p>「施設サービス計画の見直し：暫定ケアプランと情報の共有」</p> <p>「施設サービス計画の見直し：アセスメント、ケアチェック表の検討」</p> <p>「新しい社会貢献についての提案」</p> <p>「特養ホームにおける看護師の役割」</p> <p>「特養ホームのパンフレットの見直し」</p> <p>講師 Uビジョン研究所（理事長）</p>

<b>◎ターミナルケア研修会（参加者14名）</b>	
日時	平成30年2月21日・28日 19:00～19:30
場所	グループホームえやんばい 1F・2Fリビング
内容	「エンゼルケアについて：マニュアル確認」
講師	グループホームえやんばい（管理者）
<b>◎認知症ケア研修会（参加者14名）</b>	
日時	平成30年2月21日・28日 19:30～20:00
場所	グループホームえやんばい 1F・2Fリビング
内容	「帰宅願望について」
講師	グループホームえやんばい（管理者）
<b>◎非常災害時研修会（参加者5名）</b>	
日時	平成30年2月26日 13:30～14:15
場所	グループホームほうばい
内容	『防災訓練(火災・地震想定)』 「夜間想定火災・地震避難訓練」 「非常通報訓練」 「各種防災設備の取扱訓練」 「各種防災設備、施設環境の自主点検」
講師	グループホームほうばい（管理者）
<b>◎非常災害時研修会（参加者36名）</b>	
日時	平成30年2月27日 15:00～16:30
場所	特別養護老人ホーム豊寿園・グループホームえやんばい・ケアハウスすくも
内容	『防災訓練(火災・地震想定)』 「夜間想定火災・地震避難訓練」 「非常通報訓練」 「各種防災設備の取扱訓練」 「各種防災設備、施設環境の自主点検」
講師	愛生福祉会（副総括防災管理者）
<b>◎やいとがわ研修会（参加者28名）</b>	
日時	平成30年3月8日 18:45～20:15
場所	ケアハウスすくも 地域交流ホール
内容	『事例・現状・研究報告』
司会	筒井病院 回復期病棟（看護主任）
■第1群座長	特別養護老人ホーム豊寿園（介護部長）
「怒りについて考える～自分に向き合ってみる～」	老人保健施設ぎんなん荘（看護主任）
「排泄自立に合わせた使用物品の見直し」	筒井病院 回復期病棟（看護師）
「外来在宅部門における現況報告」	筒井病院 外来（看護師）
「アルツハイマー型認知症に対する関わり」	筒井病院 リハビリ科（言語聴覚士）

<p>■第2 群座長 筒井病院 地域包括ケア病棟（看護主任）</p> <p>「当たり前の暮らしをしよう～環境から生まれる温かい関わり～」 特別養護老人ホーム豊寿園（介護職員）</p> <p>「食べたい気持ちに寄り添う～経管栄養から経口へ～」 特別養護老人ホーム豊寿園（管理栄養士）</p> <p>「揺れる家族の思い～穏やかな在宅での看取り～」 豊寿園訪問看護ステーション（管理者）</p> <p>「質疑応答」</p> <p>「講評」 特別養護老人ホーム豊寿園（施設長）</p>
<p>◎新任職員研修会（参加者1名）</p>
<p>日時 平成30年3月12日 15:00～17:00</p> <p>場所 グループホームほうばい 職員室</p> <p>内容 「業務管理体制整備規程（法令遵守規程）について」 「キャリアパスについて」 「重要事項説明書について」 「事故対策について」 「身体拘束廃止・高齢者虐待防止法について」 「感染症・食中毒対策について」 「苦情対応について」</p> <p>講師 グループホームほうばい（管理者）</p>
<p>◎非常災害時研修会（参加者16名）</p>
<p>日時 平成30年3月16日・21日 19:00～19:30</p> <p>場所 グループホームえやんばい 1F・2Fリビング</p> <p>内容 「火災避難訓練：マニュアル確認」</p> <p>講師 グループホームえやんばい（管理者）</p>
<p>◎認知症ケア研修会（参加者16名）</p>
<p>日時 平成30年3月16日・21日 19:30～20:00</p> <p>場所 グループホームえやんばい 1F・2Fリビング</p> <p>内容 「認知症をもつ人のストレスになること」</p> <p>講師 グループホームえやんばい（管理者）</p>
<p>◎非常災害時研修会（参加者13名）</p>
<p>日時 平成30年3月30日 15:30～16:00</p> <p>場所 特別養護老人ホーム豊寿園 会議室・各事業所</p> <p>内容 「風水害時訓練：机上訓練、避難訓練」</p> <p>講師 愛生福祉会（副総括防災管理者）</p>
<p>◎ターミナルケア研修会（参加者26名）</p>
<p>日時 平成30年3月30日 19:00～20:00</p> <p>場所 ケアハウスすくも 地域交流ホール</p> <p>内容 「ターミナルケアとは」 「ターミナルケアのポイント」 「これからの求められる介護とは」 「グループワーク：自分の最期に望むこと、家族の最期について」</p> <p>講師 特別養護老人ホーム豊寿園（看護職員）</p>

神奈川県横浜市  
介護老人福祉施設  
横浜よさこいホーム



- 介護老人福祉施設 横浜よさこいホーム  
(短期入所生活介護)
- デイサービスセンター よさこい
- よさこいケアプランセンター



# 社会福祉法人 愛生福祉会 神奈川県横浜市拠点 組織図

## ■事業所名称

- ▶ 介護老人福祉施設 横浜よさこいホーム（介護老人福祉施設）
- ▶ 介護老人福祉施設 横浜よさこいホーム ショートステイ（短期入所生活介護）
- ▶ デイサービスセンターよさこい（通所介護）

## ■経営理念

私達は介護サービスの提供を通じて、地域に貢献し、地域に愛され、地域と共に発展する法人を目指します。

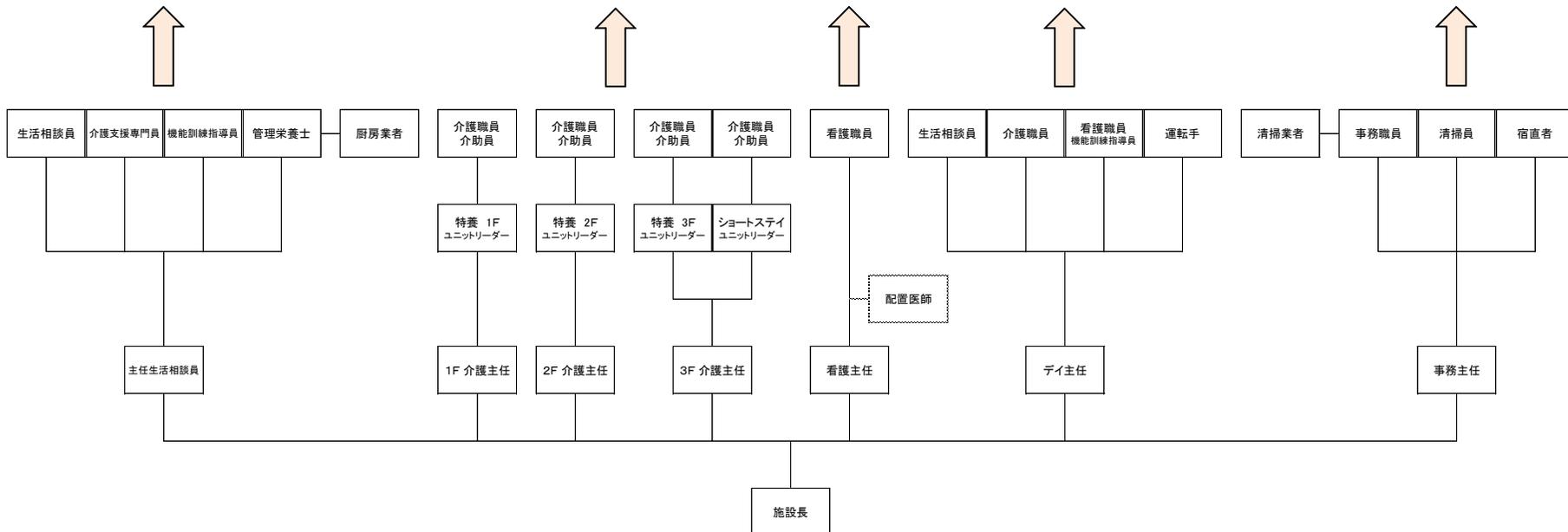
## ■運営方針

地域に優しい事業所であること  
 ご利用者やご家族に優しい事業所であること  
 職員に対して優しい事業所であること

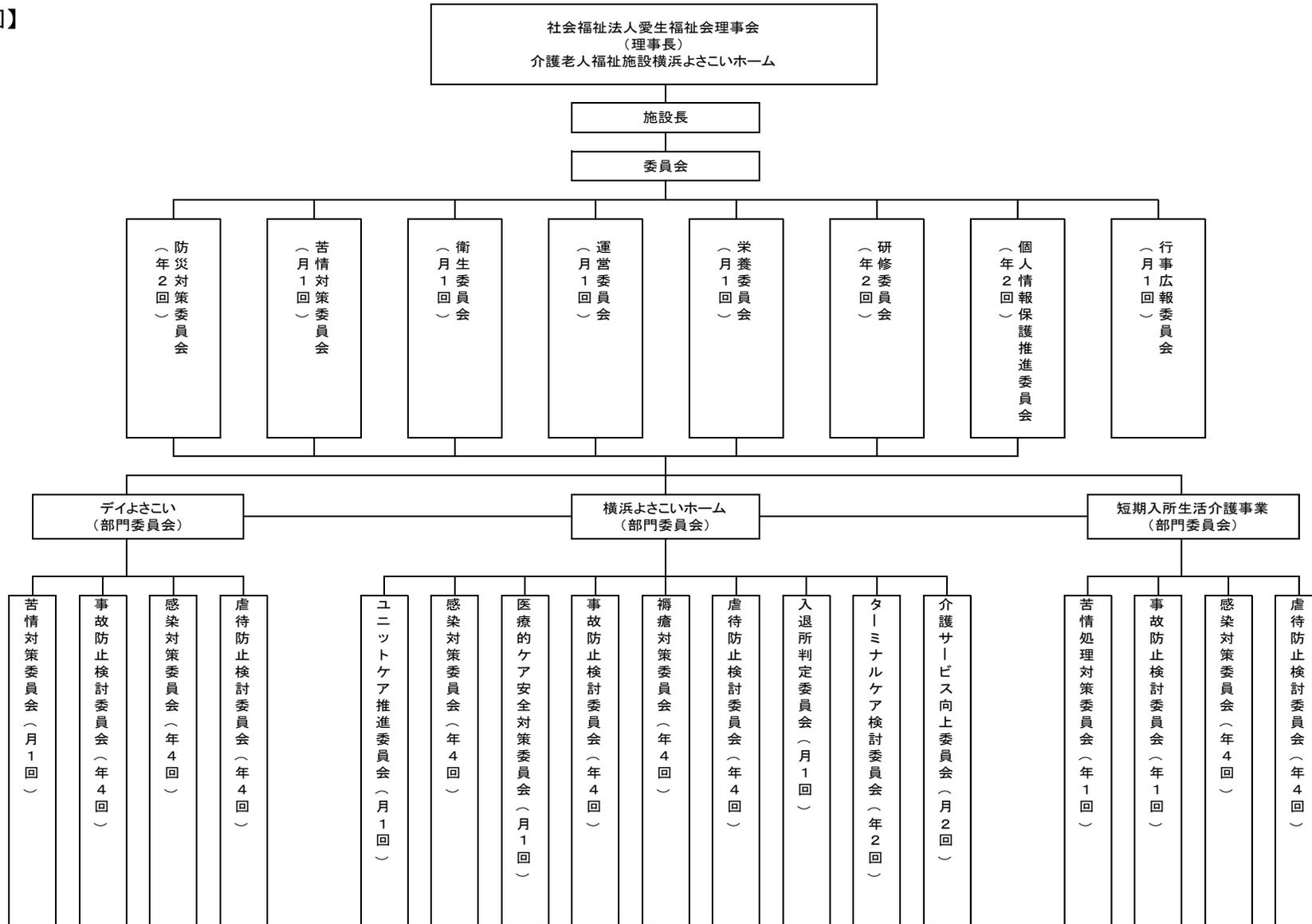
## ■サービス方針

自律した暮らしの継続

入居者・利用者  
 （“自律した暮らしの継続”を目指して）



【組織図】



# 10. 神奈川県横浜市拠点

## 1 経営理念

私達は、介護サービスの提供を通じて、地域に貢献し、地域に愛され、地域と共に発展する法人を目指します。

## 2 運営方針

- 1 地域に優しい事業所であること。
- 2 ご利用者やご家族に優しい事業所であること。
- 3 働く「職員」に優しい事業所であること。

## 3 施設理念

自律した暮らしの継続

～ 一人ひとりが衣食住のあらゆる場面で大切にしていることを、私たちも大切にします。～

- ▶ 理念を浸透させるため、各会で唱和することとした。

## 4 拠点としての中・長期計画報告

### 1. 事業収入の確保と支出の管理について

高齢者介護事業は、平成27年度介護報酬改定における介護老人福祉施設・通所介護の基本報酬の大幅な引き下げ、特養入居が原則として要介護3以上、消費税率の変更に伴う支出増、他業種への人材流出に伴う人員確保等、従前と比較しても取り巻く環境は厳しさを増すばかりです。

また、横浜市におきましては有料老人ホームのベッド数が、特別養護老人ホームのベッド数を上回り要支援1～要介護2の入居者を確保していることやデイサービスセンターの過剰化による利用者確保の困難化等、経営的に厳しい状況が続いております。

#### ■事業収入の確保

##### ①介護老人福祉施設 横浜よさこいホーム

- ▶ 目標入居率：96.5%、当年度入居率：97.6%、前年度入居率：95.6%

退居者数が25名（前年度37名）、延入院者数が614名（前年度740名）と当年度に比べ稼働率が上昇しました。

##### ②横浜よさこいホーム 短期入所生活介護事業

- ▶ 目標利用率：85.0%、当年度利用率：85.1%、前年度利用率：84.1%

積極的な受け入れを行い、利用率が上昇しました。

##### ③デイサービスセンターよさこい

- ▶ 目標利用人数：21.0人、当年度利用人数：17.4、前年度利用人数：20.4人

（※利用人数＝1日平均利用者数）

競争事業所の乱立や、特養入居やショートステイ利用のため、数値が下降しました。

##### ④よさこいケアプランセンター

- ▶ 平成29年9月に開所しましたが、当初は契約者数が伸びていないのが現状です。
- ▶ 平成30年3月期、契約者数5件。

## ■支出の管理

### ①人件費

- ▶ 効果的な人員配置につとめましたが、昇給分の金額及び新規事業所開設のため支出増となりました。

### ②事業費

- ▶ ユニット費・ユニットによるおやつ管理等、全般的な費用削減を行いました。

### ③事務費

- ▶ 修繕費については、経年とともに増加傾向にあります。

## 2. 職場環境の整備

①目標離職率：15.0%、実質離職率：15.4%（前年度：18.5%）、派遣契約終了除離職率：11.5%（前年度：16.1%）

- ▶ 入職時のマッチングや、役職者の情報収集に重点を置いたため、前年度より改善された。
- ▶ 職員 → 上席者（ユニットリーダー） → 主任（7名） → 施設長の情報共有を図った。
- ▶ 職員との面談機会（年2回以上）行った。

### ②時間外勤務の削減

- ▶ 内容把握と業務の見直し、実際の出退勤時間と勤務予定時間の乖離の削減、ノー残業ダイの取り組みについて取り組みが進まなかった。

### ③成長機会・研修プログラム

- ▶ 委員会による内部研修体制の整備し、闊達な研修ができた。
- ▶ 介護福祉士資格（実務者研修）、介護職員初任者研修、喀痰吸引研修、ユニットリーダー研修の受講を図った。
- ▶ 外部研修

5月24日	給食施設講習会	管理栄養士	1名
5月27日	褥瘡講習	医務・介護	2名
6月15日	看取り学講座	介護	2名
6月19日～8月10日	認知症介護実践者研修	介護	1名
6月28日 7月5・12・19・26日 8月2・23・28・31日 10月10・11日	神奈川県たんの吸引等に係る研修	介護	1名
7月5日	かながわ高齢者福祉研究大会	施設長・介護	3名
7月25日 8月1・8・9日 11月12日	喀痰吸引等研修	介護	1名

10月16～24日	喀痰実地研修	介護	1名
10月17～19日	全国老人福祉施設大会	施設長 医務 介支専 介護	7名
10月25日	ソフトブレーションサービス セミナー	施設長	1名
11月16～17日	トップマネジメントセミナー	施設長 生相	2名
11月23・30日 12月7・14・21日 2月10・17・24日 3月3・14・22日	喀痰吸引等研修	介護	1名
11月24日	リスクマネジメントセミナー	介護	1名
1月31日	給食施設栄養管理研修	管理栄養士	1名
2月7～9日	29年度社会福祉法人会計基準決算講習	事務	1名
2月9日	介護報酬改定講習会	施設長 生相 介支専	4名
2月15日	高齢福祉部会 施設運営研究会主催研修	生相	1名
2月22日	緑区社協 福祉施設等分科会	施設長	1名
3月15～16日	事業の円滑な運営・戦略構築に向けた情報の共有に資する研修	施設長	1名

▶ 内部研修

日程	内容	参加人数
5月15日	新任研修②	4名
6月27日	食中毒・感染対策研修	28名
7月27日	理念研修	2名
8月14日	事故防止研修	5名
8月24日	新任研修①	3名
8月24日	理念研修	5名
8月25日	新任研修②	2名
8月29日	事故防止研修	11名
9月28日	新任研修①	3名
9月28日	理念研修	3名
10月～11月	ノロウイルス感染症マニュアル周知研修	60名
10月26日	新任研修①	2名
10月26日	理念研修	2名
10月27日	新任研修②	1名

11月30日	褥瘡対策研修	28名
12月5日	褥瘡対策研修	21名
1月11日	事故防止 分析力向上	7名
1月12日	ターミナルケア周知研修	20名
1月19日	ターミナルケア周知研修	20名
1月26日	ターミナルケア周知研修	20名
1月31日	事故防止 分析力向上	5名
2月23日	新任研修②	1名

▶ ユニットリーダー研修

日本ユニットケア推進センターが実施するユニットリーダー研修に、ユニットリーダー1名、を受講させ、『自律した暮らしの継続』のサービス方針の下、ユニットケアの推進を図りました。

### 3. サービスの向上

①虐待防止の理解と取り組み

- ▶ 虐待行為に対する職員の知識理解（虐待チェックリストの年2回 実施）、職員面談時に虐待チェックリストの内容再確認をした。

②介護技術の理解と習得

- ▶ 外部講師による最新の介護技術の習得機会の提供は実施出来なかった。

### 4. 居宅介護支援事業所の開設

- ① 平成29年9月に開所したが、当初契約数が伸びていない。
- ② 地域ケアプラザや地域町内会等の集会に参加し周知活動を行っている。

# 10-1. 介護老人福祉施設 横浜よさこいホーム

## 1. 概要

### ①入居者数・退居者数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
初日入居者数	119	119	119	119	119	119	120
月延べ入居日数	3558	3595	3491	3628	3652	3562	3571
入居率	98.8	96.6	97.0	97.5	98.2	98.9	96.0
入居者数	2	1	3	2	1	1	3
退所者数	2	1	3	2	1	0	6
項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計/平均	平成28年度
初日入居者数	120	117	119	120	118	118.6	116.8
月延べ入居日数	3543	3669	3670	3251	3574	3564	3490
入居率	98.4	98.6	98.7	96.8	96.1	97.9	95.6
入居者数	2	2	1	0	3	21	37
退所者数	0	2	0	2	6	25	38

### ②入居者の年齢構成・性別（平成30年03月31日現在）

年齢	男	女	合計(人)
～64歳	2	1	3
65～74歳	4	2	6
75～84歳	13	30	43
85歳～	13	50	63
合計	32	83	115

(平均年齢：男性 80.4歳、女性 86.2歳、合計 84.6歳)

### ③入居者の要介護度（平成30年03月31日現在）

介護度	男	女	合計(人)	比率(%)
要介護1	2	5	7	6.1
要介護2	4	14	18	15.7
要介護3	8	25	33	28.7
要介護4	10	16	26	22.6
要介護5	8	23	31	27.0
計	32	83	115	100.0

### ④入院状況（入院回数、日数など）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入院者数	2	5	8	5	4	3	5
入院日数	20	77	83	63	50	34	49

項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
入院者数	1	2	3	5	5	48	55
入院日数	13	38	36	99	69	631	807

⑤職員の状況（平成30年03月31日現在）

雇用形態	職種	年度当初人員	採用者数	離職者数	年度末人員
常勤	施設長	1			1
	生活相談員	2			2
	介護職員	54	7	8	53
	介護職員（派遣）	4	7	6	5
	看護職員	2	1	1	2
	看護職員（派遣）	0			0
	管理栄養士	1			1
	機能訓練指導員	1	1		2
	介護支援専門員	2			2
	事務職員	3			3
非常勤	医師	1	1		2
	介護職員	9	4	3	10
	介護職員（派遣）	0	4	2	2
	看護職員	13		1	12
	看護職員（派遣）	0			0
	機能訓練指導員	1		0	0
	事務職員	0			0
	清掃員	4			4
	宿直者	2			2
合計		100	25	22	103

2. 平成29年度 重点目標

①ユニットケアの推進

- ▶ ユニットリーダー実地研修施設が活用するチェックシートを元に、各ユニットへのお茶のみセットや雑誌の設置を行う。
- ▶ ユニットリーダーによるユニットリーダー研修の受講を実施

- ▶ 各ユニットによるユニットケアの実践

## ②看取り介護への取り組み

- ▶ ターミナルケア検討委員会による能動的な活動
- ▶ 職員の意識改革
- ▶ システムづくり
- ▶ 平成29年度は20名（退居者25名中）の看取りを実施した。

## 3. 委員会活動

委員会名	内容等	開催回数
運営委員会	運営方針確認・議案審議	12回
衛生委員会	安全衛生管理計画等	12回
行事広報委員会	行事計画・実施等	12回
栄養委員会	行事食・改善事項等	12回
防災委員会	訓練計画・災害対策等	2回
苦情対策委員会	苦情検討、改善対策等	12回
感染対策委員会	感染予防等	4回
褥瘡対策委員会	褥瘡防止対策等	4回
ユニットケア会議	提案事項及び議案審議	12回
入退居判定委員会	入居順位決定、退所判定等	12回
事故防止検討委員会	事故予防等	4回
虐待防止検討委員会	虐待・身体拘束廃止等	12回
個人情報保護推進委員会	個人情報保護対策等	1回
ターミナルケア検討委員会	ターミナルケア・人権・尊厳等	12回

## 4. 防災訓練

実施日	訓練想定	参加者	消防署立会	個別訓練
平成29年9月25日	夜間消防訓練 地震避難訓練	10人	—	○
平成30年3月13日	昼間消防訓練 土砂災害避難訓練	10名	—	○

## 5. 各部署・職種の活動

### ①生活相談員

- 1) よさこいケアプランセンター事業開始に伴い、自施設内連携し入居までの流れがスムーズに行えるような体制が整えられた。来年度以降、病院退院後の入居希望者の受け入れなどに期待したい。
- 2) 入居前の情報収集のため、生活歴や生活リズムを伺うシートを作成した。

### ②介護職員

### 1) 職場環境の整備

各フロアに主任を配置し細かな情報共有に努めた。離職を考えている職員に対し面談等で希望や悩みを聴き働き続けられる環境を整え、離職率低下につなげた。

### 2) 介護サービスの向上

ユニットリーダー実地研修施設チェックシートに基づきユニットケアの推進に努めた。

入居者の健康管理に努めたことから前年度に比べ入院者数が減少した。

虐待防止に向けた言葉遣いの改善を目指し人事考課の項目にも追加することで職員の意識づけに努めた。まだ徹底できていない部分もあるため今後も取り組みを続けていく。

## ③看護職員

### 1) 他職種との連携を図りながら異常の早期発見に努め、入居者の健康管理を行う

#### ▶ 医務内での情報を共有する（朝の申し送り）

問題点、観察点などの共有ができ、体調不良者などの対応が出来た。

また、他職種からの情報で異常の早期発見に結びついた。

#### ▶ ミニカンファレンス・症例検討（医務会議/月）

医務会議では、出来ていない。

症例が起きた場合に、出勤している看護師間で検討を行い、実践することが出来た。

### 2) ご利用者の満足度を高める（医療ニーズに応える）

#### ▶ 医療助成金の継続 1期～4期 特養18名/月以上

医務スタッフ4名以上が、計画・請求できるようにする

医療助成については、H29年度より新基準となり増額されているが、第1期～4期まで提出出来た。

医務スタッフ2名で、計画・請求に関わったが、目標の4名以上は達成できなかった。

#### ▶ 短期・特養新規ご利用者においては、医療度を見極め最善策を提案し利用に繋げていく。

医療度では、尿道留置カテーテル対応者の利用に繋がられた。

### 3) 職場環境の整備

#### ▶ 有給取得率 30%以上

個人での希望もあるが、平均で30%以上の取得は出来た。

#### ▶ 1日の業務内容を見直し、改善案を1例提案

達成可能な業務改善を2例実施する（6月・12月）

改善案2例に対して、業務内容を見直し実践出来ている。

#### ▶ 高齢者施設看護師としてのスキルアップを目標に、研修に参加する

研修参加は出来なかった。

## ④管理栄養士

### 1) 給食委託業者との協力体制の確立

▶ レクリエーションは、おやつ代のユニット管理開始以降厨房が食材調達に関わる頻度が減った。その反面、保存検食の提出がほとんど見られなくなっている。保存検食の重要性を知ってもらう機会を再度作る必要があると感じた。

▶ ユニットキッチンの衛生管理表は形骸化しているユニットが複数みられるが、実際にはユニットキッチン内の衛生状態が著しく低下している様子はない。今後は、実施と確認の流れの中でチェックを入れていく習慣づけの指導が必要と感じた。

▶ 給食実施内容の状況と結果の確認、改善のための指導・相談

- ▶ ソフト食の葉物野菜の筋、挽肉の弾力について、不安定な仕上がりが何度も見られた。厨房職員の交替や申し送り忘れ、準備不足等により、軟化剤の使用を忘れてたり手技が的確でなかったことが原因であった。献立担当者と再度確認を行う必要がある。
  - ▶ ゼリー食については、「冷たい」という苦情が何度かあったが、チラーによる急速冷却で形成加工していること・レンジ数秒加熱でひと肌に温めると柔らかい食感になることなどを各ユニットへ周知した。出来上がりの物性は安定して維持できた。
- 2) 栄養ケアマネジメントの実施と確実な加算の維持
    - ▶ 栄養ケアマネジメントに係る目標は全て算定中止や期日遅延することなく実施できた。
  - 3) 療養食の算定に関しては、嘱託医師・看護職員と協働し、適切に開始・中止・継続ができた。糖尿病食9名 心疾患減塩1名の加算実績であった。
  - 4) 他職種との連携の確立
    - ▶ カンファレンス等、書面伝達も含め、情報共有ができた。
  - 5) 施設内での食品衛生管理の確立
    - ▶ 経口感染症や食中毒を発生させることなく無事に給食運営ができた。

#### ⑤機能訓練指導員

- 1) 各入居者への定期的な実施を行い、生活上必要となる動作および個人の要望や目的に即した動作の維持を図る。
- 2) 他職種との連携については機能訓練指導員の評価に基づいた内容を具体的に実行できる様に検討し行う。
- 3) 動作に関する未来的な予測や考えられるリスクについて安全管理が出来る様に他職種と検討し必要があれば、ご家族などに分かり易く伝える。

#### ⑥介護支援専門員

- 1) アセスメント様式は改定していないが、入居者の情報の引き出しは概ね問題なく実施することが出来た。
- 2) カンファレンスは規定どおり開催できており、「個別ケア」「自立支援」の視点のもとで検討項目について話し合うことが出来た。
- 3) 入居者の状態変化に応じて、臨時でカンファレンスを開催し、臨機応変な対応をとることができた。
- 4) 一日に少なくとも一回は各ユニットを巡回し、各入居者の生活状況の観察や、サービス内容の確認を行った。
- 5) 今年1月から24時間シートの「排泄パターン」の作成を開始しているが、現時点ではケアプランとの連動は出来ていない。今後、ユニットとして「入浴」と「食事」に関する24時間シートも作成予定の為、そちらの内容との関連性にも留意しつつ、ケアプランの作成を行っていく。

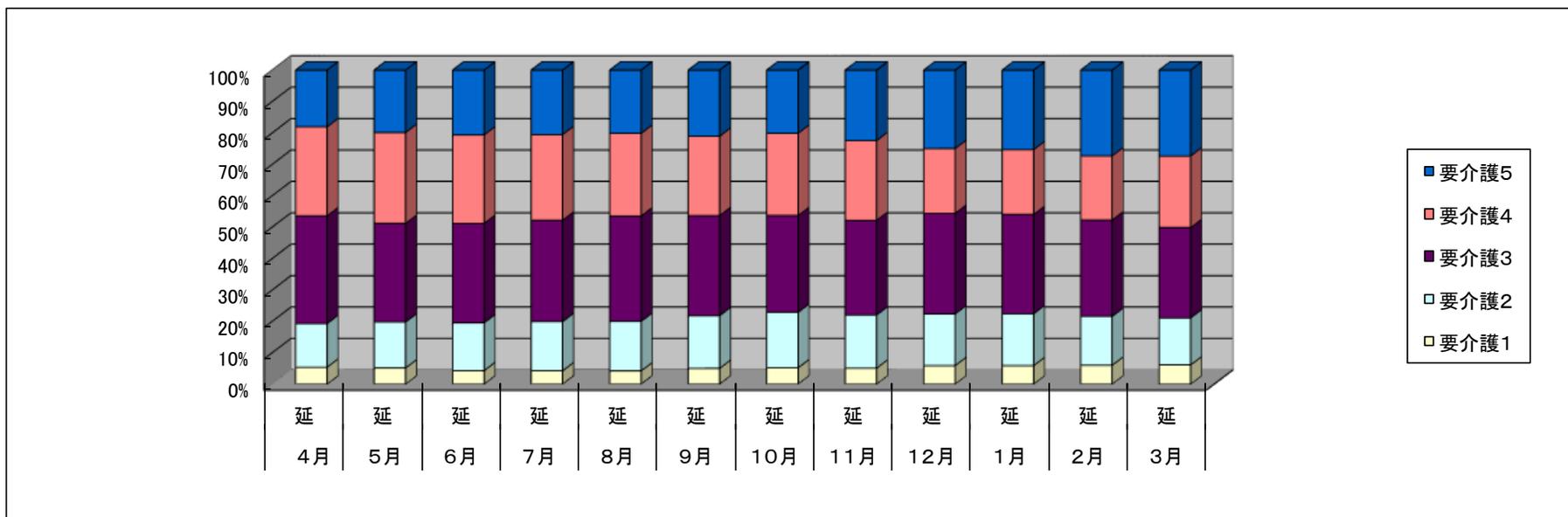
### 10-1. 介護老人福祉施設 横浜よさこいホーム 実績表(平成29年度)

単位:人

120床	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実
要介護1	193	7	186	6	150	5	155	5	155	5	180	6	186	6	180	6	217	7	217	7	196	7	217	7	2,232	74
要介護2	497	17	525	17	531	19	568	19	575	20	596	20	632	21	600	20	603	20	606	20	506	19	527	17	6,766	229
要介護3	1,228	41	1,128	38	1,106	39	1,171	39	1,226	40	1,136	39	1,100	39	1,068	36	1,175	38	1,160	38	997	36	1,017	34	13,512	457
要介護4	1,015	35	1,039	35	984	34	990	32	961	31	900	30	934	32	900	30	758	25	756	25	664	25	804	27	10,705	361
要介護5	645	22	713	23	720	24	744	24	735	24	750	25	718	25	795	27	916	31	930	30	888	32	966	33	9,520	320
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3,578	122	3,591	119	3,491	121	3,628	119	3,652	120	3,562	120	3,570	123	3,543	119	3,669	121	3,669	120	3,251	119	3,531	118	42,735	1,441
入所率	99.39%		96.53%		96.97%		97.53%		98.17%		98.94%		95.97%		98.42%		98.63%		98.63%		96.76%		94.92%		97.57%	
28年度	3,479	97	3,527	95	3,500	97	3,630	98	3,613	97	3,505	97	3,580	96	3,390	94	3,451	93	3,413	92	3,172	94	3,635	98	41,895	96

※延べ数に外泊・入院は含まず

※暫定者は「その他」に記載



## 10-2. 横浜よさこいホーム（短期入所生活介護）

### 1. 概要

短期入所生活介護事業所の目標である稼働率85.0%について、本年度85.1%の実績を上げ、昨年度からも2.8%上昇した。新規利用者も前年度より増加し、地域の利用者に対し、必要なショートステイとして今後も継続していきたいと考えている。

稼働率という点では、ユニットで介護職員が自発的に「なごみ会」という行事を4月より開始した。この取り組みは、毎月利用者の少ない前半に行事を行なうことにより、定期利用者の利用日を分散させることが狙いがあったが、利用者や家族への情報提供を定期的に行い、6月以降安定した稼働率となった。介護職員まで地域に必要なサービスとは何かと考え、行事にまで進展させたことは今年度の収穫であったように感じる。

部署内も経験3年以上の職員が増え、施設としても居宅介護支援事業所も開所したため、施設内他部署や地域と連携をし、今後もいろいろな利用者のニーズに応えていきたいと考えている。

#### ①利用者数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実利用数	56	55	57	51	59	59	62
延利用者数	448	503	513	539	546	549	542
利用率	74.7%	81.1%	85.5%	86.9%	88.1%	91.5%	87.4%
新規利用数	3	3	2	3	2	4	4
項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
実利用数	56	56	55	51	52	669	647
延利用者数	503	518	529	487	538	6215	6006
利用率	83.8%	83.5%	85.3%	87.0%	86.8%	84.9%	84.1%
新規利用数	3	2	4	0	2	32	29

#### ②利用者の年齢構成・性別（平成30年03月31日登録者情報）

年齢	男	女	合計（人）
～64歳	0	0	0
65～69歳	0	1	1
70～74歳	1	0	1
75～79歳	0	1	1
80～84歳	3	12	15
85～89歳	2	16	18
90～94歳	1	8	9
95～99歳	1	6	7
100歳～	0	0	0

③利用者の要支援度・要介護度（平成30年03月31日 登録者情報）

介護度	男	女	合計（人）	比率（%）
要支援1	0	0	0	0.0%
要支援2	0	0	0	0.0%
要介護1	0	5	5	9.6%
要介護2	2	13	15	28.8%
要介護3	5	16	21	40.5%
要介護4	0	2	2	3.8%
要介護5	1	8	9	17.3%
計	8	44	52	100.0%

④職員の状況（平成30年03月31日現在）

雇用形態	職種	年度当初人員	採用者数	離職者数	年度末人員
常勤	施設長※	1			1
	生活相談員	1			1
	介護職員	8	1	1	8
	看護職員	1			1
	事務職員	1			1
非常勤	介護職員	3		1	2
	介護職員(派遣)	1			1
合計		16	1	2	15

2. 平成29年度の重点目標

利用率85.0%を目指す。結果84.9%

3. 委員会

※介護老人福祉施設と共同で実施分含む

委員会名	内容等	開催回数
苦情対策委員会	苦情検討、改善対策等	12
感染対策委員会	感染予防等	4
褥瘡対策委員会	褥瘡防止対策等	4
事故防止検討委員会	事故予防等	4
虐待防止検討委員会	虐待・身体拘束廃止等	12
ショートステイ部会	他職種共同によるサービス向上	12
在宅部会	デイサービスと共同開催	12

#### 4. 年間レクリエーション等の実施報告

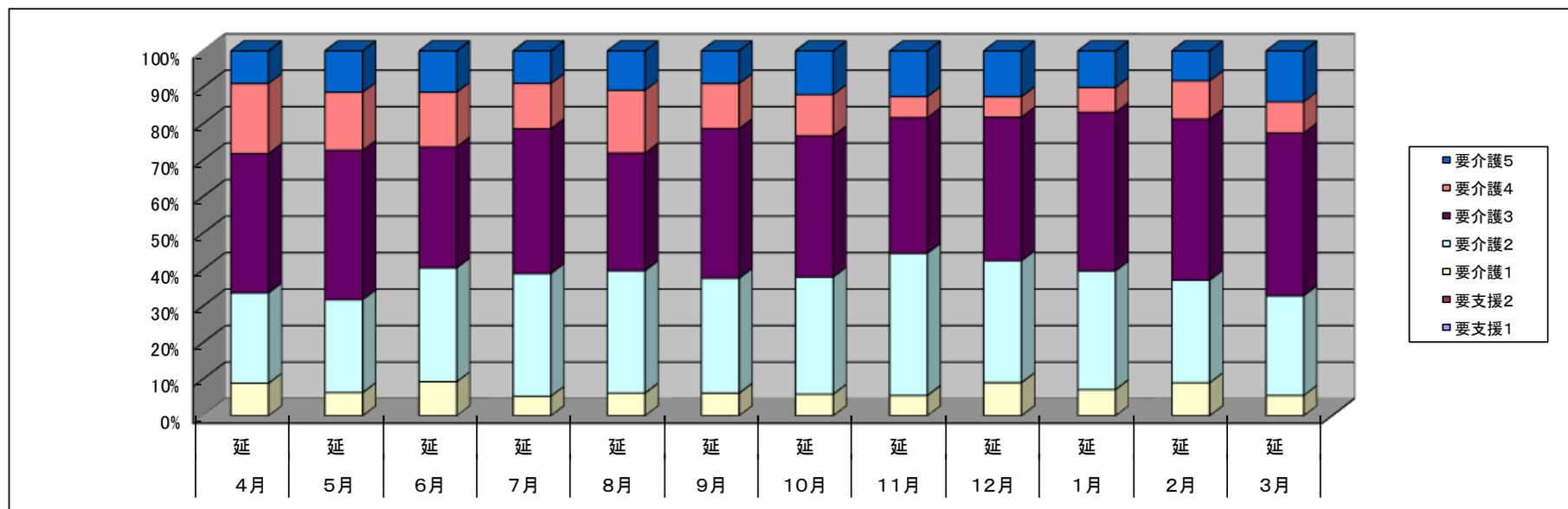
月	行事内容
4月～3月	なごみ会
8月	納涼祭
12月	餅つき
1月	正月レクリエーション

## 10-2. 介護老人福祉施設 横浜よさこいホーム ショートステイ事業実績表(平成29年度)

単位:人

20床	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	40	8	32	5	48	7	29	6	34	6	34	6	32	6	28	5	47	10	38	4	44	5	30	5	436	73	
要介護2	111	15	128	16	160	19	181	18	183	20	173	19	174	20	196	20	173	17	172	19	137	14	147	15	1935	212	
要介護3	171	18	206	18	170	18	214	16	176	17	225	20	210	22	187	21	204	19	230	23	215	21	240	21	2448	234	
要介護4	86	10	80	9	77	6	67	5	94	8	68	6	61	6	29	4	29	3	36	2	51	4	46	2	724	65	
要介護5	40	5	57	7	58	7	48	6	59	8	49	8	65	8	63	6	65	7	53	7	40	7	75	9	672	85	
その他																										0	0
計	448	56	503	55	513	57	539	51	546	59	549	59	542	62	503	56	518	56	529	55	487	51	538	52	6215	669	
送迎	114		113		116		109		117		116		122		127		127		98		103		103		1365	0	
利用率	74.70%	90	81.10%	87	85.50%	82	86.90%	78	88.10%	88	91.50%	85	87.42%	87	83.83%	77	83.55%	72	85%	81	87.00%	79	86.80%	82	85.14%	82	

※暫定者は「その他」に記載



# 10-3. デイサービスセンターよさこい（通所介護）

## 1. 概要報告

平成29年度も運営方針に沿い、在宅生活を維持できるよう社会的孤立の解消、心身の維持・向上を図れるよう様々な利用者の憩いの場であり、レクリエーションや行事を計画し提供する役割を果たすことができた。

定員数を30人枠に広げ順当に利用人数を増やす事が出来ており、平成30年度より、短期入所、特養入所との流れが成立され、デイサービスの役割の窓口が確立し短期入所とすることが出来、各居宅支援事業所への営業活動や新規契約に繋がるよう利用者獲得に力を注ぎのべ利用人数が徐々に増えていったが、まだ定員には満たしていない状況である。さらなる、獲得に向けて営業活動の強化をしていき、デイサービスセンターよさこいとしての特性をアピールしていき、通所介護とショートステイによる在宅部門のサービス事業所として、情報の共有を図りつつ、在宅部門の相談員同士が利用日程の調整を図る事が出来れば利用人数の確保が少しは可能と考える。その為には在宅部門の連携が必要不可欠である。定員数の枠を増やしたが新規契約者の獲得は難しかった。サービスの内容は個別化が図れ、個々の特性を活かした提案を行った。コミュニケーションの中で職員の認知症ケアのスキルが、成長し家族との密な連携は継続して図れている。

介護、看護職員の離職率は“0”であり働きやすい職場となりそれが結束となり利用人数増加を意識することに繋がっている。

### ①利用者数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実利用数	54	56	57	54	55	55	53
延利用者数	441	480	465	441	424	406	423
1日平均利用者数	17.6	17.8	17.9	17.0	15.7	15.6	16.3
新規利用数	0	1	2	2	1	1	4
項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
実利用数	62	68	83	68	68	733	762
延利用者数	468	489	398	455	514	5404	6324
1日平均利用者数	18.0	18.8	16.6	19.0	19.0	17.4	20.4
新規利用数	9	2	1	4	2	29	20

### ②利用者の要支援度・要介護度（平成30年03月31日 登録者情報）

介護度	男	女	合計（人）	比率（%）
要支援1	0	2	2	3.1%
要支援2	1	1	2	3.1%
要介護1	2	7	9	14.1%
要介護2	7	7	14	21.8%
要介護3	7	10	17	26.6%
要介護4	3	5	8	12.5%
要介護5	2	10	12	18.8%
計	21	39	64	100.0%

③職員の状況（平成30年03月31日現在）

雇用形態	職種	年度当初人員	採用者数	離職者数	年度末人員
常勤	施設長※	1			1
	生活相談員	1			1
	介護職員	4			4
	看護職員※	1			1
	看護職員（派遣）※	1			1
	管理栄養士※				
	機能訓練指導員※				
	事務員	1			1
	機能訓練指導員（派遣）※				
非常勤	介護職員	2	1		3
	看護職員※				
	看護職員（派遣）※				
	機能訓練指導員※				
	機能訓練指導員（派遣）※				
	運転手	2			2
合計		13	1		14

2. 平成29年度指針、方針、重点目標

①事業指針

- ▶ 利用者の自立支援を目指す。
- ▶ 自己決定・自己選択を尊重する。
- ▶ 在宅生活を支える。暮らしの継続。
- ▶ 家族のレスパイトケア

②運営方針

- ▶ 社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図り利用者が交流を深め、集団生活ができる憩いの場としての役割をもつ。
- ▶ 在宅介護の継続を可能にするため、レスパイトケアの役割をもつ。
- ▶ 個別機能訓練を活かし、ADL・IADLの維持・向上を図る。

③重点目標

- ▶ 一日利用数の定員30人の達成が可能となるような登録者数の確保に尽力したが、一日あたり平均利用者数を延ばす事が出来なかった。結果17.4人となった。

- ▶ 身体機能の維持・向上を図ることを目標とし、その目標の達成に向け利用者が無理な負担を感じる事無く、楽しみながら参加できる活動を提供する。
- ▶ 地域の方とより交流を深め、楽しく触れ合える場所として提供する。
- ▶ 利用者の健康管理に留意する。(脱水予防、感染予防に努める。)
- ▶ 職員同士が意見交換が出来る環境作りを行い、伝達・送達を徹底し、細かい配慮のチームケアが確立できるようにする。
- ▶ K Y T (危険予知訓練) を活かし日常の生活状況を把握し、起こり得る事故を予測し介助や環境整備を行い事故回避に努める。
- ▶ 内部研修・外部研修を通し職員の介護技術・能力を高めるため積極的に参加し、研修内容を持ち帰り現場に周知伝達する。

### 3. 職員の教育研修の目標・計画

- ①介護保険事業所の職員としての心構えや認知症ケア及び介護技術の習得を目指すために外部講師による内外部研修に参加するとともに、自身のスキルアップを図るため外部研修へ参加を意識する事が出来なかった。
- ②ケアプラン内容を見てニーズの把握、課題分析、通所介護計画書立案、モニタリング、評価という流れに沿って介護保険制度の理解を深めていく。

### 4. 委員会活動

※介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業所と合同で開催している委員会においては、通所介護の職員に伝達し情報の共有に務めている。

委員会名	内容等	開催回数
苦情対策委員会	苦情検討、改善対策等	4回
感染対策委員会	感染予防等	4回
事故防止検討委員会	事故予防等	4回
虐待防止検討委員会	虐待・身体拘束廃止等	2回

### 5. 職種の活動

#### ①生活相談員

目 標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 居宅介護事業所との情報を密にし、信頼関係を築きあげ新規利用者の獲得を目指すことは努力したが、目標は達成出来なかった。</li> <li>② 新規契約者の獲得の為、デイサービスの特性をアピールし営業に周ると共にHP掲載・パンフレット設置・事業所周りを行った。</li> <li>③ 現在の登録者の利用回数の見直しをしていき必要な方には利用日追加を提案することが出来た。</li> <li>④ 利用人数増加に伴い、相談業務が円滑に行えるようマニュアルを見直しスムーズな情報伝達、共有が出来た。</li> </ul>

## ②介護職員

目	標	<p>① 限られた勤務時間の中で個々のスタッフが役割を果たし勤務時間内に業務の遂行を完了することが出来た。</p> <p>② 年間行事に勉強会を組み込みスタッフの認知症に関する知識を高める事が出来なかった。</p> <p>③ ケアプラン内容に沿ったきめ細かなケアを実施することでサービスの質を高めていけるよう工夫が足りなかった。</p>
---	---	--

## ③機能訓練指導員

目	標	<p>① 今後の利用人数増加を想定し、機能訓練の時間配分を組み立てて行く事が出来た。</p> <p>② 利用者の自立支援を促進するという観点から在宅生活が継続できるよう個々の目指す目標を達成する為に必要性のある機能訓練内容を実施出来た。</p>
---	---	--

## 6. 年間計画の実施報告

月	行事内容	
4月	外出機能訓練・ドッグセラピー	居酒屋はまちゃん
5月	端午の節句	歌謡ショー・居酒屋はまちゃん
6月	キャンプフェス	居酒屋はまちゃん
7月	流しそうめん	居酒屋はまちゃん
8月	オカリナ演奏会・手作りおやつ	居酒屋はまちゃん
9月		居酒屋はまちゃん
10月	秋祭り よさこい食堂	居酒屋はまちゃん
11月	運動会	居酒屋はまちゃん
12月	お鍋の会	居酒屋はまちゃん
1月	書初め 手作りランチ会	居酒屋はまちゃん
2月	節分 手作りランチ会	居酒屋はまちゃん
3月	お花見カフェ	居酒屋はまちゃん 手作りおやつ

手指のリハビリの一環とし、また季節に応じた手作りランチ・おやつを企画し実施。女性の利用者中心になることが多かったが好評であった。男性のレクリエーションは主に個別性を重視し、麻雀や、あらたに導入したパズルが好評であった。引き続き頭脳計画的な脳トレは定着し熱心に取り組みされた。

外出機能訓練は、神社や公園へ行きリハビリの一環として実施。室内では確認できない外での階段昇降、下肢の運びの成果や達成できた事により自信に繋がったとのご意見も聞かれた。又家族にも普段外出の頻度が少ない方も機会が増えたことにより、大変、喜ばれたと満足度は、年々高まりつつある。今後も、身体機能の維持、向上を目指し在宅生活の継続ができるよう取り組んでいく。

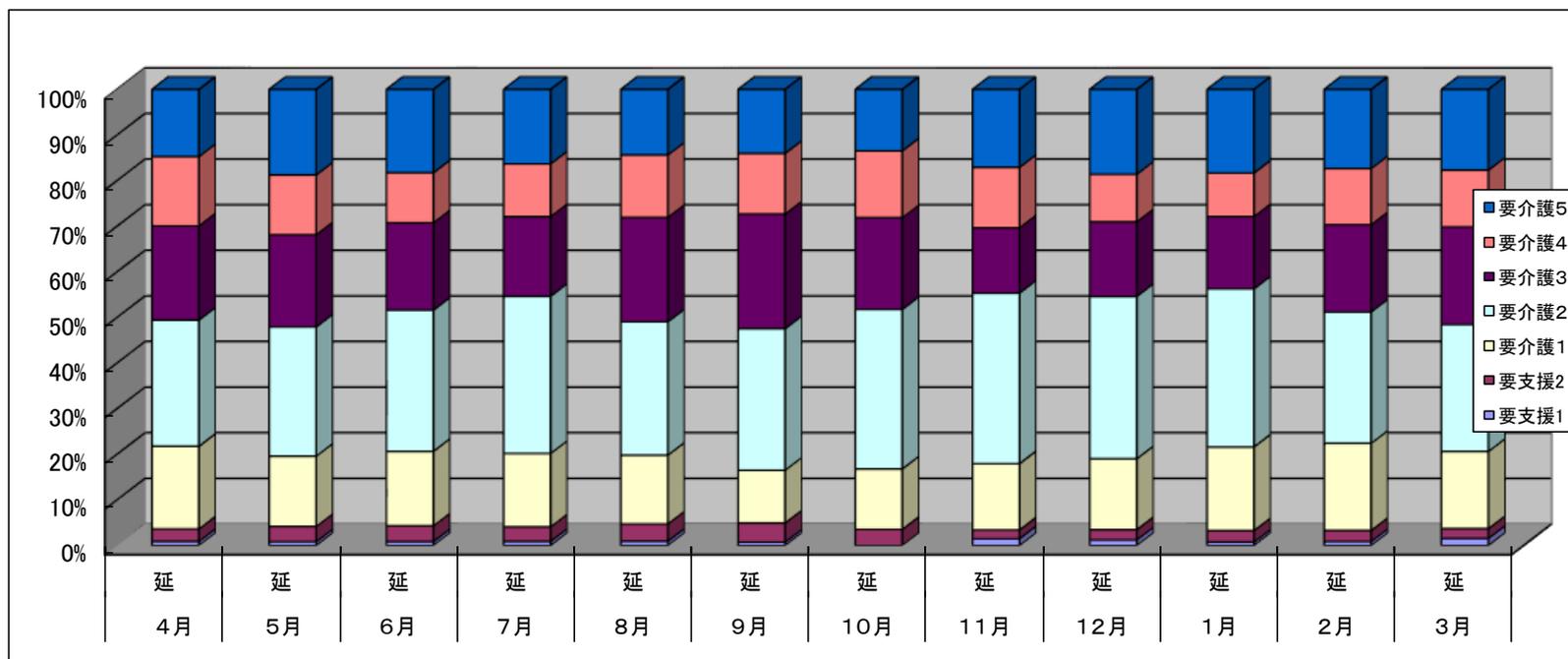
引き続き居酒屋はまちゃんが好評につき毎月、2～3名のご利用者を確保出来ており、職員のパフォーマンスを毎月楽しみにしているご利用者が増えた。

### 10-3. 横浜よさこい デイサービス実績表(平成29年度)

単位:人

定員30名	4月 (25)		5月 (27)		6月 (26)		7月 (26)		8月 (27)		9月 (26)		10月 (26)		11月 (26)		12月 (26)		1月 (24)		2月 (24)		3月 (27)		合計(310日)	
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実
要支援1	4	1	4	1	4	1	4	1	4	1	3	1	0	0	7	2	6	2	3	1	4	2	8	2	51	15
要支援2	12	2	16	2	16	2	14	2	16	2	17	2	15	2	9	1	11	2	10	2	11	2	11	2	158	23
要介護1	80	9	74	7	76	7	71	7	64	6	47	6	56	7	68	8	76	10	73	12	87	10	87	9	859	98
要介護2	122	15	136	17	144	17	152	18	124	19	126	19	148	17	175	21	174	22	138	27	131	14	143	15	1713	221
要介護3	91	9	97	10	89	12	77	10	97	11	102	12	85	11	67	11	80	12	63	14	87	17	110	17	1045	146
要介護4	67	9	63	10	51	9	51	7	58	7	54	7	62	7	62	8	51	7	38	9	56	11	64	10	677	101
要介護5	65	9	90	9	85	9	72	9	61	9	57	8	57	9	80	11	91	13	73	18	79	12	91	13	901	129
その他																										
計	441	54	480	56	465	57	441	54	424	55	406	55	423	53	468	62	489	68	398	83	455	68	514	68	5404	733
1日平均	17.6		17.8		17.9		17		15.7		15.6		16.3		18		18.8		16.6		19		19		17.4	
28年度	498	62	546	68	593	67	603	73	564	71	541	66	501	65	526	63	529	62	453	59	480	60	490	57	6324	773
28年平均	19.2		21		22.8		23.2		20.9		20.8		19.3		20.2		20.3		18.9		20		18.1		20.4	

※暫定者は「その他」に記載



# 10-4. よさこいケアプランセンター

## 1. 概要報告

平成29年9月に開所。当初は契約数が伸びなかったが、徐々に契約者数が増えている状況。

平成30年度は30名以上の契約者を獲得するため、地域ケアプラザや地域町内会等の集会に参加し周知活動を行っている。

### ①利用者数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
実利用数	—	—	—	—	—	0	0
新規利用数	—	—	—	—	—	0	0
項目	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
実利用数	1	2	3	3	5	14	—
新規利用数	1	1	1	0	2	5	—

### ②職員の状況（平成30年03月31日現在）

雇用形態	職種	年度当初人員	採用者数	離職者数	年度末人員
常勤	管理者	0	2（兼務）	1	1
合計		0	2	1	1

## 10-5. 横浜よさこいホーム 事務課

### ①職場環境の整備

- ▶ 事業所の窓口としてふさわしい接遇及び電話の対応を行なった。
- ▶ 各部署との連携（報告・連絡・相談）を図り、働きやすい明るい職場づくりを行えた。
- ▶ 事務作業の正確・迅速・効率化を図り、伝達ミスなど無く仕事を行えた。
- ▶ 4S（整理・整頓・清掃・清潔）を行い上下足の区別を周知を行えた。

### ②経費削減

- ▶ 消耗品の管理及び適正な購入を計画したが、消耗器具・事務消耗品費合わせ前年度19%増になり、課題を残した。
- ▶ 光熱水費の削減に向けた取り組みを行い、水道代は前年度対比4%の削減を行えたが、電気代は11%増となった。電気代に関しては、お湯が出ない現象がたびたび起こり、お湯の維持温度を上げたことが一因と考えられる。
- ▶ その他経費を削減するための提案及び取り組みを行い、日用品費の見直しを数度行い、削減を行った。

### ③法令遵守等

- ▶ 各種関係法令について、事業所全体での理解・周知・遵守に向けた取り組みを行い、法令違反などのミスを起こさなかった。
- ▶ 個人情報の保護に向けた取り組みの一環として、UTMを導入しデータ管理を徹底した。

### ④職員の資質向上

- ▶ 研修の活動支援を行い、交通費・日当を支給し研修を勤務とみなし支援をした。
- ▶ 職員の資格取得のための、資格取得費の補助を行った。
- ▶ 自己研鑽のための情報提供を行った。

### ⑤福利厚生の充実

- ▶ 職員の健康管理について支援するため、毎月腰痛予防などの情報を提供した。
- ▶ 職員交流会を行いやすくするため、補助金を提供した。

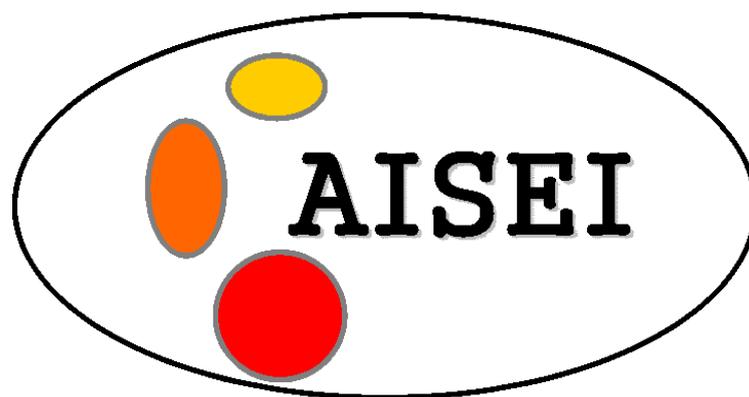
### ⑥期限厳守

- ▶ 提出物等の期限を厳守については各職種の協力と理解もあり、達成できたといえる。



宇和島市  
特別養護老人ホーム

# 祝の郷



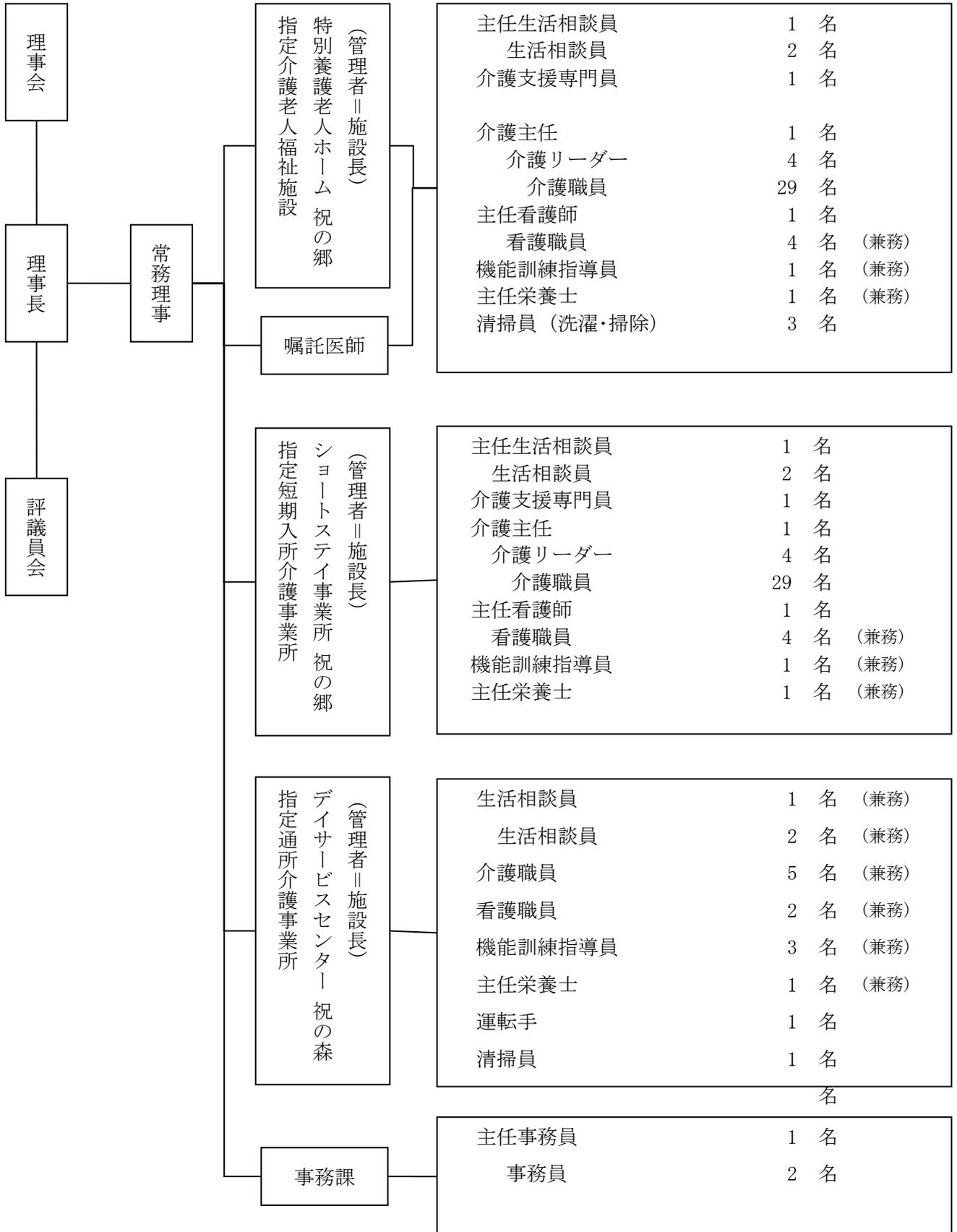
■特別養護老人ホーム 祝の郷

(短期入所生活介護)

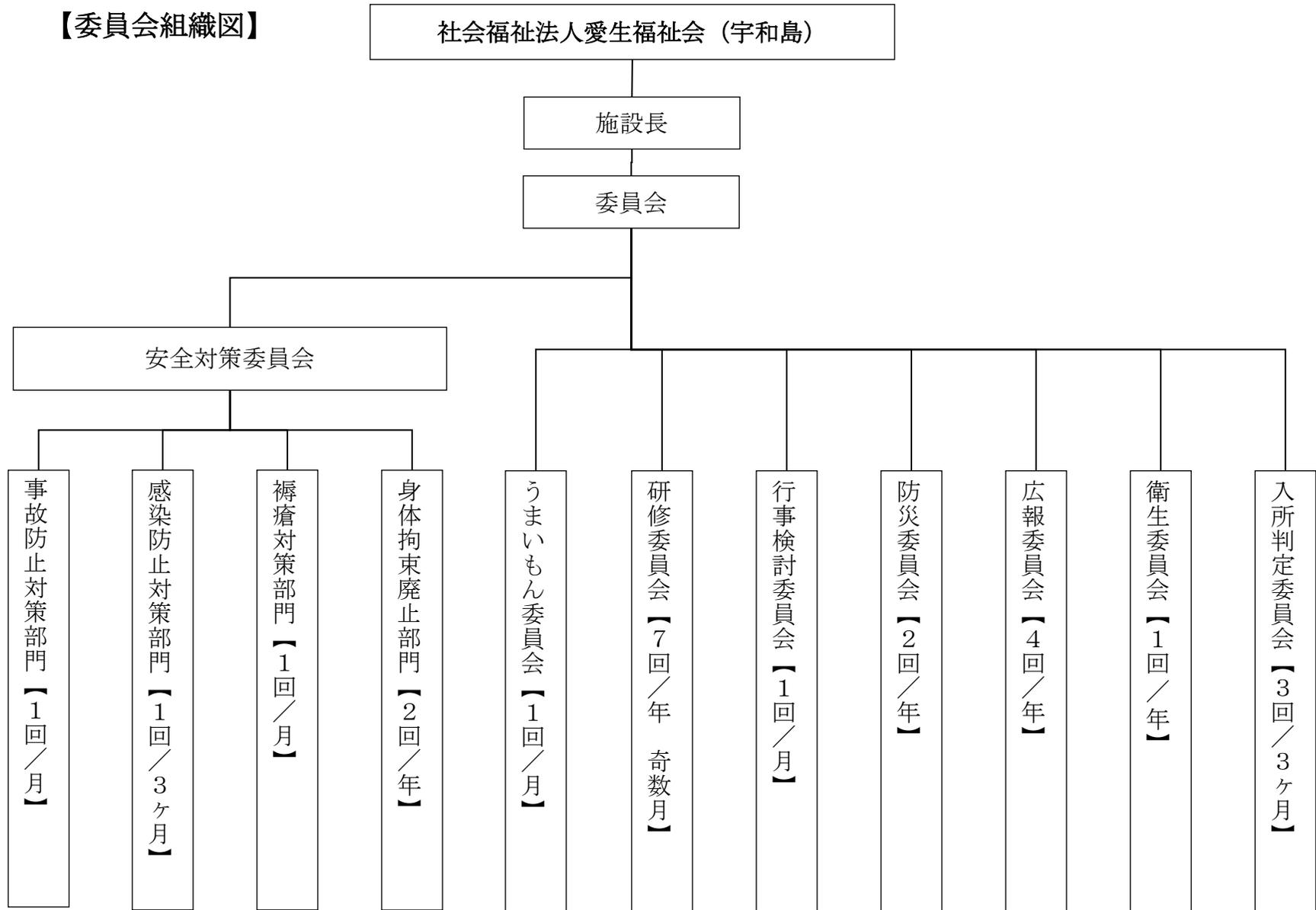
■デイサービスセンター 祝の森



社会福祉法人愛生福祉会（宇和島） 組織体制（平成30年3月31日現在）



【委員会組織図】



# 1 1. 宇和島事業拠点

【平成29年度 社会福祉法人愛生福祉会 宇和島事業部事業報告】

## [宇和島事業部の事業概要]

特別養護老人ホーム祝の郷においては、年間稼働率94.4%で前年より0.2%低下した。退所者が多く34名、入院者も多くあった。入居者の重度化に伴い、入居されて間もない方がお亡くなりになったり、また入院となったケースが多くあった。入退所に伴う空床は年間143日、1回あたりの空床は平均4日と短くなったが、出来るだけこの空床期間を短くすること、また入院が年間1,553日あったが、入居者の変化に早期に気づき、出来るだけ入院にならないような対応を行っていききたい。

職員の確保については、まだ十分とは言えないが、定着率は改善の兆しが見えている。今年度はパートを増員し、ピンポイント的に介護業務を担っていただく体制を整えつつある。

サービスの質の向上については、引き継ぎUビジョン研究所の研修を行い、また老施協関係が中心ではあるが外部研修にも出来るだけ参加している。研修で学んできたことがそのまま生かされる仕組みを整える。

働きやすい職場づくりの面では、介護職員の腰痛予防の観点から、一般浴に簡易リフトの導入を行った。また、子育て中の職員も多く、学校が長期に休みとなる場合に、施設で過ごせる場の提供を行った。今後とも、子育て中の職員に事業所としてなにか支援できるか、職員の声も聴きながら、柔軟に対応していく。

# 11-1. 特別養護老人ホーム 祝の郷

## 1. 入居者数（定員：80名）

▶毎月初日の入所者数及び毎月の入居者数及び退居者数

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
初日入居者数	80人	80人	80人	80人	79人	80人	80人
月延べ入居人数	2,300人	2,360人	2,262人	2,285人	2,297人	2,232人	2,348人
入居比率	95.83%	95.16%	94.43%	92.14%	92.62%	93.00%	94.68%
入居者数	1人	2人	3人	0人	4人	3人	3人
退居者数	1人	2人	3人	1人	3人	3人	3人
項 目	11月	12月	1月	2月	3月	集計結果	
初日入居者数	80人	80人	79人	80人	80人	平均79.83人	
月延べ入居人数	2,297人	2,378人	2,282人	2,147人	2,384人	27,572人/75.54人	
入居比率	95.71%	95.89%	92.02%	95.85%	96.13%	94.42%	
入居者数	3人	1人	5人	6人	2人	33人	
退居者数	3人	2人	4人	6人	3人	34人	

○平成29年度は、延べ27,572人の入居日数で、月平均延べ入居人数は2,297.67人、1日平均では75.54人の入居実績であった。

○退居の理由は、他の介護保険施設等への入居1名、病院で長期入院が必要となった8名、死亡退居25名でその内訳は施設内看取り11名、病院死亡14名であった。

## 2. 年齢構成・男女比

▶平均30年3月31日現在（79人）

年 齢	男	女	合計（人）
95歳以上	3	8	11
90歳～95歳未満	5	19	24
85歳～90歳未満	5	12	17
80歳～85歳未満	4	12	16
75歳～80歳未満	0	3	3
70歳～75歳未満	3	2	5
65歳～70歳未満	2	1	3
65歳未満	0	0	0
計	22	57	79

○男性平均84.50歳、女性平均87.84歳、全体平均86.91歳

○最高103歳・最低67歳

### 3. 要介護度

▶平成30年3月31日現在 (79人)

介護度	男	女	合計(人)	比率(%)
要介護1	0	3	3	3.8
要介護2	2	5	7	8.9
要介護3	6	10	16	20.3
要介護4	9	17	26	32.9
要介護5	5	22	27	34.1
計	22	57	79	

○平均介護度3.85。要介護1及び2は10人であった。

### 4. 食事、入浴、排泄、以上などの全介助、一部介助、自立の状況

▶平成30年3月31日現在 (人)

項目	自立	一部介助	全介助	合計
食事	44	12	21	77
入浴	1	29	47	77
排泄	6	24	47	77

○2名入院中。

### 5. 認知症の分類

▶平成30年3月31日現在 (人)

認知症分類	男	女	合計
アルツハイマー型認知症	3	11	14
レビー小体型認知症	1	2	3
脳血管性認知症	3	7	10
混合型認知症	0	1	1
認知症	3	15	18

○入所時健康診断提出時の認知症診断者46名、全体の57.5%である。

▶認知症自立判定度(平成30年3月31日現在) (人)

なし	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
0	6	5	7	30	11	16	4

○認知症自立判定度Ⅲ以上は、3月末日時点で77.2%であった。

### 6. 医療的ケアの必要な人の受け入れ状況(年間) (人)

医療的ケア内容	男	女	合計
経管栄養(胃ろう・経鼻)	2	4	6

在宅酸素	0	0	0
インシュリン	0	4	4
バルーンカテーテル	0	1	1
定期的な吸引	1	2	3

○今後夜間帯に吸引が必要となってくる入居者も増える傾向にあり、今後介護職員吸引研修や夜間帯の吸引対応が出来ない等の課題がある。

## 7. 入院状況（入院回数、日数など）

(人)

月	入院した入居者数	延べ入院日数	内科	整形外科	脳神経外科	その他
4月	3	44	3	0	0	0
5月	8	169	5	0	2	1
6月	8	132	5	0	3	0
7月	7	248	5	2	0	0
8月	5	161	5	0	0	0
9月	8	162	7	0	1	0
10月	2	25	1	0	1	0
11月	7	117	7	0	0	0
12月	7	152	5	0	2	0
1月	7	160	4	1	1	1
2月	7	163	7	0	1	0
3月	3	20	3	0	0	0
合計	72	1,553	57	3	10	2

○最も長い入院期間は73日間、平均入院日数は21日間。

○最も診断名が多かった疾患は誤嚥性肺炎が全体の34%、肺炎が7%であった。入院した入居者数72名に対して内、定期的な胃瘻交換での入院した入居者数は15名である。また、救急搬送の割合は、全体の30%であった。

## 8. 他の医療機関の受診状況

(人)

月	内科	外科	整形	皮膚科	眼科	脳外科	泌尿器	その他
4月	22	2	2	3	3	0	4	5
5月	20	1	3	1	1	3	3	2
6月	21	3	3	1	1	1	1	1
7月	24	2	4	1	0	1	1	5
8月	40	0	2	2	1	0	1	1
9月	23	2	2	5	1	1	2	3
10月	24	2	3	1	2	1	2	1
11月	24	0	3	0	0	0	3	2
12月	23	2	2	0	2	2	2	3

1月	24	1	3	1	1	0	1	2
2月	23	4	3	0	0	0	2	2
3月	17	1	4	0	0	1	1	1
合計	285	20	34	15	12	10	23	28

○定期的な受診（外部、嘱託医等）を行っている入居者は全体の61%であった。

## 9. 職員の体制

▶平成30年3月31日現在

(人)

雇用形態	職 種	年度当初 (休職者)	採用者数 (異動)	退職者数 (異動)	年度末人 員 (休職者)	基準	
常 勤	施 設 長	1	0	0	1	1	
	事 務 員	3	0	0	3	—	
	介 護 職 員	32	13 (1)	8(1)	34 (1)	3 : 1	24
	看 護 職 員	6 (1)	0	1	5(1)	合計 27	3
	生 活 相 談 員	2	1	0	3	1	
	栄 養 士	1	0	0	1	1	
	介護支援専門員	1	(1)	(1)	1	1	
	機能訓練指導員	1	0	0	1	1	
非常勤	清掃員 (洗濯)	2	0	0	2	—	
	清掃員 (掃除)	1	0	0	1	—	
合計 (実人員)		49 (1)	13 (2)	9 (2)	51(1)	32	

※ (休職者) の人数は産休・育休、病欠中的人数。

※今年度は、高校卒業生を2名採用

## 10. 行事年間計画の実施報告

月	行事内容 (全体)	行事内容 (グループ)
4月		
5月	避難訓練	外出レク (だんだん)
6月		昼食作り (鶴城)、タコ焼きパーティー (ハツ鹿)、南楽園外出 (だんだん)、梅ジュース作り (だんだん)、昼食作り (だんだん)
7月	流しそうめん、地方祭	昼食作り (ハツ鹿)、夕食作り (宇和海)、かき氷作り (だんだん)
8月	納涼祭	ドライブ (ハツ鹿)、昼食作り (だんだん)
9月	敬老会	外出レク (鶴城)、ドライブ (ハツ鹿)、パンナコッタ作り (宇和海)、
10月		ドライブ (ハツ鹿)、ハロウィンパーティー (宇和海)、夕食作り (宇和海・だんだん)

		ん)、外出レク (だんだん)
11月	避難訓練	昼食作り (ハツ鹿)、昼食作り (だんだん)
12月	忘年会、餅つき	甘酒作り (鶴城)、クリスマスケーキ作り (ハツ鹿・宇和海・だんだん)、
1月	鏡開き	カップケーキ作り (宇和海)
2月	節分 (豆まき)	買い物 (鶴城)、ドライブ (ハツ鹿)、バレンタインチョコ作り (宇和海)、昼食作り (だんだん)
3月	ひな祭り	ひな祭りデザート (宇和海)、梅まつり (だんだん)

### 1.1. ボランティアの活動内容

- ・毎年恒例となっている、祝森地区の地方祭へ施設より2名の担ぎ手で参加させて頂き、地域住民の方々との交流する事が出来た。子供神輿に関しては、施設職員が親子で参加しており玄関先で「ワッショイワッショイ」と元気よく掛け声をかけながら神輿を揺らしている所を、利用者様へも見て頂く事が出来た。
- ・納涼祭イベントには、恒例となったよさこい踊りチーム団体他 (約50名) の方々と、スタッフボランティアとして19名に参加して頂き3回目の祭りも利用者・家族・地域の方々に楽しんで頂く事が出来た。

### 1.2. 委員会・会議の年間計画の実施報告

委員会・会議名	内容等	開催回数
安全対策委員会	—	—
事故防止対策部会	事故予防等	12
感染症・食中毒まん延防止対策部会	感染・食中毒予防等	8
褥瘡対策部会	褥瘡防止対策等	12
身体拘束廃止部会	身体拘束廃止等	2
高齢者虐待廃止部門	高齢者虐待廃止等	2
うまいもん委員会	行事食・改善事項等	6
行事検討委員会	行事計画・実施等	11
広報委員会	広報誌発刊計画等	4
入所判定委員会	入居順位決定	6
経営会議	施設全体の課題検討等	12
特養運営会議	特養に関する課題検討等	11
短期運営会議	短期入所に関する課題検討等	2
リーダー会議	リーダー会議	12
グループ会議	介護グループの方針等	43
	看護の方針等	3
	通所の方針等	6
納涼祭実行員会	第3回祝の納涼祭に関する事	8

### 1.3. 職員の教育研修の実施状況

#### ■外部研修

(人)

日 程	内 容	職 種	参加人数
4月10日	高齢者の摂食・嚥下リハビリテーション	栄養士	1
4月20日	南予地区老人福祉施設連絡協議会 第1回総会・施設長研修会	施設長	1
4月21日	愛媛県老人福祉施設協議会 第1回研修員会	施設長 生活相談員	2
4月28日	愛媛県老人福祉施設協議会 第1回総会・施設長研修会	施設長	1
5月16日	愛媛県老人福祉施設大会	生活相談員 介護職員 栄養士 事務職員	4
5月24日	新規学校卒業予定者を対象とする求人等説明会	事務職員	1
5月29日	南予地区老人福祉施設連絡協議会 研修委員会（打合せ）	施設長	1
6月2日	会計処理について（寿楽苑）	施設長 事務職員	4
6月6日	ポジショニング（拘縮・褥瘡予防）研修会	介護職員	1
6月9日	コミュニケーション向上研修会	介護職員 看護職員	2
6月9日	算定基礎届事務講習会	事務職員	1
6月27日～ 7月1日	社会福祉主事資格認証講習スクーリング	生活相談員	1
6月29日～30日	四国老人福祉施設関係者研究大会	施設長 介護職員 栄養士	3
7月15日	管理職員研修会	介護職員	1
7月22日	第1回デイサービスセンター職員研修会	生活相談員	1
7月26日～27日	社会福祉会計簿記講座	事務職員	1
7月27日	南予地区老人福祉施設連絡協議会 研修委員会（打合せ）	施設長	1
8月4日	福祉就職セミナー2017	生活相談員 事務職員	2
8月22日	ターミナルケア研修会	介護職員 看護職員	3
9月1日	南予地区老人福祉施設連絡協議会 施設長研修会	施設長	1

9月5日	口腔ケア研修（なかやま幸梅園）	介護職員 看護職員	3
9月19日	口腔ケア研修（なかやま幸梅園）	生活相談員 介護職員	3
9月19日	南予地区老人福祉施設連絡協議会 研修委員会（打合せ）	施設長	1
9月19日	口腔ケア研修（なかやま幸梅園）	生活相談員 介護職員 栄養士	3
9月27日	「力のいらない介護の技術室」研修会	介護職員 （施設長）	2（1）
10月3日	施設における事故防止研修会	介護職員 （施設長） （生活相談員） （介護職員） （事務職員）	2（5）
10月17日～18日	全国老人福祉施設研究会議（高知県）	生活相談員 介護職員 看護職員 事務職員	4
10月23日～27日 12月14日	愛媛県認知症介護実践者研修	生活相談員	1
10月21日	看取り研修	看護職員	1
11月6日	テレビ・プッシュ使用説明会	事務職員	1
11月13日	介護技術向上研修会	介護職員 （施設長）	2（1）
11月16日～17日	Uビジョン研究所トップセミナー	生活相談員 介護職員 栄養士 事務職員	5
11月25日	介護の日イベント	生活相談員	2
11月28日	施設ケアマネジメント研修会	介護支援専門員	1
12月1日	ケアマネ研修（しいのき園）	生活相談員 介護支援専門員	2
12月12日	合同説明会 in なんよ	事務職員	1
12月25日	愛媛県老人福祉施設協議会 研修委員会（打合せ）	生活相談員	1
1月27日、2月10日 ～12日、2月17日 ～18日、3月10日 ～11日	介護支援専門員更新研修会	介護職員	1

1月24日	南予地区老人福祉施設連絡協議会 研修企画委員会	生活相談員	1
2月14日	社会福祉施設総合保険制度説明会	事務職員	1
2月23日	障害者雇用納付金制度事務説明会	事務職員	1
2月27日	介護技術等研修会	介護職員 (施設長)	2 (1)
3月8日	南予地区老人福祉施設連絡協議会 第2回総会・施設長研修会	施設長	1
3月19日	愛媛県老人福祉施設協議会 第2回総会・施設長研修会	施設長 (生活相談員)	1 (1)

※ ( ) 県・南予老施協研修委員の参加

■内部研修

(人)

日 程	内 容	参加人数
4月10日	接遇マナー	25
4月21日	会計処理について (札掛の里)	1
4月24日	基本理念に対する共通理解 職員全体会議 (平成28年度 事業報告について)	32
4月27日	環境整備について (豊寿園)	1
4月28日	会計処理について (札掛の里)	1
5月10日	認知症基礎知識について	16
5月18日	会計処理について (札掛の里)	1
6月22日	障害者雇用について (豊寿園)	1
6月26日	相談員情報交換研修 (横浜よさこいホーム)	1
7月10日	研修発表	20
7月18日	デイ職員研修 (札掛の里)	2
7月23日	交流研修会 (横浜よさこいホーム)	3
8月21日	事故防止対策について	20
9月11日	グループ研究発表	32
10月4日～5日	ケアマネ研修会 (豊寿園)	2
10月13日	褥瘡の知識について・感染防止対策について	28
10月27日	医療法人互生会・社会福祉法人愛生福祉会 合同研修会	3
11月11日～12日、 15日	会計処理について (札掛の里)	1
11月29日	介護技術について	25
12月11日	研修発表	28
1月10日	理事会 (本部)	1
1月18日	環境整備について (豊寿園)	3
1月26日	お年寄りと一緒に元気になる介護「楽ワザ介護」をしよう!	25
2月9日	ケアマネ研修 (札掛の里)	2
2月13日	事故防止対策について	23

3月12日	グループ研究発表	26
3月12日	会計処理について（札掛の里）	1
3月20日	理事会（本部）	1
3月26日	職員全体会議（平成30年度 事業計画について）	32

○新任職員研修

（人）

日 程	内 容		参加人数
4月4日	Uビジョン 研究所研修	憲法・社会福祉法・老人福祉法・ 介護保険法・法人理念について	3
		介護職員に求められるリスクマネジメントとは	
		記録の書き方について	
		介護職員に求められるサービス・マナー	
4月5日	Uビジョン 研究所研修	高齢者虐待防止法と身体拘束廃止について	3
		高齢者の心理と特徴・疾病について	
		感染症と食中毒について ～理論と実践～	
		ターミナルケアについて	
4月6日	Uビジョン 研究所研修9	認知症ケアの原則と現状と課題 ～人を理解するという事・ありのままを受け入 れるということ～	3
		ユニットケアとは：生活の基本	
4月1日	介護職員（特養）、介護職員（通所）		4
4月21日	看護職員（特養）		1
6月16日	介護職員（特養）		1
7月3日	看護職員（特養）		1
8月1日	介護職員（特養）		2
9月1日	生活相談員（特養）		1
9月26日	介護職員（特養）		1
11月20日	介護職員（特養）		1
1月30日	介護職員（特養）、介護職員（通所）、看護職員（通所）		3
3月1日	介護職員（特養）、介護職員（通所）		2

- ・新任職員Uビジョン研修を豊寿園で合同にて実施する。
- ・入職時、随時実施する。

○Uビジョン研究所研修

- ・4月12日～14日、7月12日～14日、9月6日～8日、11月20日～22日、1月30日～2月1日 に実施

○防災訓練

- ・定期的な防災訓練（今年度は自動通報装置を使用した訓練）を実施できた。又、風水害（土砂災害）の避難訓練も実施できた。来年度は緊急連絡網の訓練も行い活用できるように検討が必要。
- ・消火訓練（水消火器・屋内消火栓）も実施する。屋内消火栓の使用方法が分からない職員もいた。今後使用方法の研修も実施していく必要がある。

## 1.4. 各部門報告

### 【生活相談員】

- ① 生活相談員業務を整理し、柔軟な対応が行える体制づくりに努める。
- ② 社会福祉主事講習を修了させ、専門職としての知識を身につけ活用できるよう努める。
- ③ 施設内での他職種との連携強化を図る。
- ④ 生活相談員間（長期・短期・デイ）での細やかな連携を図れる体制づくり。
- ⑤ 地域との関わりを持ち連携を図れるよう努める。（勉強会・集会参加・地域祭など）

#### <評価>

- ①生活相談員として、業務整理に関しては現在も行っている最中であり継続している。  
入退所に関しては、出来るだけスムーズな対応を図れるよう対応し、受入までに1週間以内での入所にもつなげてきたが、施設全体として対応労力が足りておらず介護・看護の個々の動きとしては不十分な点はまだある。  
※入退所時の対応力。退所時の対応。相談等について、細かい対応も今後必要とする。
- ②主任生活相談員としては、社会福祉主事講習も無事に最終試験・講習、終了となった。今後も、生活相談員として地域での集いや研修・講習は積極的に参加したいと思います。
- ③生活相談員の役割として、全体把握には努めているが最近の傾向として医療的な事に関して問題点等があり判断等難しく、看護との連携若しくは看護主体としての動き方でのサポートが望ましい事もあり、今後の課題である。
- ④長期・短期入所の関わりはそれぞれの役割を把握しながら行えている。デイ・ショート利用や利用者の方に関しては、ショートステイ生活相談員～デイサービス主任生活相談員で相談や受け入れなどの把握にも努め、その都度対応する事が出来ているが完全な状態ではない為、今後も努力が必要である。
- ⑤来年度について、地域との交流を図れるスペースづくりの強化を行っていく。  
※カフェや居酒屋など入居者が利用できる事はもちろんだが、地域の方も利用が行え入居者・家族・地域の方々との交流も出来るような取組を行って行きたいと考えています。  
※落ち着いた空間で家族の時間を過ごせるような対応も行えるようになると思います。

### 【介護支援専門員】

- 入居者が持つ、日常生活上の能力や課題を明らかにして生活全般に配慮したプラン作りを行っていく。
- 入居者の思いを引出すために、入居者や家族とのコミュニケーションを図り信頼関係づくりや情報収集を行う。
- 他職種から、専門的な意見を求め調整を図ながらチームケアが確立できるよう取り組んでいく。
- 知識習得の為、研修会や勉強会に参加しスキルアップを目指す。

#### <評価>

- ①日々のケース記録を確認し、変化や気付きがあれば様子を確認するよう心掛けた。介護保険更新時の、調査には立ち会い具体的な様子の把握、思いを引出せるように関わりながらケアプラン作成に取り組んだ。しかし、入居者との十分な関わりが持っていない現状もあるので、職種間とのコミュニケーションを図りながらモニタリングやアセスメントからの情報についても今後より充実できるようしていきたい。
- ②家族の方の来訪時や介護保険の更新手続き時に、生活状況をお知らせするなどの情報提供を行い話しやすい雰囲気作りを心掛けている。今後も継続して、家族の心情を引出せるような関係づくりを行いケアプランに反映していきたい。

### ③担当者会議

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	12人	10人	14人	12人	9人	10人
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16人	21人	18人	13人	10人	18人	163人

- ・退院時 32人/年
- ・入所時 33人/年
- ・毎月、担当者会議を開催し他職種との情報共有や意見交換を図り、退院時は医療機関からの情報提供を受け、ケアプランの見直しや入所時は面接を通して他職種へ情報提供に努めた。

④介護支援専門員更新研修、Uビジョン研究所による研修や施設内研修に参加し知識の習得に努めている。今後の、施設での取り組みに活かせるように活かしていきたい。

### 【介護職員】

- 施設の基本理念に基づき、意識を高め個別ケア・質の向上を図る。
- 1) 介護職員のスキルアップ
    - ①入居者の豊かな生活の提供に向けて、個々のスキルアップと研修等で知識を得る事に積極的に取り組んでいく。
    - ②家族や入居者の思いに寄り添い、心豊かな生活を提供していく事を目指す。
  - 2) コストダウン
    - ①効率的な備品の活用を職員全員で考える。
    - ②節電等に対して職員全員が関心を持ち、取り組む事でコストダウンを目指す。
  - 3) 介護記録の質の向上
    - ①日頃の介護記録を通して、入居者の生活の様子が家族及び、第三者にもよくわかるように介護記録について、常に意識する。
  - 4) 風通しのよい働きやすい職場作り
    - ①職員間で気兼ねなく、意見交換が出来る環境を目指し、働きやすい職場作りに全職員で取り組んでいく。
- グループごとに目標を設定し、個別ケアに努める。

### <評価>

- 1) ①研修参加等で、知識・技術を学んでもらい、中には個人的に知識を得た職員もいると思います。その知識や技術を実際に現場で更に活かせることができれば、その事にもっと積極的になれれば、現場全体のスキルアップに更に繋がると思うので、今後取り組んでいきたいと思っています。
  - ②入居者との関わり方ひとつで、入居者やその家族に心豊かな生活の提供ができる事に近づけるとしています。その点では全職員が、しっかり意識ができていたとは言えないと思います。今後は、職員全員が意識できるように取り組んでいきたいと思っています。
- 2) ①職員全体で意識をして取り組まないと大きな成果は出ないと思いました。少しずつ意識は変わってきましたが、職員一人ひとりが意識できないように感じました。今後は、職員全員が意識できるように取り組んでいきたいと思っています。
  - ②介護用品の使用手法等、見直しを繰り返しながら取り組めた部分もありました。今後は、それに対して職員一人ひとりが意識していけるように取り組んでいきたいと思っています。
- 3) ①少しずつではあるが、記録に対しての知識は変わってきたと思います。ですが、職員一人ひとりが更に意識できるようにしていきたいと思っています。

- 4) ①介護現場、グループ間で意見交換ができていく環境もあったと思います。冷静な話し合いという部分で不足していた場面もあったように思います。今後は、そういった事がなく意見交換が行えるようにしていきたいと思います。

#### ●鶴城通り

- |  |
|--|
| <p>①入居者個々に合った介助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・長期目標：入居者に楽しみのある生活を提供する。</li><li>・短期目標：個々で楽しめるレクリエーションの提供。</li><li>・短期目標：季節にあった環境整備。</li></ul> <p>②マニュアルに合わせて業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・長期目標：業務の改善、周知徹底。</li><li>・短期目標：業務マニュアルの再作成。</li><li>・短期目標：報告、連絡、相談の徹底（申し送りノートの再作成）。</li></ul> |
|--|

#### <評価>

- ①入居者個々に合った介助を行う。
- ・個々のケアプランの一覧表の作成周知を行うことにより、個々に合った介助を行っていただけるようになったが、入居者個人の状態やインフルエンザなどの環境面での状況により行えていない時もあった、職員間で入居者の情報を共有していき、入居者の入れ替えも多かった為今後も入居者個々に合った介助を行っていく必要がある。
  - ・季節にあった環境については季節感を出せるよう職員が協力して行っていたが満足の結果とは言えず、今後も入居者が済みやすい環境づくりを行っていく。
- ②マニュアルに合わせて業務を行う。
- ・業務についてのマニュアルのファイリングを行い常に閲覧できる状態にすることにより各職員業務内容の再確認を行えた、毎月初めに業務内容の再確認の声掛けを行い周知徹底出来る様にしていった。
  - ・職員の入れ替えや業務内容の見直しにより浸透していくまでに時間がかかっていたが、現在は時間時間で個々の業務内容の把握が出来ており、協力体制も徐々に出来だしている。  
入居者の変化に伴い業務内容の見直しは必要と感じた。
  - ・報連相の方法の見直しを行い申し送りノートの作成、各入居者についての情報の共有についても見直し行い必要な情報については見直し行えるようにしていった、報連相の漏れもあったが、比較的以前よりは行えだしている、今後はもっと分りやすく確実に報連相を行っていく必要があると感じた。

#### ●ハツ鹿通り

- |   |
|---|
| <p>①レクリエーションを通して、入居者に楽しみを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・レクリエーションを通してひとつでも楽しみや笑顔を増やしていく。<br/>職員それぞれが積極的にレクリエーションに取り組む。</li><li>・楽しみながら行える内容、雰囲気作りをグループ職員で検討・実践していく。<br/>職員同士で協力し、雰囲気作りに取り組む。</li></ul> <p>②声掛け・意見交換等を行い風通しの良い職場を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・職員全員で風通しを意識し、更なるチームワーク作りを目指す。</li><li>・入居者に安心・安全を提供できるように、情報共有や情報伝達を確実にを行い、全職員で意思統一に努める。</li></ul> |
|---|

## <評価>

- ①年間を通して身体を動かすレクは行う事が出来なかったが個別にボール遊びや塗り絵等は行う事が出来た。  
おやつ作り等は施設計画が無い月は積極的に行う事が出来た。  
雰囲気は良くなり皆が協力して行えたが、業務に追われ職員の笑顔が見られなくなってきているので今後の課題。
- ②意見はグループ会以外でも提案と同じく積極的に出て来た。皆、分け隔てなく意見を言えるようになってきている。  
チームワークも良い方向に向かってきている。他の職員のカバーも行えているが、抜けもある為、今後は全職員が全体を把握できるようにして行く。  
利用者の情報は、申し送りノートの活用や伝達が行えており、その都度変更や臨機応変に対応する事が出来た。

## ●宇和海通り

- ①チームアプローチの向上。
  - ・入居者の生活の自立やQOL（生活の質）の向上に向けてアプローチするなかで、介護職員としてその特徴を活かしながら関わりを持っていく。
  - ・報告、連絡、相談をグループ内はもちろんの事、他グループ職員、他職種ともしっかりと行い、連携強化に努める。
  - ・個々人が与えられた役割を果たし、責任を持って業務を行っていく。
- ②プライバシーの配慮と居心地の良い居住空間を作っていく。
  - ・プライバシーに配慮した安心出来る環境を作っていく。
  - ・働きやすい動線の確保と家具の位置などに配慮し安全に生活できる空間作りを行っていく。
  - ・インテリア、植物、写真や思い出の品等を置き、居心地の良い空間を作っていく。

## <評価>

- ①・報連相について、申し送りノートとは別に、重要書類観覧所も作り、個人に責任感の向上、自覚を促すためにも、初めに説明はするが、見えていない部分があれば自己責任とすることを決め、そうすることで職員以前よりは積極的に申し送りノートは見ている様子である。報告、連絡はできているが、相談をしたり、介護主任にも内情を伝え、メンタル面等の面談もしていただいている。
  - ・他職種連携について食事介助等で積極的に連携は摂っているが、職員が応援に頼りすぎる部分も見られる。先ずはグループ職員がグループ内のことはしっかり把握して対応していかなければならない。
- ②・居室の戸締りなど基本的な部分は出来てきた。
  - ・環境整備について、特に女性職員が積極的に取り組んでいただいている。グループ内に環境整備テーマを決めたことによって、目的を明確にすることが出来ている。入居者や家族が以前よりも足をとめ、壁の飾り物等を見ていくことも増えており、重度化はあるが、全体的に入居者の精神面は落ち着いてきたと思われる。
  - ・今後は職員の積極的取り組み、技術、意欲向上が必要である。

## ●だんだん通り

- ①入居者一人一人に合ったケアの提供を行い、専門職としての知識・技術の向上を目指します。
  - ・入居者の目線で、入居者の立場に立った対応を行っていく。
  - ・プロ意識を持ち、言葉遣いや気遣いを心掛け専門職としての質の向上を目指す。
  - ・職員間での情報の共有を密に行い、チームで仕事をしている事を自覚し、職員同士で協力し気持ちの良いケアを心掛ける。
- ②より良い環境の中で、生活の質の向上に努めます。
  - ・フロアや、廊下等の季節感や環境整備を継続し、居室内の整備整頓・掃除等を充実させ、気持ちの良い環境の中で過ごして頂く。
  - ・個別のレクリエーションを取り入れレク活動の充実。
  - ・入居者・家族が意見や要望を気軽に話せる環境を作り、入居者の状態の変化をいち早く察知し柔軟な対応を行い、他職種との連携の強化に努める。

### <評価>

- ①ケアプランに沿った介護サービスの提供は意識的に行えた部分もあれば、出来ない部分もあった。入居者に寄り添う事は出来ている部分も多かったが、介護のプロとしての接し方が出来ていたかは、まだまだ研鑽が必要と思われる。
- ②環境整備は各職員が意識を持ち季節ごとに行えた。但しやりたい事が有ってもマンパワー不足もあり出来ない事もあった。居室内も全居室とはいかないが、家族に許可を頂き、趣のある環境整備を取り入れる事も出来た。  
レクは個々の入居者に合ったレクを行ったり、外出やクッキングレク等行う事が出来た。マンパワーを整えばさらに回数を増やしていきたい。

### 【看護職員】

- 入居者が健やかで快適な生活をしていただくため他職種と連携を図り日常生活の中から状況の変化を的確に捉え、疾病の早期発見、早期対応に努めます。
  - ・心身機能の低下予防、異常時の早期発見、早期対応に努め入院者を最小限に抑え、稼働率の維持向上を図る。
  - ・集団生活の場であることから、感染症が流行する可能性があり、その対策として日常生活の中で環境整備や換気を充分行い、手洗いの徹底、うがいの励行に心がける。
  - ・入居者・家族の介護観に重点を置き、その人らしさを大切にできるよう医師へ情報提供し内服薬の調整等を行う。
  - ・夜間帯の対応として介護職員が不安にならないよう日中の状態を把握し退勤時に対応方法等の説明を行い不安の軽減を図れるようにする。
  - ・入居者だけではなく、入居者の身体的状態の変化時等に家族への情報提供は勿論の事、家族の想いも表現していけるようにコミュニケーションを図る。

### <評価>

- ・救急搬送については前年度と比較し10%減少している。早期発見し嘱託医へ状態報告後指示受けし受診等の対応を行ったが、夜間帯に急変し救急搬送を行ったケースもある為、医師との情報共有や他職種間での連携を密に取り把握し繋げていけるよう連携を行っていききたい。
- ・入居者のインフルエンザ発症1名に留まり早期の隔離対応等により蔓延に至らなかった。各グループにより換気の徹底や手洗い、手指消毒の徹底により防ぐ事ができた。
- ・生活状況の中で介護職員との連携をとり嘱託医へ状態報告を行い、その人らしさを大切にできるよう、又は

入居者への身体的負担を考えながら内服薬の調整が行われていた。

- ・夜間帯用のバイタル表を作成し測定出来るようまた予測指示も出ておりオンコール率は徐々に減ってきている。
- ・入居者の身体状態に応じて受診が必要であるか判断し家族へ状態報告行い、治療方針等の検討が家族の想いを組みながら対応が出来ていた。

## 【栄養士】

- 入居者の食事摂取状況、身体状況、健康維持等に応じた食事面からの生活維持、向上を目指す。
- 栄養面に配慮した季節感のある食事作りを基本に個々の食事形態にあった食事提供を目指す。
- 楽しく食事ができるよう行事食の取り入れや、季節の移り変わりが感じられるメニューも取り入れた食事提供を目指す。
- 入居者の意思や嗜好を反映した食事提供を目指す。
- 衛生面では安心かつ安全な食事を提供できるよう努める。

## <評価>

食事時間は、朝食AM7:30、昼食PM12:00、夕食PM5:45に「あたたかいものはあたたかいうちに」「冷たいものは冷たいままに」という配慮から温冷配膳車使用にて提供している。楽しく食事できるように、季節の行事食の他に栄養士の手作りおやつを行い、目の前で作る様子を見て頂いたり、匂いを感じてもらいながら楽しんで頂いている。その際、お手伝いできる方には参加してもらい一緒に行っている。

## <内容>

4月	桃の節句献立、お花見弁当 (手作りおやつ)	どら焼き
5月	端午の節句献立	プリンアラモード
6月	松花堂弁当	ホットケーキ
7月	祝森地方祭	かき氷
8月	精進料理	おはぎ
9月	敬老会(お祝い御膳)	みたらし団子
10月	行楽弁当	
11月	行楽弁当	たこ焼き
12月	忘年会(にぎり寿司御膳)、 クリスマス献立、もちつき、 年越しそば	クリスマスケーキ
1月	雑煮、七草粥、鏡開き	白玉ぜんざい
2月	節分献立	大根もち
3月	雛祭り献立	苺大福、たこ焼き

以上は、栄養士による月間予定献立表により、カロリー・栄養価を配慮して行われているが、時には身体状況、疾病等による医師の指示に基づく特別食も実施している。また、特に刻み菜・極刻み菜の形態で食べられる方は、咳込みが見られると誤嚥性肺炎が起きることも考えられる為、厨房にてトロミをかけて提供している。

## 【事務員】

- 1) ムダな支出を見直し、経費削減を図る。
  - ①財務・経理、給与・労務等についての事務処理と管理を適正に行う。
  - ②預かり金についての事務処理と管理を適正に行う。
  - ③介護報酬や利用料金の請求についての事務処理と管理を適正に行う。
  - ④物品の発注や購入、支払についての事務処理と管理を適正に行う。
  - ⑤電気、燃料等の使用状況を常時把握し、省エネの啓蒙を推進する。
- 2) 業務内容の見直しにより業務効率化を図る。
  - ①施設の窓口としてのイメージを大切にし、外来者や電話の応対は親切丁寧を心がける。
  - ②職員が安心してそれぞれの専門業務に専念できるよう、健全な労働環境の維持と改善を図る。
  - ③研修会や説明会に積極的に参加し、必要な知識技能の習得を図るなど、常に自己研鑽に努める。

## <評価>

- 1) ①財務・経理について書式を追加する事により適切に処理が行なえた。
  - ②預り金は適切に処理を行い3ヶ月に1回家族へ出納帳を送付している。
  - ③介護報酬・利用料の請求処理を適切に行えた。3月には電子請求へ移行となる。
  - ④物品管理を適切に処理が行なえた。
  - ⑤使用状況は把握して省エネに努めたが、現状使用料が増えてしまった。
- 2) ①出来ていない職員には指導を行うが、まだまだ足りない部分がある。
  - ②通院時等の準備、緊急時の対応、または、通院・短期入所などの送迎介助（運転手）も実施し、他職種の職員の業務補助を行えた。
  - ③他施設の業務の進め方、社会福祉施設会計の研修にも参加し知識技術へ努めた。

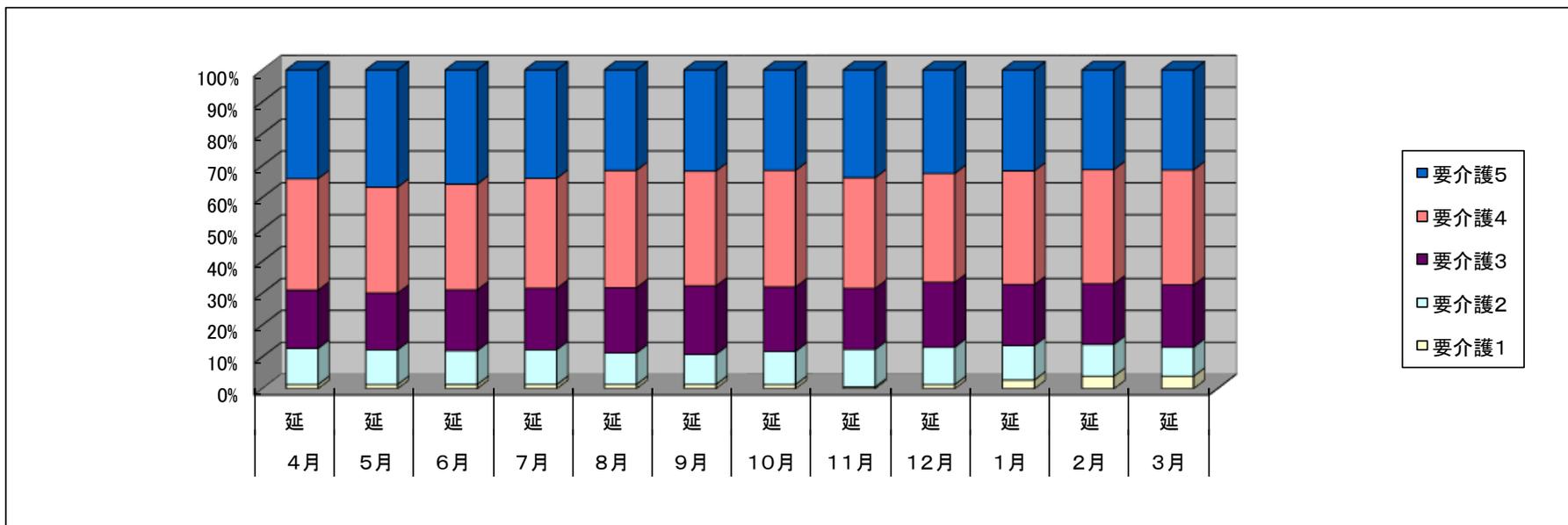
# 11-1. 特別養護老人ホーム 祝の郷 実績表(平成29年度)

単位:人

80床	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実
要介護1	30	1	31	1	30	1	31	1	31	1	30	1	31	1	13	1	31	1	62	2	84	3	93	3	497	17
要介護2	261	9	257	9	240	8	248	8	227	8	210	8	243	8	270	9	279	9	247	8	215	8	217	7	2,914	99
要介護3	420	14	420	14	431	15	441	15	470	16	480	16	475	16	440	15	484	16	437	17	408	16	466	16	5,372	186
要介護4	804	27	784	28	750	28	788	28	844	30	803	30	859	31	797	30	812	29	813	30	768	32	859	29	9,681	352
要介護5	785	30	868	30	811	31	777	28	725	28	709	28	740	27	777	28	772	26	723	27	672	27	749	27	9,108	337
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2,300	81	2,360	82	2,262	83	2,285	80	2,297	83	2,232	83	2,348	83	2,297	83	2,378	81	2,282	84	2,147	86	2,384	82	27,572	991
入所率	95.83%		95.16%		94.25%		92.14%		92.62%		93.00%		94.68%		95.71%		95.89%		92.02%		95.85%		96.13%		94.42%	
28年度	2,291	80	2,338	82	2,204	82	2,324	82	2,403	82	2,351	80	2,355	80	2,219	81	2,381	81	2,317	81	2,092	80	2,350	81	27,625	972

※延べ数に外泊・入院は含まず

※暫定者は「その他」に記載



# 11-2. ショートステイ事業所 祝の郷

## 1. 事業報告

ショートステイにおいては、4年目を迎え平均9割以上の稼働率となり前年度に比べ、新規顧客確保やリピーターの定着による稼働率のアップに繋げることができた。だが最近の依頼の傾向として、良い環境で過ごせる施設を転々とされるケースや、困難ケースでも可能な施設を探されているケース、介護負担の軽減を目的とした長期利用のケースが多い。その為、職員の介護力・接遇・認知症対応力の向上、相談員が自宅へ行った際の面接やカンファレンス、送迎時の情報による体調や疾病、内服状況をより把握し内部での情報提供を的確に行い、それが結果として些細な異変へも気付け、利用者が安心・定期利用していただけるよう家族・関係機関に信頼を得る事も重要課題として取り組む必要がある。

また前年度同様、空床利用についてもスムーズな受け入れが行えるよう体制を整え、1人でも多くの方にショートステイを利用していただき、利用者・家族の期待に沿うことができるよう取り組んでいく。

## 2. 延べ利用人数、利用率、実人員数、新規利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用人数	289人	325人	265人	278人	279人	290人
利用率	96.33%	104.84%	88.33%	89.68%	90.00%	96.67%
実人員数	30人	27人	26人	24人	24人	26人
新規利用者数	5人	1人	0人	3人	2人	2人
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用人数	295人	304人	304人	262人	285人	306人
利用率	95.16%	101.33%	98.33%	84.52%	101.79%	98.71%
実人員数	26人	29人	29人	25人	31人	31人
新規利用者数	3人	3人	6人	1人	5人	4人

項目	集計結果
年間延べ利用者数	3,482人
月平均利用人数	290.17人
月平均利用率	95.40%
月平均実人員数	27.33人
月平均新規利用者数	2.92人

○年間実人員は、328人・年間新規数は、35人

## 3. 1年間の利用者の年齢構成・男女比

年齢	男	女	合計(人)
95歳以上	0	10	10
90歳～95歳未満	4	15	19
85歳～90歳未満	5	16	21

80歳～85歳未満	5	10	15
75歳～80歳未満	1	2	3
70歳～75歳未満	2	1	3
65歳～70歳未満	4	0	4
65歳未満	0	0	0
計	21	54	75

#### 4. 1年間の利用者の要支援及び要介護認定の構成

介護度	男	女	合計(人)	比率(%)
要支援1	0	1	1	1.33%
要支援2	1	1	2	4.00%
要介護1	4	11	15	20.00%
要介護2	1	17	18	24.00%
要介護3	5	8	13	17.33%
要介護4	5	13	18	24.00%
要介護5	4	3	7	9.33%
計	21	54	75	

#### 5. 医療的ケアの必要な人の受け入れ状況

(人)

医療的ケア内容	男	女	合計
胃ろう	0	1	1
酸素	0	0	0
インシュリン	1	0	1
ストマー	2	1	3
定期的な吸引	1	0	1

#### 6. 職員の状況

▶平成30年3月31日現在

(人)

雇用形態	職種	年度当初 (休職者)	採用者数 (異動)	離職者数 (異動)	年度末人員 (休職者)
常勤	管理者	1	0	0	1
	事務員	3	0	0	3
	介護職員	32	13(1)	8(1)	34(1)
	看護職員	6(1)	0	1	5(1)
	生活相談員	2	1	0	3
	栄養士	1	0	0	1
	介護支援専門員	1	(1)	(1)	1
	機能訓練指導員	1	0	0	1
合計(実人員)		46(1)	13(2)	9(2)	48(1)

※（休職者）の人数は産休・育休、病欠中の人数。

※今年度は、高校卒業生を2名採用

**7. 行事年間計画の実施報告**

- ・特別養護老人ホームと合同で実施する。

**8. ボランティアの活動内容**

- ・特別養護老人ホームと合同で実施する。

**9. 委員会・会議の年間計画の実施報告**

- ・特別養護老人ホームと合同で実施する。

**10. 職員の教育研修の実施状況**

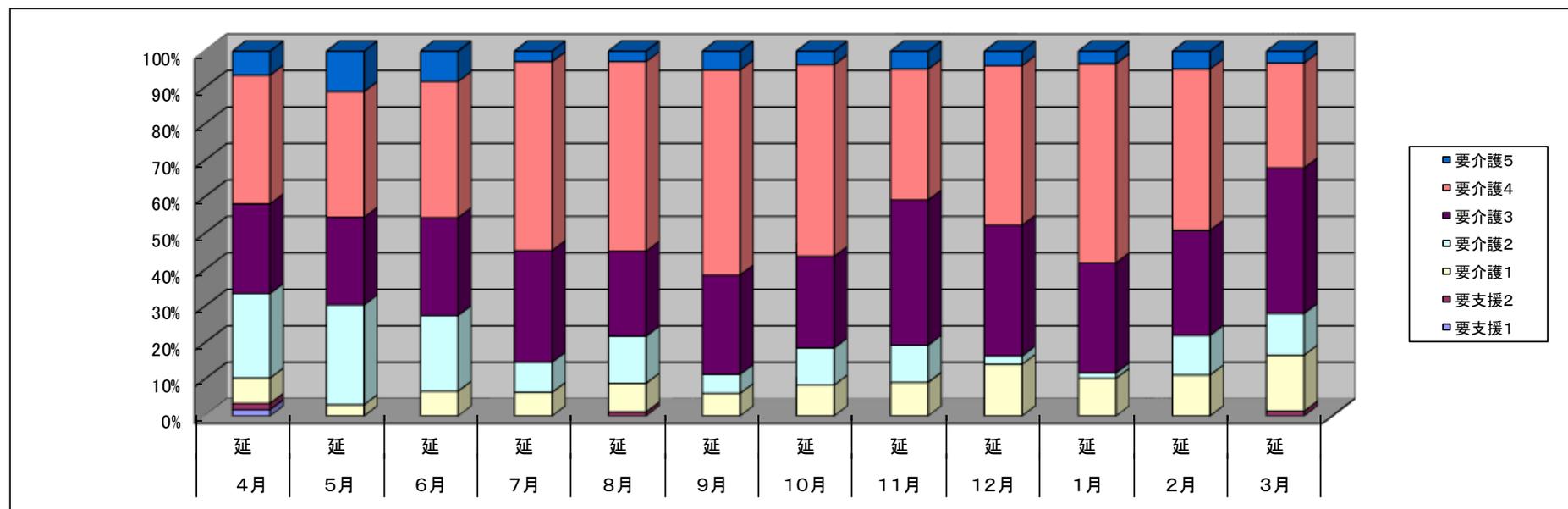
- ・特別養護老人ホームと合同で実施する。

11-2. 特別養護老人ホーム 祝の郷 ショートステイ事業実績表(平成29年度)

単位:人

10床	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計		
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	
要支援1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1
要支援2	5	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	12	3	
要介護1	20	2	10	1	18	3	18	3	22	2	18	3	25	4	28	6	43	6	27	5	32	6	47	7	308	48	
要介護2	67	5	89	8	55	5	23	4	36	4	15	2	30	4	31	4	7	3	4	1	31	6	35	8	423	54	
要介護3	71	6	78	5	71	6	85	6	65	6	79	8	74	7	121	9	109	7	79	7	82	7	122	7	1036	81	
要介護4	102	10	112	9	99	8	144	10	145	9	163	10	155	9	109	7	133	11	143	9	126	10	88	6	1519	108	
要介護5	19	5	36	4	22	4	8	1	8	2	15	3	11	2	15	3	12	2	9	3	14	2	10	2	179	33	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	289	30	325	27	265	26	278	24	279	24	290	26	295	26	304	29	304	29	262	25	285	31	306	31	3482	328	
送迎	69	26	61	22	67	21	56	22	53	21	60	22	52	17	64	21	62	21	50	21	63	26	74	26	731	266	
利用率	96.33%		104.84%		88.33%		89.68%		90.00%		96.67%		95.16%		101.33%		98.06%		84.52%		101.79%		98.71%		95.40%	0	

※暫定者は「その他」に記載



# 11-3. デイサービスセンター 祝の森

## 1. 事業報告

年度当初より、事業者アピールを行い順調に実績を伸ばしていたが、入院・施設入所・死亡・ショート利用等で12月頃より、利用数が減少した。担当会議や事業者廻りなどで、現利用者の利用回数の増加はあったものの、当日の体調不良が重なり、冬場の稼働率の低下に繋がり、3月末では、平均利用者数が22名から16名となった。年間を通しての実績は上がったが、今後の課題としては、新規利用の獲得・休んでいる利用者の訪問・居宅等のアピールを続け冬場の稼働率アップに努めていきたいと思う。

また、他社認知症デイサービスの閉鎖により、年度初めから認知症の利用者の新規受け入れが多く、認知症の方を理解する為の取り組みを行い始めた。認知症の利用者でもできるレクリエーションのバリエーションを増やし、脳トレの実施においては、余暇時間を利用し楽しんで手を動かす方式のパネルを作成した。また、個人競技を取り入れたレクリエーションを行い、上位者には景品のプレゼントをすることで、目標や目的をもって頂き利用者のモチベーションを上げ、やらされている感を排除し、利用者の意欲や・自主性を高めることになった。カラオケ・花札・トランプ・オセロなどを活用し職員が加わることで余暇時間の環境創りが充実し、次年度に実施する付加価値によるポイント制にも繋がっていくことになった。新しい取り組みを行うことで、各職員同士の連携が密に行うこともでき、チームワークに協力性の芽生えができた。

機能訓練では、日常の関わりの中でコミュニケーションを行い、生活全般を理解し問題点を細かく考察しリハビリ計画を作成した。歩行動作や日常生活を安全に生活して頂く観点に重点を置き、対象者一人一人にあった方法で機能訓練を選択して行った。

通所計画書・機能訓練計画書はチェック方法の改善を行い、月末の実績報告時には事業所アピールを続けていった。本年度デイフロアにおいて転倒等の事故もあったが、利用者はもちろん家族に対しても早期の対応を管理職で行い、ヒヤリハット作成・事故報告書で職員に周知し、ミーティング時に意見交換することで、より良い解決方法を導くことが出来た。

今後も利用者に寄り添った在宅支援を心がけ、各事業所に信頼をもって頂けるようにしていきたいと思う。

## 2. 利用登録者数

### ・毎月利用者数及び延べ利用日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日	25	27	26	26	27	26
登録利用者数	87	85	83	80	75	76
延べ利用者数	547	575	549	540	549	574
一日平均利用者数	21.88	21.30	21.12	20.77	20.33	22.96
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日	26	26	24	24	24	27
登録利用者数	75	76	73	66	68	73
延べ利用者数	573	553	458	423	405	444
一日平均利用者数	22.04	21.27	19.08	17.63	16.88	20.10

項目	集計結果
月平均営業日数	25.67 日
月平均登録利用者数	76.42 人
年間延べ利用者総数	768 人
月延べ利用者数	6,190 人
一日平均利用者数	20.10 人

### 3. 年齢構成・男女比

▶平成 30 年 3 月 31 日現在

(人)

年齢	男	女	合計
95 歳以上	0	3	0
90 歳～95 歳未満	4	14	18
85 歳～90 歳未満	7	10	17
80 歳～85 歳未満	8	13	21
75 歳～80 歳未満	6	4	10
70 歳～75 歳未満	1	4	2
65 歳～70 歳未満	1	4	2
65 歳未満	0	0	0
計	27	46	73

### 4. 要支援及び要介護認定の構成 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

介護度	男	女	合計 (人)	比率 (%)
要支援 1	3	4	7	
要支援 2	3	10	13	
要介護 1	8	15	23	
要介護 2	6	6	12	
要介護 3	3	9	12	
要介護 4	2	1	3	
要介護 5	2	1	3	
計	27	46	73	

### 5. 食事、入浴、排泄の全介助、一部介助、自立の状況

▶平成 30 年 3 月 31 日現在

(人)

項目	自立	一部介助	全介助	合計
食事	69	1	3	73
入浴	5	66	2	73
排泄	41	30	2	73

○食事：全介助で経管栄養（胃ろう）の受入を行っている方が 1 名いる。

## 6. 職員の状況 (平成29年3月31日現在)

雇用形態	職 種	年度当初 (休職者)	採用者数 (異動)	離職者数 (異動)	年度末人員 (休職者)
常 勤	管理者	1	0	0	1
	介護職員	9 (1)	3	3 (2)	5 (3)
	看護職員	2	1	0	2 (1)
	生活相談員	3	0	0	3
	栄養士	1	0	0	1
	機能訓練指導員	3	1	0	3 (1)
	事務員	3	0	0	3
非常勤	運転手	1	0	0	1
	清掃員	1	0	0	1
合 計 (実人数)		15 (1)	5	3 (2)	16 (3)

※ (休職者) の人数は産休・育休、病欠中的人数。

※今年度は、高校卒業生を1名採用

## 7. 行事年間計画の実施報告

月	行事内容
4月	お花見ドライブ
5月	避難訓練
6月	菖蒲祭り
7月	そうめん流し ・ 七夕 ・ 地方祭
8月	納涼祭 (カラオケ参加)
9月	敬老会
10月	運動会
11月	コスモス見物、避難訓練
12月	クリスマス会 ・ 忘年会
1月	初詣 ・ 新春餅つき大会
2月	節分 (豆まき) ・ おやつ作り
3月	ひな祭り

## 8. 委員会・会議の年間計画の実施報告

- ・特別養護老人ホームと合同で実施する。

## 9. 職員の教育研修の実施状況

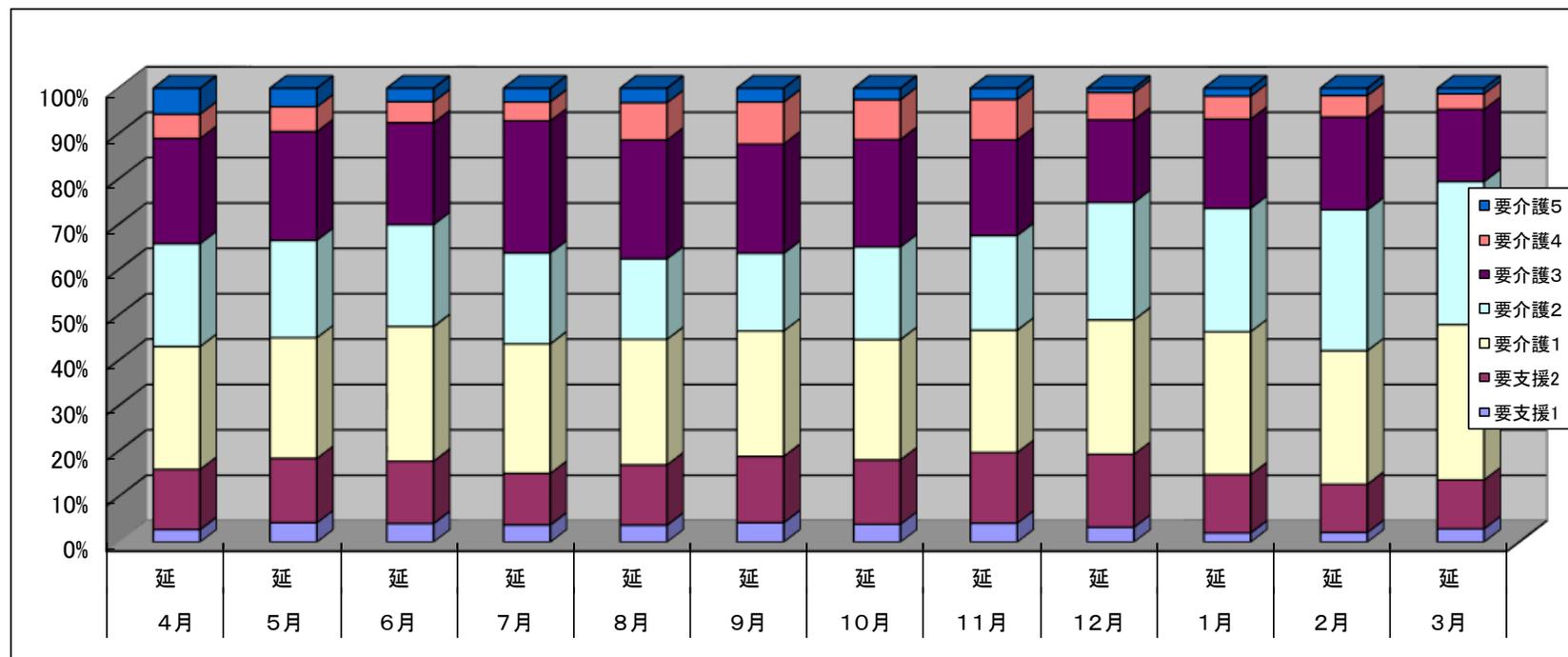
- ・特別養護老人ホームと合同で実施する。

### 11-3. デイサービスセンター 祝の森実績表(平成29年度)

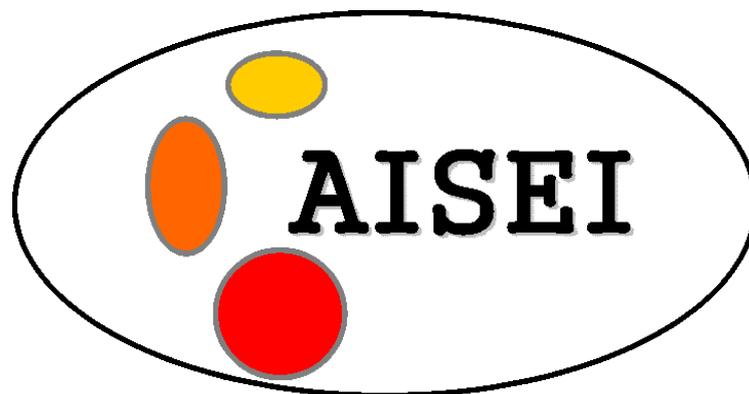
単位:人

定員30名	4月 25		5月 27		6月 26		7月 26		8月 27		9月 26		10月 26		11月 26		12月 24		1月 24		2月 24		3月 27		合計(308日)	
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実
要支援1	15	5	24	5	22	6	20	5	20	5	24	6	22	5	22	5	14	4	8	2	8	2	12	3	211	53
要支援2	72	11	80	12	74	11	60	10	71	10	82	11	79	11	82	12	69	11	51	8	40	7	44	6	804	120
要介護1	147	20	150	19	160	18	151	17	148	16	155	16	148	16	142	14	127	13	125	13	111	13	140	16	1704	191
要介護2	123	13	121	12	121	14	106	13	95	12	96	10	114	10	110	11	111	10	108	11	117	13	129	14	1351	143
要介護3	126	11	135	10	121	10	154	11	140	9	135	10	132	9	111	9	78	6	78	7	77	8	65	6	1352	106
要介護4	29	7	31	7	25	6	22	5	44	7	52	8	49	8	47	8	26	5	20	5	18	4	14	1	377	71
要介護5	31	5	23	4	16	5	16	4	17	4	17	4	14	3	13	3	4	1	7	2	6	2	5	3	169	40
その他	4	1	11	3	10	3	11	3	14	3	13	3	15	3	26	4	29	5	26	5	28	5	35	6	222	44
計	547	73	575	72	549	73	540	68	549	66	574	68	573	65	553	66	458	55	423	53	405	54	444	55	6190	768
1日平均	21.88		21.30		21.12		20.77		20.33		22.08		22.04		21.27		19.08		17.63		16.88		16.44		20.10	
28年度	329	52	358	54	334	55	376	63	458	65	406	59	433	61	454	65	448	64	415	65	431	66	543	71	4985	740
28年平均	15.67		16.27		15.64		17.90		19.91		18.45		16.65		17.46		18.67		17.29		17.96		20.11		17.67	

※暫定者は「その他」に記載 ※総合事業について事業対象者については「その他」に記載



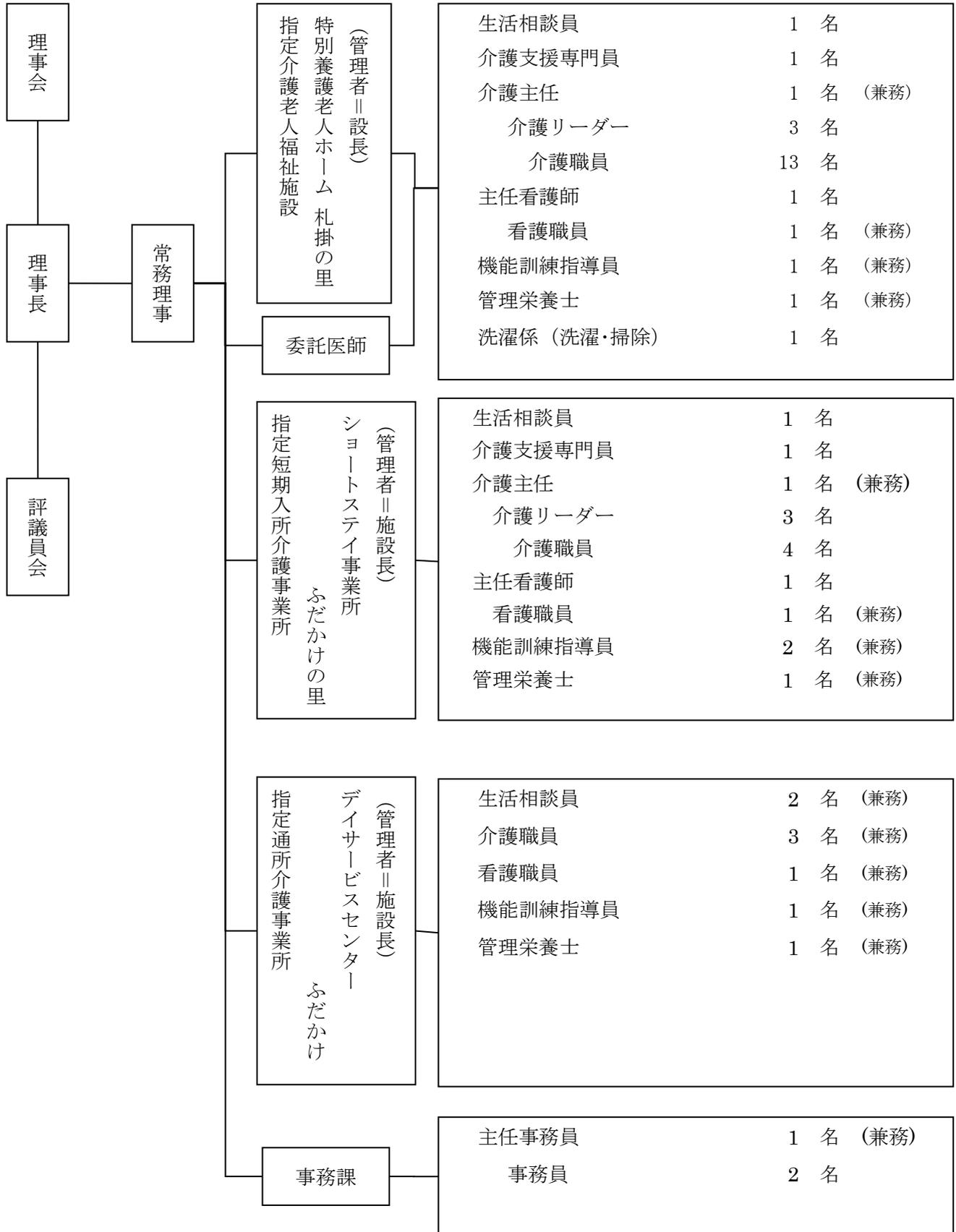
大洲市  
特別養護老人ホーム  
札掛の里



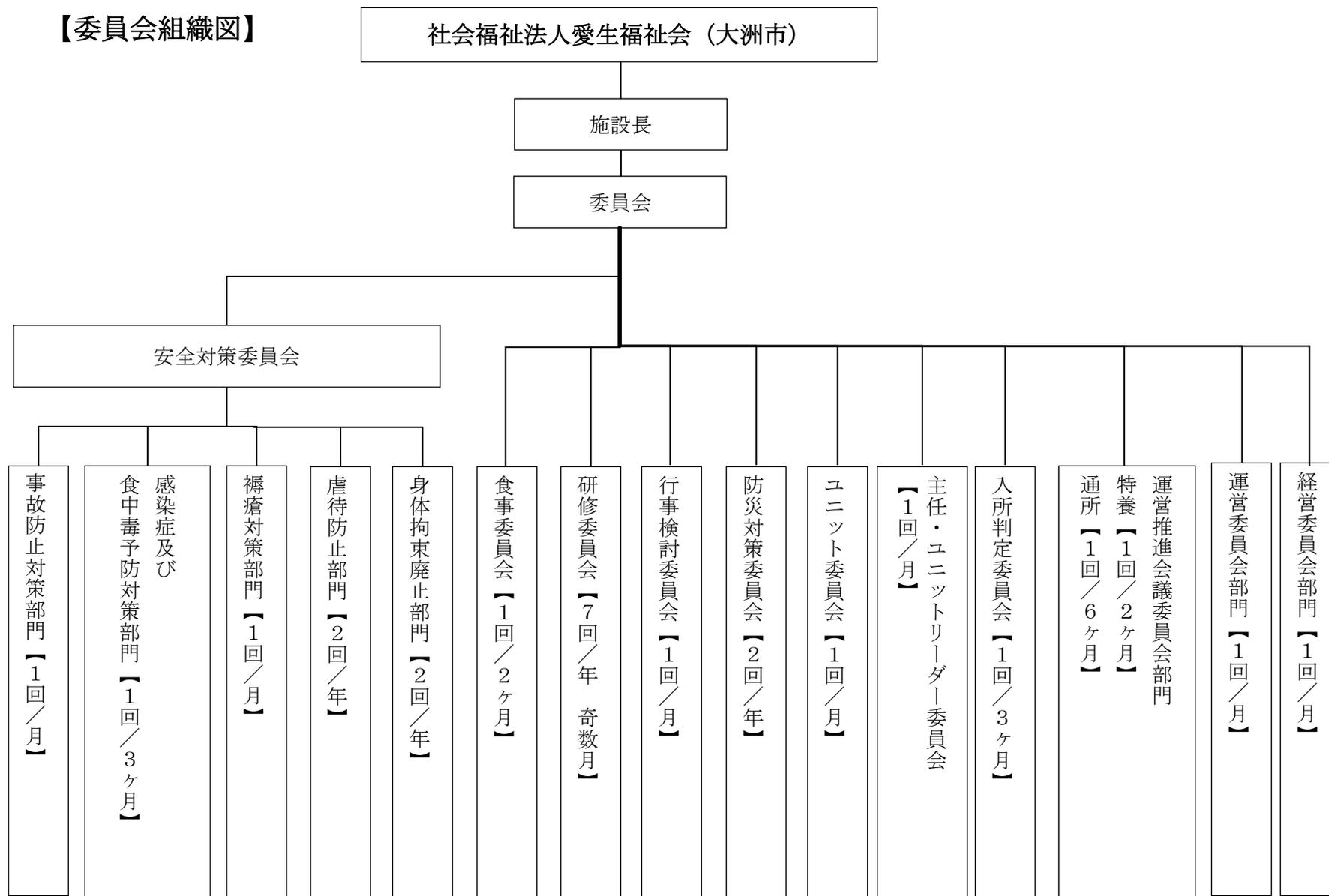
- 特別養護老人ホーム 札掛の里  
(地域密着型老人福祉施設)
- ショートステイ ふだかけの里  
(短期入所生活介護・予防短期入所生活介護)
- デイサービスセンター ふだかけ  
(地域密着型通所介護・予防通所介護)



社会福祉法人愛生福祉会（大洲） 組織体制（平成30年3月31日現在）



【委員会組織図】



## 12. 大洲市事業拠点

【平成29年度 社会福祉法人愛生福祉会 大洲事業部事業報告】

### 〔大洲事業部の事業概要〕

特別養護老人ホーム札掛の里は、平成28年7月1日に特別養護老人ホーム及び併設で短期入所者介護・地域密着型通所介護の開設より約二年弱経過しました。

特養は、平成28年9月時点で全室入所となり、入院者及び退所者も出始めおり、新規入所者受け入れまでの待機期間はあるものの、稼働率は年平均97.2%の維持ができました。また、入所者受入までの期間及び長期入院者が出た場合、社会福祉施設としての役割を果たすべく、空床型に指定申請を変更。役割を果たすことと同時に経営的な安定を図ると取り組みを行っている。長期入所者は入院中も居室を確保するため居室料負担があったが、空床型で利用することにより、長期入院期間中の費用負担軽減につながっているものと考えます。

現在、入所者の中に、社会福祉法人減免対象者を3含み、社会福祉法人としての使命としての本活動に取り組んではいるが、入所者定員の割合から過剰的な比率と思われる、引き続き今後の入所者に対しては勘案すべき案件と考えます。また、現在入所中の方の中にも減免対象者になりうる方が4名いるため、今後の入所者の経済状況の把握及び新規入所者の状況把握に努め、社会福祉に事業所として可能な範囲で貢献しつつ、安定した収益経営基盤を整える必要があるものと考えます。

昨年度の介護職員数の標準化（標準より多く採用されていた。）については、雇入れをした責任も大きく、できる限り、将来的に有望な職員は勿論のこと、指導が必要な職員へも個別指導を適宜行い、評価基準体制の構築を図った結果、平成29年9月時点で標準的な人員の配置が行えた。各ユニットが適正な人員配置となり、新規組織体制を取り、リーダー育成の強化を行いました。その効果、各職員の尽力によりリーダーを中心とした組織体制ができ、職員同士のチームワークも良くなり（職場環境改善）ユニットの空気感も変わり各ユニットの特色が見え、利用者様の生活空間の環境が穏やかな空間への改善に繋がってきています。

本年度も地域貢献活動として当施設の名称の由来である札掛寺の清掃・草刈りを行い、今後は地域の方と合同で行えるよう努めて行く。また、地域行事（敬老会・レクバレー観戦）に職員のみでなく利用者も一緒に参加を行い地域との馴染みの関係構築が行えた。また、南久米地区で30年続いている『ふるさと祭り』へは、準備等のお手伝いだけでなく、利用者様と作った多肉植物（寄せ植え）の出店も行い、お祭り見物だけでなく地域の一員として利用者様と職員と共に参加ができた行事となった。今後の恒例行事とし、地域との馴染みの関係を深め、困ったときには助けてもらい、困っているときは手助けができるような相互の思いやりの関係を築き上げます。また、今後においても地域の方の協力を得ながら利用者の札掛の里での生活が、より豊かな生活となるよう努めます。

# 12-1. 特別養護老人ホーム 札掛の里

## 1. 入居者数（定員：29名）

毎月初日の入所者数及び毎月の入居者数及び退居者数

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数 (人)	29	28	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
延べ入居 人数(人)	802	808	838	878	899	861	899	870	899	876	793	864
入居比率 (%)	92.2	89.9	96.3	97.7	100.0	99.0	100.0	100.0	100.0	97.4	97.7	96.1
入居者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
退居者数 (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
項目	集計結果											
入居者数	平均 28.75 人											
延べ 入居人数	10,287 人											
入居比率	97.2%											
入居者数	1 人											
退居者数	1 人											

○入院による居室確保期間を2ヶ月と定めているが、2カ月の空床期間の減収は小規模施設にとって負担が大きい。また、ショート利用時期の重複によりお断りをするケースも増えてきており、今後、特養空床利用型の申請を行うことで福祉需要に応えると共に経営の負担減を図る。

## 2. 年齢構成・男女比

平均30年3月31日現在（29人）

年齢	男	女	合計(人)
95歳以上	0	1	1
90歳～95歳未満	1	3	4
85歳～90歳未満	5	5	10
80歳～85歳未満	4	4	8
75歳～80歳未満	2	1	3
70歳～75歳未満	2	1	3
65歳～70歳未満	0	0	0
65歳未満	0	0	0
計	14	15	29

○男性平均82.8歳、女性平均85.4歳、全体平均84.1歳

○最高97歳・最低70歳

### 3. 要介護度

平成30年3月31日現在 (29人)

介護度	男	女	合計(人)	比率(%)
要介護1	1	0	1	3.4
要介護2	0	0	0	0
要介護3	7	2	9	31.0
要介護4	6	10	16	55.2
要介護5	1	3	4	13.8
計	15	15	30	

○平均介護度3.7

### 4. 食事、入浴、排泄、以上などの全介助、一部介助、自立の状況

平成30年3月31日現在 (人)

項目	自立	一部介助	全介助	合計
食 事	17	5	7	29
入 浴	0	20	9	29
排 泄	2	15	12	29

○2名入院中。

### 5. 認知症の分類

平成30年3月31日現在 (人)

認知症分類	男	女	合計
アルツハイマー型認知症	5	6	11
レビー小体型認知症	0	0	0
脳血管性認知症	4	0	4
混合型認知症	0	0	0
認知症	6	7	13

○認知症診断者28名、全体の96.5%である。

認知症自立判定度(平成30年3月31日現在) (人)

なし	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
1	0	0	0	20	3	2	3

○認知症自立判定度Ⅲ以上は、3月末日時点で96.5%であった。

### 6. 医療的ケアの必要な人の受け入れ状況(年間)

(人)

医療的ケア内容	男	女	合計
経管栄養(胃ろう・経鼻)	1	1	2
在宅酸素	0	0	0
インシュリン	1	0	1
バルーンカテーテル	1	0	1
定期的な吸引	0	1	1

7. 入院状況（入院回数、日数など）

(人)

月	入院した 入居者数	延べ 入院日数	内 科	整形外科	脳神経 外 科	その他
4月	3	68	2	0	0	1
5月	3	89	2	0	0	1
6月	1	22	0	0	0	1
7月	1	23	1	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	1	11	1	0	0	0
10月	3	33	3	0	0	0
11月	2	38	2	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	2	25	2	0	0	0
2月	2	37	2	0	0	0
3月	1	31	1	0	0	0
合計	19	377	16	0	0	3

○最も長い入院期間は77日間、平均入院日数は37日間。

○最も診断名が多かった疾患は誤嚥性肺炎、肺炎が全体の33%であった。肺炎他、急性胆のう炎、気管支炎、蜂窩織炎等であった。

8. 他の医療機関の受診状況

(人)

月	内科	外科	整形	皮膚科	眼科	脳外科	泌尿器	その他
4月	0	0	0	0	0	0	1	0
5月	0	0	0	0	1	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	1	3
7月	1	0	1	0	0	0	0	1
8月	1	0	1	1	0	0	1	1
9月	1	1	1	0	0	0	0	6
10月	3	0	0	0	1	1	1	0
11月	3	0	1	0	0	0	0	0
12月	1	0	0	1	0	0	1	1
1月	1	0	1	0	0	0	0	1
2月	0	0	1	0	0	0	1	1
3月	1	0	1	0	0	0	0	1
合計	12	1	7	2	2	1	6	15

○定期的な受診（外部、嘱託医等）を行っている入居者は全体の21%であった。

○その他受診…歯科、精神科、血管外科等

## 9. 職員の体制

平成30年3月31日現在

(人)

雇用形態	職 種	年度当初 (休職者)	採用者数 (異動)	退職者数 (異動)	年度末人員 (休職者)	基準	
常 勤	施 設 長	1	0	0	1	1	
	事 務 員	1	1	0	2	—	
	介 護 職 員	15	7	8	14	3 : 1	8
	看 護 職 員	4	0	2	2	合計 10	2
	生 活 相 談 員	1	0	0	1	1	
	栄 養 士	1	1	1	1	1	
	介護支援専門員	1	1	1	1	1	
	機能訓練指導員	4	0	2	2	1	
非常勤	清掃員 (洗濯)	1	0	0	1	—	
	清掃員 (掃除)	0	0	0	0	—	
合計 (実人員)		29	10	14	25	15	

## 10. 行事年間計画の実施報告

月	行事内容
4月	・お花見会 (旧小学校の桜の木の下でお花見しながら昼食会)
5月	・富士山つつじ外出・歌謡ショー(ボランティア) ・レザークラフト(ブローチ作り)
6月	・稲積・新谷しょうぶ園外出 ・座って体操(ボランティア) ・レザークラフト(しおり作り)
7月	・開設一周年記念式典 ・西滝寺 福村ご住職 講話 (ボランティア) ・手芸クラブ (南久米地区婦人会ボランティア)
8月	・納涼祭 (豊寿園) 地域住民参加 ・そうめん流し (楠木の下で!) ・映画クラブ (釣りバカ日誌)
9月	・敬老会 歌謡ショー(ボランティア) ・南久米地区敬老会
10月	・折り紙教室(ボランティア (シンクタンク) ) ・梨狩り外出
11月	・西滝寺 福村ご住職 講話 (ボランティア) ・料理クラブ (おやつ作り) ・お買い物 (外出)
12月	・クリスマス会 ・買い物 (外出)

1月	・初詣 ・新年会(松尾獅子舞)
2月	節分(豆まき) いちご狩り外出
3月	ひな祭り

### 1.1. ボランティアの活動内容

- ・地域主催行事のいもたき会に施設より職員と利用者様も参加させて頂き地域交流を行った。又、地域の防災訓練にも参加し災害時の対策及び不安を地域と共に共有することができた。今後、施設と地域連携の避難訓練も行い、災害時に備える。
- ・ボランティア活動として、施設前面道路の清掃活動を行った。本路線は地域の方の主な生活道路となっており、落ち葉枯れ枝の清掃、投げ捨てごみの回収により、毎日の往来・通勤で通行する際も気持ちよく通行して頂いているものと思われる。また、前段の札掛寺の草刈り清掃を行い、地域のシンボルの復活に近づけばとの思い、清掃後に地域の代表者から次回からは地域と協同行いたいとの、ご依頼があり私たちの活動により地域の方も地域のシンボルに対し同じ気持ちに近づいてくれたものとする。

### 1.2. 委員会・会議の年間計画の実施報告

委員会・会議名	内容等	開催回数
安全対策委員会	—	—
事故防止対策委員会	事故防止・再発防止等	12
感染症及び食中毒予防対策委員会	感染症・食中毒予防等	5
褥瘡予防委員会	褥瘡予防及び発生時の対策等	4
身体拘束廃止委員会	身体拘束廃止等	16
食事委員会	行事食・改善事項等	6
入所判定委員会	入居順位決定	4
運営会議	施設全体の課題検討等	12
主任会議	特養に関する課題検討等	12
リーダー会議	リーダー会議	12
各ユニット会議	グループの方針等(介護・看護)	合計48

### 1.3. 職員の教育研修の実施状況

#### ■外部研修

(人)

日 程	内 容	職 種	参加人数
6月9日	コミュニケーション力向上研修会	介護職員	1名
7月21日	認知症について	介護職員	2名
9月15日	防災に関する研究・研修会	介護職員	1名
9月22日	服薬管理研修	介護職員	2名
9月27日	力のいらない介護の技教室	介護職員	2名
10月12日	やわらか食&嚥下食の研修会	栄養士	1名

10月18日	人材課題先進分野としての介護	介護職員	1名
10月18日	地域包括拠点としての在宅サービスの可能性	介護職員	1名
10月18日	養護老人ホームにおける多様なニーズに応える包摂的支援	介護職員	1名
11月13日	介護技術向上研修	介護職員	1名
11月22日	年末調整説明会	事務員	2名
11月24日	施設での看取りについて	相談員・ケアマネ 看護職・介護職	4名
11月28日	ケアマネジメント研修会 (寝たきり利用者に関する情報収集)	ケアマネ	1名
12月15日	看取りに関する研修会	看護職・ケアマネ	2名
1月19日	高齢者の栄養について	ケアマネ・栄養士	2名
2月23日	感染症予防について	相談員・ケアマネ	2名

#### ■内部研修

(人)

日 程	内 容	参加人数
4月4日～6日	新入職員研修（高知県 豊寿園 本部にて）	2名
4月17日～19日	Uビジョン実地研修 組織体制の構築	全職員
5月11・19日	腰痛予防（リフト使用要領研修会）	15名
5月24日	防災避難訓練	22名
7月19日	口腔ケア研修	8名
7月3日～5日	Uビジョン研修 身体拘束・虐待防止について	全職員
10月11日～13日	Uビジョン研修 新人研修・事故報告とヒヤリハットの認識・各会議、委員会の実施状況研修	全職員
10月27日～28日	魅力ある施設作りのために (互生会・愛生福祉会合同研修)	5名
11月16日～17日	Uビジョン トップマネジメントセミナー	3名
1月15日～17日	Uビジョン研修 暫定ケアプランの作成と職員の理解、実践工程について	全職員

#### ○防災訓練

- ・定期的な施設主体の防災訓練・救命訓練の平成29年5月実施を行い、火災を想定し、初期消火・消防連絡・避難誘導の避難訓練を行った。今後も建物の形状および有事の時間帯及び災害の種類によって、想定される災害状況を検討し、実践的な避難訓練を定期的に実施し、有事に落ち着いて人命最優先の避難活動が行えるよう実施していく。
- ・当該施設は、伊方原発より30km圏内とされ、老協主催の共同訓練（シェイクアウト）参加し原発有事を想定した訓練を行った。また、その避難先として松山（愛媛県中予圏）に第三次避難場所の提携が義務化されており、松山市の「社会福祉法人 友朋会 りつりんアドバンス」との伊方原発災害発生時における施設サービス利用者の避難及び受入協定の締結を行い有事に備える取り組みを行った。

## 1.4. 各部門報告

### 【生活相談員】

- 入所申込の円滑な対応を行い。スムーズな受入に繋げる。
- 生活相談員業務を整理し柔軟な対応ができやすい体制づくりに努める。
- 家族様の不安や要望について一緒に考え対応していき、信頼関係が築けるよう努める。
- 各職種との連携・協働により、利用者様が安心して安全に生活できるよう生活相談員としての情報収集及び発信を行う。

#### <評価>

- ・ 事故防止対策委員会や身体拘束廃止委員会などの各種委員会において他職種との検討を重ね、より安全で人権に配慮された環境の提供ができるよう取り組めた。
- ・ 入所申込み者の定期的な状態確認を行い、判定会での情報提供・入所順位の確定につなげられた。
- ・ 利用者様に起こった事故の報告や状態の変化等について、家族様への報告や今後の対応等の検討を行うなど、家族様との協力関係の構築につなげられた。
- ・ 生活相談員として積極的に施設外研修に参加して知識を深め、柔軟な対応のできる体制の構築を引き続き行いたい。

### 【介護支援専門員】

- 可能な限り利用者さま本位の馴染みの生活を送って頂く為、アセスメントをしっかりと取っていく。
- 家族さまと信頼関係を築けるよう、丁寧な報告・相談等、密に連絡を取りコミュニケーションを図っていく。

#### <評価>

- ・ 9月末に介護支援専門員の退職により引継ぎ業務行ったが、ご本人様、ご家族様、状態を良く把握しているスタッフ達の協力によりスムーズに情報を得ることができ、早めの状態把握ができた。
- ・ 毎月、書面を送る際にはご本人様のご様子を手紙や写真でお知らせし、遠方でなかなか会いにすることができないご家族にも安心してもらえるように努めた。
- ・ 本人様の思い、ご家族の思いを確認し出来る限り寄り添えることができるように担当者会議時には多職種での情報共有、意見交換を行い、支援内容に反映することができた。
- ・ 施設外研修に参加することで知識の習得に努めた。施設での看取りケアに対しての知識がまだ不十分であると感じているため、研修で得たことを他スタッフにも伝えられるようにしていきたい。

#### ③担当者会議

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	7人	14人	8人	7人	15人	8人
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7人	14人	8人	7人	14人	8人	117人

・退所 1人/年

・入所 1人/年 (平成30年3月31日現在 29人 )

## 【介護職員】

○施設の基本理念に基づき、各個人の意識を高め個別ケアの実施・介護の質の向上を図る。

### ①介護職員のスキルアップ

- 1) 研修を通じて介護職員の介護技術及び介護知識のスキルアップを行う。又研修で得た知識を施設研修で還元することにより、全体のスキルアップにも努める。
- 2) ユニット型の利点を活かし、スムーズな情報の共有を図り、利用者さまの安心・安全な生活を確保する。各ユニット個別介護に意識を置いて質の高い介護を目指す。

### ②介護記録の質の向上

- 1) 適切な文言の周知・徹底を行う。又内容の充実を図り、重点箇所については早急な周知が図れるよう共有する。

### ③コストダウン

- 1) 効率的な物品の使用が行えるよう各自が意識する。ユニットミーティングを積極的に行い、変化があった際も情報の共有が行えるようにする。
- 2) 節電（光熱費）に対して職員の意識を高める為の研修等を積極的に行い、施設全体のコストダウンを目指す。

### ④レクリエーション等の充実

- 1) レク・外出等の充実を図り、四季の移り変わりを感じながらの生活を楽しんでいただけるよう支援する。
- 2) 各利用者様の趣味趣向を把握し、多くの利用者様が楽しめるレクリエーションの実施に努める。

## <評価>

- ① 1) 内部・外部研修を通じ、介護職員の技術及び知識のスキルアップを図っていった。外部研修の際は報告書にて各職員に周知を行っているが、今後は研修で得た知識・技術をよりより良く周知出来る方策を考えていきたい。
- 2) 各ユニット周知しやすい方法を考え、情報の共有を図れた。又、施設全体で取り組むべき課題が発生した場合は、他職種との協働を図り、利用者様が安心・安全な生活を送れるよう取り組むことが出来た。
- ② 1) 利用者様の状態に応じて選択・使用が行えている。又変化があった際は、ミーティングを行い臨機応変に対応している。
- 2) 定期的実施しているユニットミーティングにて節電について意識を深めるように周知している。
- ③ 主任・リーダーが定期的に記録のチェックを行い、不適切な文言の使用がある際は指導を行うようにしている。次年度の課題として、記録内容の薄さや、文言の周知不足が挙げられる。改善していくよう研修等を計画していく。
- ④ 1) ユニットから発信されるレク・行事が不十分と感じている。日々のレクの充実と、季節を感じるレクを取り入れるよう積極的な取り組みを次年度は行っていく。
- 2) 栄養士中心におやつ作り等のレクを取り入れ、多くの方に参加して頂いている。今後は男性の入居者方々にも焦点を当て、楽しみあるひと時を過ごしていただける様努める。

## ●大洲城通り

### ①笑顔のある楽しい生活を共に

- ・個別の関わりを増やし、どうすることで笑顔になれるのか意識する。また、利用者様同士の関係性にも気を配りユニット内の調和を図る。
- ・利用者様との関わりの中で職員自身の成長、向上につなげる。

### <評価>

- ①ユニットに植栽を設けたり季節の花を活けたりし家庭的な雰囲気を作った。その中で利用者様と馴染みの関係が作れ、何でも言いやすい環境づくりに取り組むことが出来た。しかしそれにより、馴れ合いすぎないよう心し、日々誠実に敬意（尊厳）をもった介護をこれからも目指す。
- ②時間と共に利用者様との関係性が築け、家族様との信頼関係においては、来訪時の会話や事故報告、また報告後の取り組みなどを通し信頼関係を築くことが出来ている。更なる信頼関係の構築に努める。

## ●富士山通り

### ①ユニット介護を実践的に取り組む。

- ・利用者様の社会歴、既往歴、趣味趣向に関わり合いの中で深く理解し、個別介護に活かす情報として、職員で共有し個別介護の実践に努める。

### <評価>

- ①利用者様の社会歴等を事前情報から得たものだけでなく、関わりを多く持ち、レクを利用したりしながら、利用者を知る行動によって自分自身も知っていただき馴染みの関係が築けた。また、その情報を料理レクであったり、外出レクであったり様々なバリエーションで取り入れることにより、多くの笑顔を得る取り組みが行えた。

## ●うかい舟通り

### ①常に向上心をもって取り組む。

### ②利用者様に寄り添う介護に努める。

- ・情報の共有と意識統一をする。
- ・スタッフ相互に思いやりもち、助け合いながら業務にあたることにより、あたたかい雰囲気とし利用者様との関わりを多く持てる支援に努める。

### <評価>

- ・利用者様のより良いケアに努める為、日々の業務の中から小さな気付き・改善点など、自発的に意見を出し合った。個々のアイデアや考えを取り込み新たなものを随時築き上げる事で、現状に満足せず、何事に対しても常に向上心を持って取り組めた。
- ・ユニットミーティングの実施と申し送りノートを活用し、口頭・文書の両面から情報共有が出来た。又、ユニット内スタッフのみでなく、多職種間での円滑な情報共有を行う為、各利用者様一日の生活を詳細に PC 記載する事に取り組んだ。それにより、多職種間の意識統一もより深くなった。
- ・思いやり・助け合いながら業務に取り組み効率化を図りつつ、利用者様との対話など関わりを多く持てるように努めた。

### 【次年度目標】

多職種が連携し、各職種の視点から利用者様の日常生活の中で「その人らしさ」を見つめ直す。日々のケアに随時意見を播り合わせ、その時その瞬間に合った支援に努める。

利用者様の生活の場に、季節感や家庭らしい温か味が持てる様に居室等の雰囲気作りに努める。

## 【看護職員】

- 各職種との連携を図り利用者さまに質の高い医療ケアを提供する。
  - ・笑顔をもって優しい声掛けで、利用者様と関わりを持つ。
  - ・感染症等の対策として日常生活の中で環境整備及び維持に意識を持ち、手洗いの励行に心がける。
  - ・利用者様・家族様の介護観に重点を置き、その人らしさを大切にできるよう医師へ情報提供し対応する。
  - ・夜間帯の対応として、介護職員が不安にならないよう日中の状態を把握し、退勤時に対応方法等の説明を行い不安の軽減を図れるようにする。
  - ・利用者様だけでなく、利用者様の身体的状態の変化時等に家族への情報提供は勿論のこと、家族の思いも表現していけるようコミュニケーションを図る。

### <評価>

- ・提携医師との情報の共有を行い、急変があった場合の救急搬送等、用意周到の上、速やかな対応が出来た。
- ・インフルエンザ発症者3名（職員3名）。事前に予防タミフル内服の承諾書を全利用者様及び職員と取り交わしが出来ていたため、医師の指示の下、早期に濃厚接触者及び該当ユニット利用者様・職員に対し予防タミフル内服の対策を取った結果、蔓延に至らなかった。  
また、利用者様のバイタルサインで変化が見られた場合、早期に医師との相談及び受診を行い隔離対応も予備対策として行った。
- ・介護職員との連携を密に行い体調変化が見られた場合の夜間帯対応の説明を行い、介護職員の不安を軽減するためにオンコールを躊躇することなくコールできるようにコミュニケーションを図った。

## 【栄養士】

- 献立・食事内容の充実、提供方法に工夫をして、利用者様の食欲を引き出せるよう創意工夫をする。
- 季節の旬を知り、食事四季を演出できるよう努める。
- 食事の安全が確保できるよう、利用者様との関わりの時間を多く持ち、また各職との情報の共有に努め、安全で美味しい食事の提供に努める。

### <評価>

- ・委託業者様との連携をとり、季節の食材や彩に気を付け、ソフト食導入できたことは成果のひとつだと感じている。
- ・家族様から旬の食材を頂く機会も多く、素材本来の持ち味を生かした食事提供ができた。
- ・昼食時には、各ユニットを訪問し、利用者様の身体状況や嚥下状態を確認し、介護職員からの情報提供によりより細かな状態把握につとめ、必要に応じて食事形態や食器具の見直しをおこなうことができた。
- ・おやつ作りのレクでもトッピングや味付けを選べるようにしたり、1回/月朝食の飲み物を選択できるようにしたり、また、選択食の導入により、利用者様に自己決定の機会を設け、利用者様の好みを選択できるように努めた。
- ・利用者様の日々の生活に寄り添い、食事を一番の楽しみであると感じていただけるようレクの充実を図った。内容は以下の通りである。

<内容>

4月	お花見弁当、おやつ作り（桜餅等）
5月	おやつ作り（どらやき等）
6月	おやつ作り（梅が枝もち等）
7月	そうめん流し、おやつバイキング
8月	精進料理、南久米地区盆踊り大会出店参加、おやつ作り（かき氷等）
9月	芋炊き初煮会、敬老会特別行事食、BBQ（ショートステイ）
10月	おやつ作り（スイートポテト等）
11月	おやつ作り（モンブラン等）
12月	クリスマスバイキング、おやつ作り（ケーキ等）
1月	おせち料理、七草粥、小豆粥、ぜんざい、おやつ作り（練りはったい等）
2月	節分（行事食、ボーロ）、おやつ作り（チョコフォンデュ等）
3月	ひな祭り（行事食、ひなあられ）、選択食導入

**【事務員】**

○支出を見直し、経費削減を図る。

- ・財務・経理、給与・労務等についての事務処理と管理を適正に行う。
- ・預かり金についての事務処理と管理を適正に行う。
- ・介護報酬や利用料金の請求についての事務処理と管理を適正に行う。
- ・物品の発注や購入、支払についての事務処理と管理を適正に行う。
- ・電気、燃料等の使用状況を常時把握し、省エネを推進する。

○業務内容の見直しにより業務効率化を図る。

- ・施設の窓口としてのイメージを大切にし、外来者や電話の応対は親切丁寧を心がける。
- ・職員が安心してそれぞれの専門業務に専念できるよう、健全な労働環境の維持と改善を図る。
- ・研修会や説明会に積極的に参加し、必要な知識技能の習得を図るなど、常に自己研鑽に努める。

<評価>

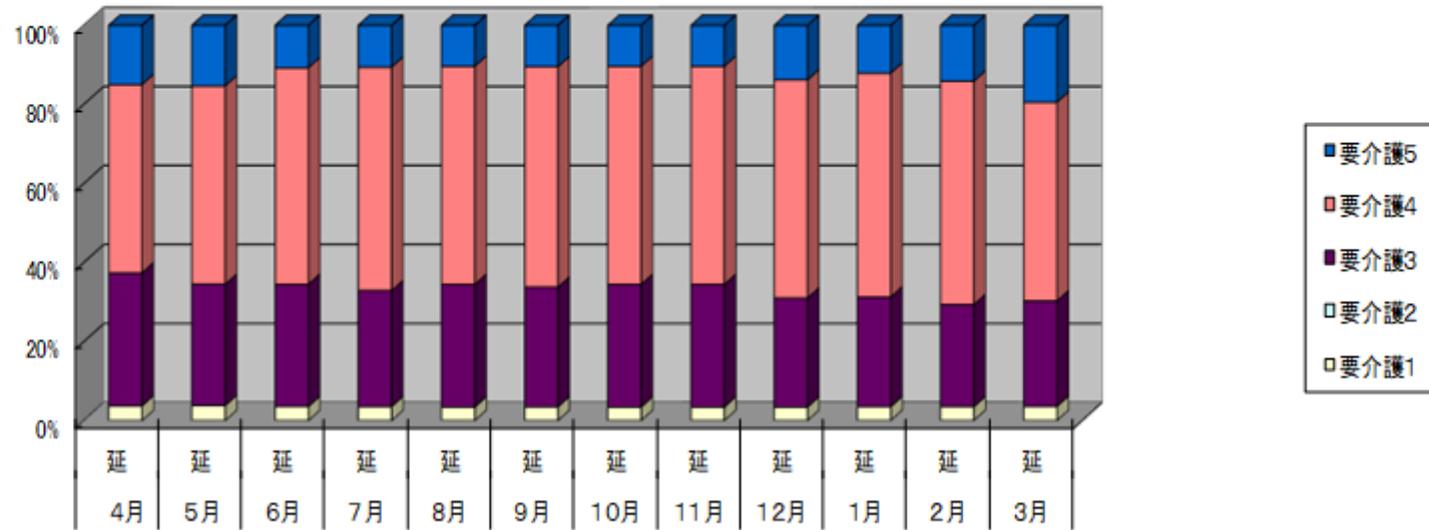
- ・事務処理について確認不足によるミスもあったが、後に適正に処理を行うことが出来た。
- ・不要不急支出を抑え、必要なものを必要な分だけ購入することに心がけ、支出の拡大を防げた。
- ・光熱費などは実際の費用を職員に通知、「光熱費＝支出」の認識をもってもらうことにより、ユニット型個室の空調の入切管理を行い、職員のエレベーター利用制限も図り経費削減に努めた。
- ・外来者や電話の対応については、職員により差異が見られる。今後、統一した対応に努めていく。

12-1. 特別養護老人ホーム 札掛の里 実績表 (平成29年度)

定員29床)	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実
要介護1	30	1	31	1	30	1	31	1	31	1	30	1	31	1	30	1	31	1	31	1	28	1	31	1	365	12
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	270	9	248	8	259	9	258	9	279	9	261	9	279	9	270	9	248	8	243	8	205	8	231	8	3,051	103
要介護4	382	13	405	14	459	16	496	16	496	16	480	16	496	16	480	16	496	16	496	16	448	16	434	14	5,588	185
要介護5	120	4	124	4	90	3	93	3	93	3	90	3	93	3	90	3	124	4	106	4	112	4	168	6	1,303	44
その他	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	802	29	808	28	838	29	878	29	899	29	861	29	899	29	870	29	899	29	876	29	793	29	864	29	10,287	347
入所率	92.2%		89.9%		96.3%		97.7%		100.0%		99.0%		100.0%		100.0%		100.0%		97.4%		97.7%		96.1%		97.2%	
28年度							9.9%		70.2%		89.9%		89.7%		95.5%		96.6%		99.6%		100.0%		99.0%		83.4%	

※延べ数に外泊・入院は含まず

※暫定者は「その他」に記載



# 1 2 - 2 . ショートステイ事業所 ふだかけの里

## 1. 事業報告

ショートステイでは暖かい雰囲気、また行きたいと思ってもらえるように、職員一人ひとりが意識して、利用者様一人ひとりとしっかりかかわるように心がけて取り組んできた。利用を重ねるたびに、利用者様の笑顔も増え、少しずつではあるが、落ち着いて過ごせるようになってきていると思われる。また、1か月のショートステイでの行事計画を作成し、いろいろなレクリエーションを行い、利用中に楽しんで過ごしてもらえる工夫もしてきた。今後もショートステイを必要とくださる利用者様やそのご家族に満足していただけるように取り組んでいきます。

## 2. 延べ利用人数、利用率、実人員数、新規利用者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用人数（人）	265	272	226	269	215	219
利用率（％）	88.3	87.7	75.3	86.8	69.4	73.0
実人員数（人）	25	17	20	21	24	24
新規利用者数（人）	7	1	4	5	5	5
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ利用人数（人）	234	257	276	267	247	237
利用率（％）	75.5	85.7	89.0	86.1	88.2	76.5
実人員数（人）	45	45	26	31	35	45
新規利用者数（人）	2	0	2	1	2	2

項目	集計結果
年間延べ利用者数（人）	2,984
月平均利用人数（人）	347
月平均利用率（％）	81.8
月平均実人員数（人）	27.3
月平均新規利用者数（人）	3

○年間実人員は、125人・年間新規数は41人

## 3. 1年間の利用者の年齢構成・男女比

年齢	男	女	合計（人）
95歳以上	2	3	5
90歳～95歳未満	6	8	14
85歳～90歳未満	10	12	22
80歳～85歳未満	9	4	13
75歳～80歳未満	1	2	3

年齢	男	女	合計(人)
70歳～75歳未満	2	1	3
65歳～70歳未満	0	0	0
65歳未満	0	0	0
計	30	30	60

#### 4. 1年間の利用者の要支援及び要介護認定の構成

介護度	男	女	合計(人)	比率(%)
要支援1	3	0	3	5.0%
要支援2	7	1	8	13.3%
要介護1	6	6	12	20.0%
要介護2	7	10	17	28.3%
要介護3	5	4	9	15.0%
要介護4	2	4	6	10.0%
要介護5	2	3	5	8.3%
計	54	47	60	

#### 5. 医療的ケアの必要な人の受け入れ状況

医療的ケア内容	男	女	合計
胃ろう	0	0	0
酸素	0	0	0
インシュリン	1	1	2
ストマー	0	0	0
定期的な吸引	0	0	0

#### 6. 職員の状況

平成30年3月31日現在

(人)

雇用形態	職種	年度当初	採用者数 (異動含む)	離職者数 (異動含む)	年度末人員 (休職者)
常勤	管理者	1	0	0	1
	事務員	1	1	0	2
	介護職員	6	2	2	6
	看護職員	4	0	2	2
	生活相談員	1	1	1	1
	栄養士	1	0	0	1
	介護支援専門員	1	1	1	1
	機能訓練指導員	1	1	1	1
合計(実人員)		16	6	7	15

**7. 行事年間計画の実施報告**

- ・特別養護老人ホームと合同で実施する。

**8. ボランティアの活動内容**

- ・特別養護老人ホームと合同で実施する。

**9. 委員会・会議の年間計画の実施報告**

- ・特別養護老人ホームと合同で実施する。

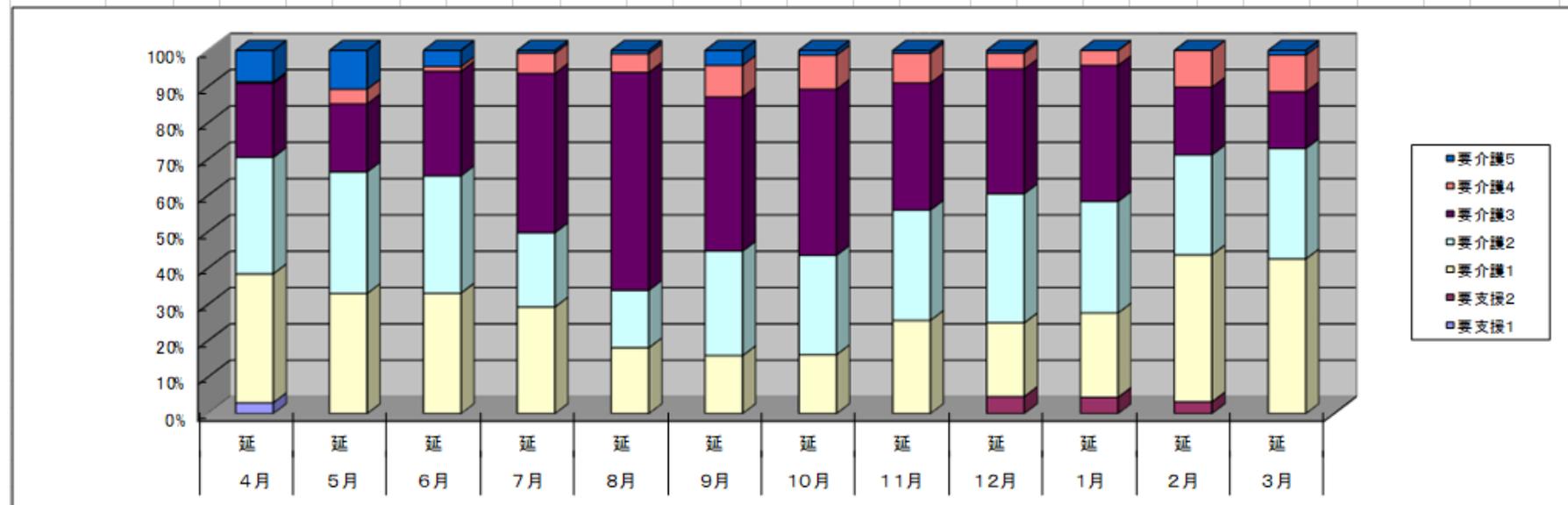
**10. 職員の教育研修の実施状況**

- ・特別養護老人ホームと合同で実施する。

## 12-2. 札掛の里 ショートステイ事業実績表（平成29年度）

定員10床	4月	30	5月	31	6月	30	7月	31	8月	31	9月	30	10月	31	11月	30	12月	31	1月	31	2月	28	3月	31	合計	212	
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	
要支援1	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	1	12	1	8	2	0	0	0	33	4
要介護1	94	8	90	6	75	9	79	7	39	9	35	6	38	9	66	12	56	8	62	7	100	13	101	12	835	106	
要介護2	85	11	91	6	73	5	55	5	34	5	63	8	64	17	78	18	98	9	82	8	68	7	72	8	863	107	
要介護3	54	3	51	3	65	4	118	6	129	7	93	5	107	11	90	9	95	5	100	7	46	2	37	3	985	65	
要介護4	1	1	11	1	3	1	15	2	11	2	19	3	22	7	21	5	12	2	11	3	25	3	24	3	179	33	
要介護5	23	1	29	1	10	1	2	1	2	1	9	2	3	1	2	1	2	1	0	0	0	0	0	3	1	85	11
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	265	25	272	17	226	20	269	21	215	24	219	24	234	45	257	45	276	26	267	26	247	27	237	27	2984	327	
送迎	28		21		22		22		29		30		27		29		28		31		35		45		347		
利用率	88.3%		87.7%		75.3%		86.8%		69.4%		73.0%		75.5%		85.7%		89.0%		86.1%		88.2%		76.5%		81.8%		
28年度											11.9%		35.7%		55.3%		56.8%		78.1%		83.9%		85.2%		46.0%		

※暫定者は「その他」に記載



# 1 2 - 3 . デイサービスセンター ふだかけ

## 1. 事業報告

デイサービスにおいては、地域密着型及び予防通所合わせて利用定員は15名で営業日は月曜から金曜日までの週5日間で実施しています。

現利用者さま及びご家族からは送迎時や連絡帳、担当者会議の場を通して「満足している」との評価を受けており、施設の利点を活かしたサービスの提供が出来ていると思われる。但し、利用者の入院等もあり新規利用者はあるも稼働的には苦戦しており、年度末においても60%弱の稼働率を推移している。現在15名の少人数定員の為に曜日によっては利用者の登録が定員に達している曜日もある。今後も新規利用者の獲得に尽力し、稼働率を上げる事で土曜日の営業開始を目指して行きます。

その取り組みとして、

- ①当事業所は、特養とショートステイの併設事業所であり、単独通所介護サービス事業所との違いをアピールする。
- ②南久米小学校跡地に設置された環境の利点を活かし、校庭後の緑の多い環境で晴れた日は、散歩しながらの外気浴を兼ねた機能訓練や専門的な機械の両方を使った機能訓練の実施。
- ③食事、入浴を少人数定員事業所ならではの利用者のペースに合わせてゆったりとくつろぎの時間を持ち、他の利用者と交友関係をもって味わっていただく。
- ④俳句クラブ・レザークラフトクラブ・映画クラブ、おやつ作り等、利用者さまが選択して参加できるレクリエーションの継続と外出レクを行うことで季節の移り変わりを全身で感じる機会をつくる。

上記の取り組みにより今後も新規利用者の獲得を積極的に行い、本事業を軌道軸に乗せる課題への計画が職員間で共有でき今後平均稼働率80%を目指し、顧客満足度に意識を置き取り組んでいきます。

## 2. 利用登録者数

毎月利用者数及び延べ利用日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業日	20	23	22	21	22	21
登録利用者数	25	25	26	26	24	24
延べ利用者数	174	187	185	160	186	176
一日平均利用者数	9	8	8	8	8	8
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日	26	22	21	18	18	22
登録利用者数	18	22	21	22	22	25
延べ利用者数	188	204	197	155	162	245
一日平均利用者数	9	9	9	9	8	9

項目	集計結果
月平均営業日数	21日
月平均登録利用者数	27人
年間延べ利用者総数	2,219人

月延べ利用者数	184.9人
一日平均利用者数	9人

### 3. 年齢構成・男女比

平成30年3月31日現在

(人)

年齢	男	女	合計
95歳以上	0	3	3
90歳～95歳未満	2	5	7
85歳～90歳未満	4	5	9
80歳～85歳未満	0	6	6
75歳～80歳未満	3	3	6
70歳～75歳未満	1	2	3
65歳～70歳未満	4	1	5
65歳未満	0	0	0
計	14	25	39

### 4. 要支援及び要介護認定の構成

平成30年3月31日現在

(人)

介護度	男	女	合計(人)	比率(%)
要支援1	3	7	10	25.6
要支援2	3	5	8	20.5
要介護1	5	5	10	25.6
要介護2	2	6	8	20.5
要介護3	0	2	2	5.1
要介護4	1	0	1	2.5
要介護5	0	0	0	0
計	14	25	39	

### 5. 食事、入浴、排泄の全介助、一部介助、自立の状況

平成30年3月31日現在

(人)

項目	自立	一部介助	全介助	合計
食事	39	0	0	39
入浴	4	35	0	39
排泄	22	17	0	39

## 6. 職員の状況

平成30年3月31日現在

雇用形態	職 種	年度当初 (休職者)	採用者数 (異動)	離職者数 (異動)	年度末人員 (休職者)
常 勤	管 理 者	1	0	0	1
	介 護 職 員	3	1	1	3
	看 護 職 員	2	0	1	1
	生 活 相 談 員	2(1)	1	2	1(1)
	栄 養 士	1	0	0	1
	機能訓練指導員	2	1	1	2
	事 務 員	1	1	0	2
非常勤	看 護 職 員	0	1	0	1
	運 転 手	0	0	0	0
	清 掃 員	0	0	0	0
合 計		12(1)	5	5	12(1)

## 7. 行事年間計画の実施報告

月	行事内容
4月	お花見
5月	大川鯉のぼり、富士山躰躰見学(外出レク)
6月	花菖蒲園散策(外出レク)
7月	ソーメン流し
8月	ソーメン流し・かき氷づくり
9月	梨狩り(外出レク)
10月	運動会・買い物(外出レク)
11月	紅葉狩り(外出レク)
12月	クリスマス会
1月	初詣(外出レク)
2月	節分(豆まき)・いちご狩り(外出レク)
3月	ひな祭り

## 8. 委員会・会議の年間計画の実施報告

- ・特別養護老人ホームと合同で実施する。

## 9. 職員の教育研修の実施状況

- ・事業所職員で毎月定期的研修会を行うほか特別養護老人ホームと合同で実施する。

### 12-3. 札掛の里 デイサービス 実績表(平成29年度)

単位:人

定員 15	4月 (20)		5月 (23)		6月 (22)		7月 (21)		8月 (22)		9月 (21)		10月 (22)		11月 (22)		12月 (21)		1月 (18)		2月 (18)		3月 (22)		合計(252日)	
	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実
要支援1	19	6	20	6	19	7	13	23	14	4	15	4	16	5	24	6	21	6	17	6	20	7	30	8	228	88
要支援2	56	7	66	8	55	7	56	29	64	8	53	7	47	6	49	7	48	8	37	8	35	7	48	7	614	109
要介護1	59	7	57	6	55	6	28	24	33	5	25	5	36	6	38	7	40	6	35	7	35	7	75	9	516	95
要介護2	28	4	30	4	43	5	50	19	62	6	70	7	68	7	71	7	66	7	47	6	49	6	64	7	648	85
要介護3	12	1	14	1	13	1	13	4	13	1	13	1	21	2	22	2	22	2	19	2	18	2	19	2	199	21
要介護4									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	9	1	14	2
要介護5									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他																										
計	174	25	187	25	185	26	160	99	186	24	176	24	188	26	204	29	197	29	155	29	162	30	245	34	2219	400
定員比 (%)	58		54		56		51		56		55.9		57		61.8		62.5		57.4		60		74.2		58.70%	
1日平均(人)	8.7		8.1		8.4		7.6		8.5		8.4		8.5		9.3		9.4		8.6		9		11		8.8	
28年実績	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1	7.6	2.9	19	5.1	36	7	47	6.2	41	7	47	6.6	44	7.2	48	5	43

※暫定者は「その他」に記載

